

令和6年度使用小学校用教科用図書調査書まとめ

教育指導課

令和5年6月

令和6年度使用小学校用教科用図書調査書まとめ

目次

小学校

国語	1
書写	7
社会	12
地図	17
算数	21
理科	30
生活	38
音楽	47
図画工作	53
家庭	58
保健	63
英語	71
道徳	80

その教科書が適切である理由	
3. 国語の観点 ①学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。 ②語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。 ③読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	・伝統的な教材だけでなく、デジタルノートの使い方、読み物教材においてもネット記事を扱ったり、デジタルでの発信についても触れられており、題材として優れているから。
2	・③絵や写真が良い。巻が上下に分かれている。
3	・単元の初めに学習の流れ(見通す、取り組む、振り返る)が書いてあり、問いやめあてをもってから学習に臨むことができる。学習手順も丁寧であり、どの児童にとってもわかりやすく見やすい構成になっている。また学びを深めていくという点でも振り返りの活動や教材に関連した本などの紹介により、学習を実生活へ広げていくことができる。
4	・ひらがなが学習しやすい。画数の少ないものから始めている。
5	・それぞれの題材で学ぶ目的や内容、学び方の見通しなどがわかりやすく書かれていて指導しやすい。またICTを活用する学習についての記述もあり、求められている力の育成が意識されている。
6	・単元の初めに「見通し」が書いてあり、授業の流れが理解しやすい。 ・単元の中で大事な所だけを簡潔にまとめ、児童が理解しやすいように箇条書きや図などで表している。 ・学習した漢字の使い方が細かく書いてあり、児童の語彙を増やす工夫がされている。
7	・ページ数を少なくまとめていて、物語文などを読み進めるに当たって、冗長に感じにくい。 ・「取り組む」「振り返り」など取り組む事が明確化されている。
8	・単元ごとのめあてや学習の見通しがわかりやすく示されている。
9	・字の大きさやイラストなどのバランスがよく、全体としてよみやすい。 ・教材の内容が良い。
10	・「言葉相談室」というトピックが扱われ、語彙を豊かにする工夫が見られる。 ・単元の扉のページが充実している。 ・各単元の扉に学習の流れが示されており、学習の見通しが持てるように工夫されている。 ・各単元で、どのような「言葉の力」を身につければ良いかわかりやすく示されている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・学習の手順がしっかりと書いてある東京書籍の教科書は、本校の児童にとってわかりやすく、活動しやすい内容ある。また、他者に自分の気持ちをうまく伝えられない児童にとって、東京書籍の教科書には伝える活動が多く、伝え方の方法など丁寧に掲載している点で学びが深まるのではないかと考える。
2	・スモールステップで丁寧に内容がすすんでいくので、理解しやすい。
3	・各ページに掲載されているイラストが温かい表情の物が多く、児童の意欲的な取り組みにつながる。
4	・文章のふりがなが多く、漢字が苦手な児童も抵抗感なく読める。
5	・読み物教材の量が本校の児童に適切である。
6	・単元の前に学習の流れが書いてあるので、単元の見通しが持ちやすい。 ・国語のノートの作り方が掲載されていて、児童の手本になる。

その教科書が適切である理由	
3. 国語の観点	
①学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。	
②語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。	
③読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーが多く、見やすい。 ・単元の初めに「見通し」が書いてあり、授業の流れが理解しやすい。 ・巻末に新しい言葉の意味やその言葉に対する説明がまとめて書かれているため、語彙を増やす工夫がされている。 ・単元の最後に同じ筆者の本やそのお話に関わりのある本が書かれている。また、その本のあらすじも書いてあり、児童が読みたくなるような工夫がされている。
2	・「立場を明確にして話し合おう」で、AIとの暮らしの題材がよかった。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・5年読む領域説明文「漫画の方法」児童の興味関心を引く教材になっており、意欲的な取り組みが期待できる。 ・5年読む領域物語文「大造じいさんとがん」挿絵が効果的に利用されており、児童と文章表現や読みを深めたい部分に無駄な挿絵がなくそれぞれの児童の想像力を大切に学習することができる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に色味が薄く、分かりにくい部分もあるが刺激が少なく、読みやすい。 ・単元で登場する漢字がどのページで確認できるかが明記されていて、書く学習へと広げやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ①各単元の学習の流れが詳しく記載されている。また文章の書き方(表現方法)が分かりやすく、読み取りへの配慮がされている。(台詞には鉤括弧、心中の台詞には丸括弧が付けられている。) ②新出漢字や語句の説明が、文章の近くに記載してある。 ③取り上げられている題材が、現代の児童に寄り添っている。また一定の間隔に行数が記載されているだけでなく、その間にも「。」が一行ずつに打ってあり、音読や指導の場面で、適切な箇所を探す活動を円滑にする効果があると感じた。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・自分の考えを文章で表すことに苦手な児童にとって、巻末の言葉についての説明や、読書の機会を増やす工夫などが児童にとって良い働きを考えると考える。
2	・「書いて伝えよう」の始まり方が具体的で、わかりやすく、やる気が出る内容になっている。
3	・高学年も上下巻に分かれているので、持ち帰りしやすい。
4	・文字のフォントが、読みやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに振り返りができる項目と、チェックボックスが付いている。 ・一行ごとに「。」が打ってあり、行数が数えやすい。 ・記述方法が、読解が難しい児童に寄り添っている。

その教科書が適切である理由	
3. 国語の観点 ①学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。 ②語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮はなされているか。 ③読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> 適切な長さ、数の読み物教材が掲載されている。 話す、聞く、書く、読むのそれぞれの分野がまんべんなく取り入れてあり使用しやすい。 物語の題材が良い。情景、心情を読み取るのに適した文章である。 単元ごとに「見通しをもとう」の図解がある点がわかりやすい。 各領域の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 語彙が豊かで題材が良い。「書くこと」の教材が多いのも良い。 読み物の題材に関連した本が紹介されているところが、読書活動の充実につながると考えられる。
3	<ul style="list-style-type: none"> 字の大きさが学年に合っている。 領域や分野に近い推薦図書が載っている点。 単元ごとに「目標」「問い」が書かれているので、児童も学習内容がわかりやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> 児童にとって見やすく、書きやすい内容であった。
5	<ul style="list-style-type: none"> 物語文の後ろに学習活動の例が書かれていたり、教材に関連した絵本を載せていたりする工夫があるのがよい点。例えば、1年生の物語「おおきなかぶ」では、動きながら読もうなど具体的な学習活動が書いてあり、児童も見通しをもって取り組むことができる。また教材に関連した絵本をのせることで、児童の興味、関心が広がり学習が深まっていく。 光村の教科書は、課題意識、目的意識をしっかりと持ってから学習に臨むことができるので、主体的・対話的な深い学びの実現が期待できる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ①目次が各領域ごとに分かれていてわかりやすい。全ての単元のはじめに「問いをもとう」があり、生活や学習体験を振り返ったり、単元ごとの課題を見つけることができる。課題意識や目的意識を掘り起こせる工夫が見られる。 ②言葉の宝物、伝え合うための言葉、学習に用いる言葉など多くの言葉を獲得できるページを巻末に設けてある。 ③「この本を読もう」のページが設けてあり、単元の学習と関連した本が様々な角度から紹介されている。学校図書館の本の選定にも役立つ。見やすい。使われている絵や写真が古く感じない。題材選びがよく、児童の興味をひく。習った漢字、カタカナを振り返るページがあり、取り組みやすい。
7	<ul style="list-style-type: none"> 説明文の内容が各学年の発達段階に合っていて、理解しやすい。 各単元の最後に学習の仕方の流れが示されており、見通しを持ちやすい。
8	<ul style="list-style-type: none"> 書くことの難易度が適切だと感じる。 適切な教材が載っていて、小単元の内容が取り組みやすい。 小単元が少なく、物語もめあてが明確。「ちいちゃんのかげおくり」など、戦争単元がある。 フォントが見やすく、すっきりしている。言葉の意味を、図や絵で解説されていてわかりやすい。
9	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の付録に、当該学年が普段から使えそうな言葉が収録されている。
10	<ul style="list-style-type: none"> 話すこと・聞くことの学習活動例が、児童の身近な生活に根ざした内容である。 参考図書が数多く上げられており、児童の読書活動の充実が期待できる。
11	<ul style="list-style-type: none"> 本校の学校図書館には、光村図書の教科書に載っている本が多く所蔵されているので、読書活動の充実を図るのに適切だと考えました。
12	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさが大きく、見やすい。 単元の初めに「見通し」が書いてあり、授業の流れが理解しやすい。 学年によって1ページに載せる分量が適切である。 単元の最後に同じ筆者の本やそのお話に関わりのある本が書かれている。また、その本のあらすじも書いてあり、児童が読みたくなるような工夫がされている。
13	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動例がわかりやすく載っている。 昔からの読み物が多く残されており、子どもたちの日本語に対する理解が深まるように題材が工夫されている。家庭学習(音読等)においても親子の会話が深まることが期待できる。
14	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵がわかりやすく、教材の世界に入りこみやすい。(やまなし) 単元の見通しをもてるようになっている。 目次とは別に領域ごとに教材がまとめられていて系統立てをしやすい。 語彙の充実を図るためのページがあってよい。 2年生の「お手紙」の別シリーズが付録に掲載されていてよい。
15	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭にこれまでの学習との関連ページがページ数とともに掲載されている。 言語活動の対話の場面がイラストで掲載されている。
16	<ul style="list-style-type: none"> 6年「デジタル機器と私たち」を題材として取り上げている。これからの子どもたちにとって必要な資質・能力について考える機会となる。 主体的な取り組みや書くことへの意欲をかき立てる構成になっている。 古くから親しまれている本や、最新の環境や時事問題を取り上げた本など、子どもたちが「読みたい」「手に取りたい」という意欲を持てるような本が多数紹介されている。
17	<ul style="list-style-type: none"> 単元最後の「学び方」のページが、児童の自主的な学びにつながり、授業で扱いやすい。 全ての単元で「問いをもとう」「目標」というコーナーが設定されていて、年間(6年間)を通して、見通しをもった指導が行える。児童の身につけた力が、次の学年に生かされるような、既習と関連付けた記述が随所で見られる。 題材の選択が適切かつ、各領域の学習がバランス良く配置されており、国語科の資質・能力のスムーズな獲得が期待できる。
18	<ul style="list-style-type: none"> 扱われている物語文や説明文が児童の発達段階に即しているため、読書活動の広がりが期待できる。
19	<ul style="list-style-type: none"> どの領域に関する単元なのか、マークによって分かり易く、児童からも目的をもって取り組みやすくなっていると考えられる。 学習単元の最後や、教科書の最後の付録として、単元に関連した本が紹介されている。

20	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に見やすい色使いがなされている。 ・重要な言葉の表し方がパズル形式になっているなど分かりやすい工夫がある。 ・写真、イラストの配置が読み取りやすさにつながっている。 ・各領域の目標が単元の扉絵に分かりやす書かれている。 ・新出漢字が本文に対応した位置に書かれていて、分かりやすい。 ・「この本を読もう」では、簡単なあらすじも載っていて、児童が興味を持ちやすい。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を広げるような本の紹介が多くある。着目するポイントの紹介が多くあり、児童の各領域への理解が深まりやすい。物語文の心情表現に()を使用していないため読み進めやすい。 ・挿絵が多く、想像しやすい。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習について、始めに疑問をもてるような二択の問題などがのっており、導入しやすい。 ・「新聞を読もう」の項目では学ぶ内容が一目でわかるようになっていて、分かりやすい。 ・物語文では本文の後に問いを持たせるような発問が書かれており、分かりやすい授業づくりが可能である。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉のたから箱」など、巻末の資料が充実しているから。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・「この本、読もう」で、単元に関連する参考図書が紹介されていて、読書活動の充実を図るために工夫されているため。
25	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の例が豊富であり、各領域がバランスよくわかりやすく、見やすく記載されている。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に取り組みやすい長さの題材を扱っている。文章の書き方やフォントが見やすく、読み取っていく学習を進めていきやすい。 ・児童が、学習の見通しを持って取り組めるように、単元ごとの目標や活動内容がわかりやすく書いてある。 ・読書活動に興味をわきそうなお本の紹介ページがあり、実際に読むことができる物語も載っている。
27	<ul style="list-style-type: none"> ・「問いをもとう」をきっかけに、児童一人ひとりが主体的に考える学習に取り組みやすい。 ・物語文、説明文ともに、学習の見通しがわかりやすい内容になっている。 ・読み物と書くことの構成が、発達段階を考えた順序になっている。 ・言語の小単元のまとまりがよい。 ・学習の目的が明確に提示されているところがよい。
28	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の育成に工夫と配慮が見られる。資料が見やすく視覚的な効果がある。 ・取り組みやすい単元内容が多い。 ・読み物の題材がよい なじみがある。
29	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の形が見やすく、やさしい内容で、安心して読み進めることができる。 ・イラストや漫画が効果的に配置されている。 ・学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされている。 ・語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされている。 ・読書活動の充実を図るための題材として、工夫や配慮がなされている。 ・各領域が色ごとに分かれていて、視覚的にも見やすく、目次で年間の学習の見通しが持ちやすい。 ・前学年からの学習のつながりや関連事項がわかりやすい。
30	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文・説明文が適切に配置され、扱いやすい。 ・絵や写真が見やすく、児童の関心や理解に役立つ。 ・戦争と平和を扱う教材がある。
31	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって、分かりやすく理解が深まるような教材内容で適している。(説明文・物語文) Ex.「大造じいさんとがん」では、前書きがあることで椋鳩十が描いた世界を忠実に読み取ることができ、大造じいさんの人物像も正しく想像ができる。
32	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連がはかれるよう、工夫されている。教科書の字体が読みやすく、書き文字に近いため、正しい字形を意識することができる。 ・各単元の終わりに関連する本の紹介を載せるなど、読書活動を促す工夫が多い。 ・「きせつつ言葉」の学習では、季節の語彙を多く載せるなど、各単元で語彙を豊かにするための配慮がなされている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が他教科ともリンクして取り扱うことができるので適している。 ・字数、資料、挿絵のバランスが良い。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・本校児童の実態に合っている教科書である。表紙がシンプルな色使いで、低学年の児童にわかりやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の追加素材が豊富であるので、学習意欲への高い本校の児童には適切である。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・フォントが見やすく、その題材が何の単元なのかもわかりやすく提示されているため、読み取りに課題を抱える児童にはありがたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階を配慮した構成になっている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・光村の教科書のように課題意識、目的意識をもってから学習に取り組むことで、子どもたち自身から学んでみたい、やってみようという気持ちになり、進んで学習に臨めようと思う。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで使用していたこともあり、構成や教材に親しみが感じられる。上学年に兄弟がいれば、共通の話題として話すこともでき、つながりを感じられる。 ・話すこと、聞くことについて要点をおさえられていて、導入期にわかりやすく、学習しやすい。色、書体が見やすい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生～6年生に平和教材が掲載されているので、戦争や平和について触れる機会の少ない児童にも、考えるきっかけとなる。 ・海外につながる題材があり、帰国子女児童にとって親しみの持てる内容である。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を進めていくうえで、無理なく取り組むことができると考えられる。 ・海が近い本校では、「スイミー」は、なくてはならない教材である。 ・地域の方と交流する上で、戦争などについて知ることは不可欠。 ・学習を進めていく上で、無理なく取り組むことができる。 ・④今までの教材研究の積み重ねを生かしていくことができる。 ・⑤これまで光村で学習してきたので、安心して学習できる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・昔から変わらず子どもたちにとって魅力的で優れた教材が多く、話し合い活動や表現活動を通して思考力が育ちやすい。 ・親世代も知っている物語を家庭で音読練習することで、親子のコミュニケーションも期待できる。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れが分かりやすく記載されていて見通しがもちやすい。

12	<ul style="list-style-type: none"> 本校の児童は、特に低学年は絵に注目して登場人物の気持ちを想像したり、本文を読み取ろうとしています。 光村図書は優しいタッチで、子どもたちが学習に前向きになれると思います。
13	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもたせることで、何について学習するのかが分かり、安心することができる。自信がない子にとっても学びやすい。
14	<ul style="list-style-type: none"> 単元が始まる前に、できるようになりたいことや、楽しみな学習を書く欄があってよかった。 児童の実態に即した読み物が載せられている。挿し絵もやわらかいタッチのものが多く、落ち着いて読みこめる雰囲気になっている。
15	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードがあるので、視覚的に理解しやすい。
16	<ul style="list-style-type: none"> 書く単元の手順が明確に示されている。 発達段階に適した文の量になっている。
17	<ul style="list-style-type: none"> 6年「みんなで楽しく過ごすために」（話す・聞く領域）学校を運営する6年生の立場で、話し合いを進め、学んだことを実際の学校運営に直結しやすい内容になっている。コロナ禍や校舎建て替えて縦割り活動や委員会活動が十分に行えていない現状を考えると、学習内容が実生活に直結する内容になっていて扱いやすい。
18	<ul style="list-style-type: none"> 長文読解に課題のある児童が少なからずいる。本書は説明文に「練習」として短い説明文を掲載する工夫が見られる。 説明文の学習に抵抗感のある児童には、簡潔な文章をまず提示することで、後の長い文章への取り組みにつなげやすい。
19	<ul style="list-style-type: none"> 補足の説明がイラスト入りで分かりやすい。また、字体が児童にとって読みやすい。
20	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵が豊富で、児童らも手に取りやすいと考えられる。
21	<ul style="list-style-type: none"> イラストの絵が親しみやすい。 まとめのページにおいて、うすい色で背景を分けることで、解説時どこを見たらよいかのかが分かりやすい。 使われているカラーが優しい色合いになっていて見やすい。
22	<ul style="list-style-type: none"> 児童にとって長く慣れ親しんだ教科書の為、兄弟間や親子間で同じ教科書を使用していた等、家庭内で話題にしやすく、地域的に最も適していると考えられる。
23	<ul style="list-style-type: none"> 本校の児童にとって、情報や文章が長さや量という観点で合っていると感じる。 学習の進め方も項目がまとまっており、児童にとって理解しやすいと考える。
24	<ul style="list-style-type: none"> 以前から馴染みのある単元が多く、保護者も親しみのある内容となっているから。 兄弟関係で児童に身近に感じられる内容になっていると思ったから。
25	<ul style="list-style-type: none"> 大切などころが見やすくなるように色の使い方を工夫しているため。
26	<ul style="list-style-type: none"> 文章表現や挿絵等が見やすく、児童が理解しやすい。
27	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵が多く、興味を持って取り組みやすい。本文が短く区切ってあって読みやすい。 文字もすっきりとしている。単元ごとの学習の進め方を示しているページが、文字の太さ、色の使い方などめりほりがあり、重要なところがわかりやすい。
28	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく分かりやすい授業づくりに取り組む「全員参加の授業づくり」に、巻頭の「国語の学びを見わたそう」や、教材ごとにある「見直しをもと」が、視覚的にわかりやすく指導に役立ちそうである。 前年度の教材で学んだことを振り返ったり、翌年度の教材に慣れをもちながら進めていける構成が、本校の児童にとって適している。 「話す・聞く」「読む」「書く」「言葉」のすべての領域の構成や文字の大きさが適切で見やすい。 扱っている教材が、本校の児童の実態に合っている。
29	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 記入する欄があって使いやすい。 共感しやすい内容。
30	<ul style="list-style-type: none"> 初めてひらがなにふれる児童にとって、読みやすい字体・やさしくあたたかい絵・短い文章のものが適切であると感じた。 単元のねらいが明確で、授業や学習の見通しがもちやすい。 既習漢字のページ、学習に用いる言葉の説明が見やすく、必要な時に振り返りやすい。本校の児童の実態から見て適切である。
31	<ul style="list-style-type: none"> 絵や写真、文字がつかみやすく、理解しやすい。
32	<ul style="list-style-type: none"> 具体的にめあてや、着目すべきポイントが書かれていて、理解しやすい。
33	<ul style="list-style-type: none"> 1ページの情報が多すぎず、読みやすく、集中しやすい。目次も見やすく、学習内容を把握しやすい。 各単元で、児童が見通しを持って学習に臨めるよう工夫されている。 絵や写真、図の使い分けにより、児童の理解の手助けとなる。

その教科書が適切である理由	
3. 書写の観点 ①毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮はなされているか。 ②適切に運筆する能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。 ③日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
1	・毛筆学習ページの横に、硬筆学習ページも付随しており、毛筆と硬筆の関連をより意識した学習ができる。
2	・毛筆と硬筆の関連がわかりやすい。既習を生かして、本時に何をすべきかが見やすいので、児童にとってもいいと考えられる。
3	・書き込めるページが多く、取り組みやすい。
4	・毛筆と関連させた硬筆の練習があつている。
5	・学習半ばでも字に応じて運筆が出てくるので、ふりかえることができる。
6	・運筆の基本を説明しているページが大きく、見やすい。 ・「とん、すう、びたっ」など擬態語を交えてわかりやすく運筆の説明が表記されている。
7	・①表紙に毛筆が始まるきっかけづくりがある。 ・②筆記具の持ち方に「左手の持ち方」がある。 ・②目次に色分けで、めあてが見やすく分けられている。
8	・「書写のかぎ」に学習事項のポイントがわかりやすくまとめられており、硬筆でも毛筆でもポイントを確認できるようになっている。
9	・情報量が多すぎずわかりやすい。
10	・①毛筆では、大切なポイントを見つけ出し、大切なことを意識して練習し、まとめでは硬筆に生かして書くという流れになっている。
11	・書くときに気を付けるポイントが分かりやすいため、明快に書くことを学ぶことができる。
12	・字形を捉えやすくするために、お手本が工夫されているため。
13	・鉛筆の持ち方の絵が右利き、左利き用の両方に対応して実際の大きさと載っており、わかりやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・硬筆部分ではなぞりとは別に書き込みができるマスもついており、学んだことをその場で確認することができる。
2	・既習を生かして、本時の課題に取り組みやすいページになっている。 ・視覚的にわかりやすいので、見ただけでも授業のねらいがわかりやすい点がいい。
3	・硬筆での練習がたくさんある。
4	・字を書くことがままならない子も練習を重ねることができる。
5	・二次元コードがあるので、視覚的に理解しやすい。
6	・手紙やはがきの書き方を扱い、学年に応じた気持ちの伝え方を学ぶことができる。
7	・教科書に直接練習できる書き込み欄が充実していて、活用の幅が広がる。
8	・キャラクターが親しみやすく、ポイントを分かりやすく説明しているため。
9	・左利きも多く、鉛筆の持ち方の指導で困る場合があるため、適切である。

その教科書が適切である理由	
3. 書写の観点 ①毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮はなされているか。 ②適切に運筆する能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。 ③日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
1	・丁寧に運筆するための題材の選出が適切である。
2	・運筆の流れなどが見やすい。書き方なども順を追って、番号で示されているので見やすい。
3	・①毛筆が始まる3年生の、毛筆の情報が豊富で丁寧。 ・①目次に「硬筆マーク」があり、毛筆と硬筆の関連付けを意識することができる。 ・②メモ、文化、ポスター等、各学年の活動につながるものが多い。
4	・運筆のポイント(筆圧、穂先の通り道など)が写真やイラスト、筆遣いの工夫により、視覚的に理解しやすくなっている。
5	・②穂先の向きが朱書きで明瞭に示され、「始筆」「送筆」「終筆」がわかりやすく工夫されている。
6	・書き順が見開きに載っている。
7	・筆の動きや力の入れ方がわかりやすいように、色を使って表現されている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・毛筆の掲示を考慮すると、言葉、文字の選び方が適している。
2	・運筆のリズムを音声で表したり、穂先の向きを時計に例えたりして、児童が体感的にとらえやすくなっている。
3	・二次元コードの動画がわかりやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 書写の観点 ①毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮はなされているか。 ②適切に運筆する能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。 ③日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
1	・「まがり」「おれ」など一文字ずつの運筆の注意点が意識できる構成になっている。
2	・毛筆と硬筆の関連性とバランスが良い。
3	・図やイラストが多く、一目で取り組むべき課題がわかりやすい。
4	・文字が大きく書かれているので、毛筆で字を書くときに参考になる。
5	・表紙やイラストが児童に親しみやすく、好感が持てる。書写の手本の字はどれもセンスがよく、身近な生活と関連付けた文字であり、書いたときに自信の持てそうな文字が多い。また、1ページのデザインがシンプルで見やすい。
6	・パンフレットの書き方でフェルトペンなど身の回りの特徴など写真を添えてあってわかりやすい。
7	・内容量が適切である。 ・めあてが明確で、活動内容がわかりやすい。動画が付属している。 ・書く「文字」や「文」が分かりやすく、必要以上の情報量がないので見やすい。 ・二次元コードが随所にあり、右利き・左利き用が分かりやすくなる。
8	・毛筆においては、児童が所持している道具に一番近いものであった。
9	・情報量が適切であり、見やすく構成されている。 ・特に3学年の教科用図書では、硬筆との関連を持つように工夫されており、無理なく毛筆への学習が進められる。
10	・画数によって色が変わっているのでもわかりやすいと思いました。
11	・①表紙に毛筆が始まるきっかけづくりがある。 ・②写真が大きく、説明が具体的である。また、文量が適切に感じる。 ・③各学年のまとめが後半の2ページにまとめられていて、振り返りやすくなっている。
12	・使いやすい。ひらがなや漢字の書き方で気を付けるところがよくわかる。
13	・情報量が多すぎずわかりやすい。
14	・国語の教科書との関連で、同じ会社の方が扱いやすい。 ・毛筆の課題の後に、硬筆があるため、毛筆、硬筆の扱い方を共通点をもたせて指導できる。 ・入門前の「しよしゃたいそう」や書字の際の姿勢、毛筆の準備・片付けの様子について、動画での説明があり、児童が基本的な態度を身につける助けとなる。
15	・文字の書き方が、ポイント(大切という項目で示されている)をおさえて記載されている。
16	・③国語を中心に他教科・領域とのつながりが示されている。
17	・書くときに気を付けるポイントがわかりやすい構成である。
18	・どの領域に関する単元なのかが、マークによって分かり易く、児童らも目的をもって取り組みやすくなっていると考えられる。 ・学習単元の最後や、教科書の最後の付録として、単元に関連した本が紹介されている。
19	・毛筆から硬筆への流れが分かりやすい。 ・字の形をイラストを用いて表現し、視覚的に分かりやすい。 ・観察カードなど、実践に結びつけやすい工夫がある。 ・単元ごとに学習のねらいがシンプルに表されているため、分かりやすい。 ・書写ブックというページが、1～5年生で学習したことを日常に生かせるようになっている。
20	・毛筆と硬筆との関連では、比較写真があり視覚的に理解しやすかった。 ・国語の教科書に対応して生活に役立つ活動が設定されていた。
21	・筆の進め方が番号で書いてあり、分かりやすいと思ったから。 ・資料が充実している。特に、スタートブックがありがたい。
22	・日常生活でも役立てる工夫があり、適切に運筆できるような工夫がなされている。
23	・鉛筆の持ち方、姿勢など、写真を使って、理解しやすいように示されている。 ・お手本の文字が大きく、色もはっきりしたものを使っていて、ポイントがわかりやすい。 ・毛筆では、筆先位置などの動きが大きく載っていて、筆の運び方がわかりやすい。
24	・視覚的に読み取りやすい字体で、とめ、はね、はらいもしっかり表記されている。 ・毛筆の取り組み方が、丁寧に書かれていてわかりやすい。 ・分量と指導内容が適している。 ・「へん」や「かんむり」ができるときの形の変化がとらえられるような説明がよい。 ・毛筆、硬筆ともに、適切な運筆ができるよう提示されている。
25	・毛筆の見本が見やすく、使いやすい。 ・教科書に直接書き込めるところがあって便利。
26	・注目する箇所効果的に色を使って示されており、わかりやすい。 ・イラストが豊富に掲載されており、学習意欲の高まりが期待できる。 ・毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮はなされている。

27	右手・左手で動画が用意されていて分かりやすい。
28	・学習に課題がある児童にとっても、理解しやすい挿絵で筆の運び方のイメージがつきやすく、おれ・まがり・そり等が適切で手本の字形が美しい。
29	・お手本の文字が大きく、指でなぞり書きをして練習するのに適している。止め・はね・はらいなどのポイントが分かりやすく、文字を書く際に意識して練習することができる。 ・他教科との関連も図れるよう工夫されている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・本校児童の書写に関する実態に合っている教科書である。
2	・視覚的な情報が充実しているため、どんな児童でも書写活動に取り組みやすい点が、本校児童にも適していると思われる。
3	・支援の必要な児童にとっても見やすく分かりやすい。
4	・簡潔でわかりやすい。とめ、はね、はらいなど字形をよく見て取り組むことができそうである。
5	・見やすくまとまっている。硬筆での練習がたくさんある。
6	・本校の児童に適した内容量である。 ・書く姿勢から丁寧に指導することができる。 ・地域と関連付けた題材もあり、自分たちの地域に置き換えて学習できる。 ・「書」の歴史を紹介しているページがちりばめられ、児童が関わりやすいと思われる。
7	・これまでの学年で学んだ事項を復習できるよう書写ブックがついていて、いつでも基礎知識を振り返ることができるようになっている。
8	・動画の二次元コードがついていたため、視覚的に学習に取り組むことができる。
9	・その学年で学習する漢字が見開きで載っていて、見やすく、その漢字の読みも辞書のように載っていてわかりやすい。
10	・大きな手本、多すぎない説明文の分量で取り組みやすさがある。 ・教科書のページ数も多すぎず、余裕を持って学習に取り組むことができる。
11	・説明の表現が簡潔である一方、筆使いの写真や図は大きく示されており、見やすい。 ・適切であると思われる。量もちょうどよい。
12	・毛筆と硬筆がセットで練習できるように工夫されている。
13	・他教科・領域とのつながりが数多く示されている。縦断的かつ横断的な学習として深めることができる。また、パソコン(タブレット)を活用しながら学習を進められるよう掲載されている。
14	・児童にとって親しみやすいキャラクターが運筆などのやり方を示すため、児童の自主性のある活動が期待できる。
15	・姿勢や鉛筆(筆)の持ち方などの写真が大きくて見やすい。書き初めの漢字がやや易しいため、書く力が無理なく身につく。
16	・挿絵が豊富で、児童らも手に取りやすいと考えられる。
17	・情報量が適切で見やすい。 ・ページの構成がシンプルで、情報がしぼられて書いてあるので、ポイントが分かりやすい。
18	・手元の写真があり、見比べて握り方や姿勢を捉えられるところが良かった。
19	・二次元コードの動画がわかりやすい
20	・挿絵が大きく見やすいと感じた。 ・学ぶ内容が1ページにまとまっており、学習しやすいと感じた。
21	・児童が理解しやすいような挿絵や配置がなされている。
22	・学習の時に書き込んで使う欄が、適量である。取り組む上で気をつけるところなどの情報量が適量で、見やすく取り組みやすい。
23	・大きななぞり書きができところが、本校の児童にとって適している。 ・トン、スー、トンなど、児童にわかりやすい説明となっている。 ・ねらいに即した課題の量が、ポイントを押さえて練習できるちょうどよい量である。 ・文字の選択や練習の分量が、本校の児童に適切である。
24	・視覚的にわかりやすく、適切である。
25	・本校の児童の実態から見て、情報量が多すぎず適切である。
26	・絵や写真が見やすく理解しやすい。
27	・手本が字に焦点を絞っているため、児童にとって理解しやすく集中して学習に取り組むことができる。
28	・各ページのポイントとなる箇所にキャラクターが出てくるため、目を引きやすく、学習の意欲につながる。1ページの情報量が少なく、大切なことが大きく書かれているため、意識して練習することができる。

その教科書が適切である理由	
3. 社会の観点	
①社会的事象に関する基礎的な知識や技能などを習得させるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について児童が多面的・多角的に考えられるような工夫や配慮がなされているか。 ③学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか	
1	・色合いが見やすく、学習の見通しがつきやすい構成になっている。
2	・写真が多い。学習のめあてや方向性、ポイントが示されているため、学習内容がつかみやすい。ことばの解説が大きくて読みやすい。
3	・地図帳の使い方が、教科書冒頭に分かりやすく載っているのが良い。教科書で使い方を確認しながら地図帳を見ることができる。
4	・社会的事象について小学校段階で知る内容がバランスよく記されており、政治的意図に基づく構成や記述が他社より配慮されている。
5	・図や写真が見やすく掲載されており、知識を習得する上での配慮がなされている。
6	・6年の教科書は、歴史編と政治・国際編に分かれていて学習カテゴリーが子供にも理解しやすい。 ・写真や資料が整理されていて見やすく学習の見通しがもちやすい。 ・5年の教科書は、上下に分かれていることで取り扱いがしやすい。
7	・③の学習の問題を解決するまとめの部分に二次元コードでワークシートが示されており、教師も児童も学びやすいと思う。
8	・基礎的な用語の解説コーナーが欄外に設けられており、わかりやすくよい。 ・写真や絵などの資料がわかりやすく関連づけて掲載されている。学んだことを活かして考えることができる学習活動が単元の終わりに提示してあり、学習の問題をさらに追及したり、活用したりすることができるような工夫がなされている。
9	・資料が大きくて見やすい。また、資料のまとめ方(調べたことごのまとめ方)が分かりやすい。 ・問題解決を意識できる構成になっている。
10	・QRコンテンツが多く、子どもたちは直感的に理解しやすそうである。 ・関心意欲を高めそう。
11	・学習内容の多い5、6年の教科書が2冊に分かれている。持ち運びの負担軽減にもつながり、適切な配慮である。 ・資料の提示の仕方から、学ばせたいことが明確に伝わってくる。 ・読むだけでわかる丁寧な記述である。 ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「ひろげる」の表示があり、単元での学習活動が分かりやすい。 ・歴史編では、右端に年表で全体どの時代にあたるのかを確認できる工夫があり、とてもよい。
12	・「つかむ⇒調べる⇒まとめる」のように学習の流れがわかりやすく記載されている。 ・過去の写真が白黒のため、時代の移り変わりがわかりやすい。
13	・基礎的な技能、知識を習得させるための工夫、配慮がなされている。 ・多面的・多角的に思考できるような工夫がなされている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・読みやすい書体になっている。上下巻に分かれていて持ち運びしやすい。
2	・教科書本文のわきに、用語の説明が豊富な点が良い。言葉の習得に遅れがある児童も意味を確認しながら学習することができ、支援が必要な児童にとって適している。
3	・絵や写真が多く、自分たちの住む地域がかかわっていることがわかりやすい。
4	・補足資料について、内容が理解しやすく書かれており、本校の児童の実態と合致している。
5	・学習支援が必要な児童にとって、見やすさや扱いやすさは学習意欲につながる重要事項だと考える。その他の児童においても同様に大切である。
6	・写真や図がはっきりしていてわかりやすい。
7	・基礎的な用語の解説コーナーが欄外にあることで、社会科が苦手な子でも学びやすくなっている。写真や資料などがわかりやすく関連付けられているので、資料を読み取りやすい。
8	・色使い、タイトルの大きさ、写真などが見やすく、児童の興味を引く。 ・教科書が5年生は上下巻、6年生は歴史・政治・国際編に分かれており、扱いやすい。
9	・欄外のコラムや二次元コードが学習に活用しやすい。 ・6年が歴史と政治の2冊に分かれているため、持ち運びやすい。一冊にまとめられているよりも、手に持った時に軽いため、資料を探しやすい。
10	・読解力に課題がある児童にとって、紙面構成が適切でポイントが分かりやすく整理されていると感じる。
11	・文字数が少なく、資料が多いため、読むのが苦手な子にも取り組みやすい。
12	・地域性に配慮した内容が盛り込まれている。

その教科書が適切である理由	
3.	<p>社会的観点</p> <p>①社会的事象に関する基礎的な知識や技能などを習得させるための工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②社会的事象について児童が多面的・多角的に考えられるような工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか</p>
1.	資料の量や太文字になっている言葉の選択が適切である。
2.	単元の学習に必要な資料が豊富である。
3.	社会的事象について客観的に、多面的に子どもたちに伝えようとしており、記述の配慮がされている。
4.	教科書の前半に、学習の課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているため適している。
5.	<ul style="list-style-type: none"> 前回の教科書に比べて、「つかむ一調べるまとめる」の流れが紙面上で分かりやすくなった。 二次元コードが各ページに配置されており、調べ学習がしやすくなっていると感じた。 6年の歴史学習も写真資料が充実していると感じた。 社会科の学習の仕方が、巻頭に分かりやすくまとめられており、使用しやすい。
6.	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象に関する知識や技能が欄外に「キーワード」や「学びの手引き」等でくわしく記載されている。 見開き2ページで「この時間の問い」が明確にされており、本時の学習内容がわかりやすく示されている。 毎時、「この時間の問い」と「次につなげよう」が記載されているので、学習の見通しが持ちやすい。 資料が豊富に載っている。
7.	学習する内容に興味関心を持たせ、主体的に学ばせようとする効果的な資料が多く示されているとともに、学んだことをまとめる記述も見やすく工夫されている。
8.	<ul style="list-style-type: none"> 写真等でわかりやすく説明され、神奈川県についてもくわしくのっている。 必要な情報と資料が見やすく配置され、学習しやすい。 事象について多面的視点、多角的視点での記述が多く、児童に学習課題を持つ幅が一番あるように感じた。
9.	写真やグラフなどの量や配置が適切であり、児童が基礎的な知識や技能を習得できるように配慮されている。
10.	<ul style="list-style-type: none"> 資料の見やすさ、文字の分量も適切であること。 学習の過程にそった形で教科書を活用できること。
11.	<ul style="list-style-type: none"> ③の学習のまとめが例示しており、児童にとっても学びやすい。 学習の進め方が明示されており、学習を進めやすい。
12.	図、表、年表、写真などの資料が充実しており、視覚的にわかりやすい。「つかむ、調べる、まとめる」という学習の流れが、わかりやすく示されている。
13.	写真、図、グラフが充実しており視覚的に情報を得やすい配慮がなされている。
14.	<ul style="list-style-type: none"> 児童に押さえてほしい重要語句が、解説を加えて側注欄に記載されており、必要に応じてすぐに確認できる工夫がある。 各所に配置されている吹き出しや解説で、児童が社会的な見方・考え方を働かせて学習を進められるように配慮されている。 その時間の学習に関連する単元や考え方が、分かりやすくインデックス化されているため、児童が見通しを持って学習を進められるように工夫されている。
15.	社会に生きる多様な人たちの姿がまとめられており、働く人の気持ちに寄り添った学習ができる。
16.	領土問題などのセンシティブな話題について多面的、多角的に捉えられるよう、文章表現が配慮されている。
17.	<ul style="list-style-type: none"> 資料が的確で、グラフも多く用いられているため、児童の資料を読み取る力が養いやすい。 単元が「つかむ」「調べる」「まとめる」でまとまっており、PDCAサイクルを意識しながら思考力、判断力、表現力の獲得を目指す。
18.	領土問題について客観的に記載されている。
19.	学習問題を追究・解決する活動において、児童にとって身近な地域や話題が取り上げられており、社会科の教科書として適していると感じた。
20.	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を読み取りやすい写真資料やグラフが使われている。 写真やグラフなどの資料が豊富に掲載されているため、児童が多角的に思考できるようになっている。 動画やクイズ式教材などにアクセスできる二次元コードが豊富に使われており、児童が主体的に学べるよう工夫されている。 学習の流れである「つかむ」「調べる」「まとめる」が、教科書左側に明記されており、学習するページがどの段階にあるのか明確になっている。
21.	<ul style="list-style-type: none"> 見開き1ページで何を学び、どう学習して、次時に何をすることが子どもたちにもわかりやすいページ構成になっている。 写真やイラストが多く、資料も興味深いものが多い。
22.	シンプルかつ重要事項をおさえている。資料から考えさせるものが多い。
23.	<ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめにイラストがあり、学習課題をもちやすい構成になっている。 現代と昔の町の様子を、イラストで比較することができる。 学習の流れが明記されているため、見通しをもって学習に取り組みやすい。 色みがよく、資料やキーワードがわかりやすい。
24.	<ul style="list-style-type: none"> 2冊になっているのは持ち運びの負担が減る。 読み易いが全体にグラフなどの資料が少ない。 資料が見やすく多面的・多角的な考えができる。県内の市が扱われていて、子どもが学習に興味をもちやすい。

25	<ul style="list-style-type: none"> 児童が自ら調べる余地を残した教科書である。キーワードや掲載されている表やグラフから児童が調べたり、考えるたりすることができる。 「この時間の問い」や「次につなげよう」等の表示で児童の思考を導く工夫がなされている。 古い写真もカラーになっており、よりリアルに伝えようと工夫されている。
26	<ul style="list-style-type: none"> 図や資料が読み取りやすいから。 図と写真のバランスが良い。
27	<ul style="list-style-type: none"> 「次につなげよう」があることで、次時につなげやすい構成になっている。
28	<ul style="list-style-type: none"> ①教科書を通じて、学習の進め方(つかむ・調べる・まとめる)の3つの場面をくり返しながら学習を進めていくという内容が分かりやすい。 ②他の教科とのかかわりについても関連付けることができる内容になっている。 ③各単元で学習の問題を明確にしている、かつ、活動の充実を図るための資料が載っている。さらに、次につなげるための、学習の問題が記載されている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 文章の量、文字の大きさ、資料の量など適切である。
2	<ul style="list-style-type: none"> 疑問を持ち、調べる過程や結果分析について活用しやすい内容となっている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 本文・資料とともに内容が理解しやすく書かれており、本校の児童の実態と合致している。
4	<ul style="list-style-type: none"> 八ヶ岳の野辺山原や、箱根寄木細工など、藤沢市や神奈川県に身近な学習内容が記載されているため適している。
5	<ul style="list-style-type: none"> 5年の「自然条件と人々の暮らし」で、八ヶ岳を教材として取り上げている点で、藤沢市の子どもたちの実態に合っている。
6	<ul style="list-style-type: none"> 5年生で八ヶ岳自然体験学習を行うにあたり、「野辺山原の農業」について学習することができる。 「昔から今へと続くまちづくり」にて、本市が取り上げられているので、児童からして意欲が湧きやすい。 八ヶ岳体験教室に行く本校の児童にとって、長野県野辺山原が扱われていることは、体験的な学びにつなげることができる。
7	<ul style="list-style-type: none"> 文字と資料とのバランスがよく、児童が理解しやすいようにまとめられていること。
8	<ul style="list-style-type: none"> 1冊にまとめられているので、管理しやすい。 同じ神奈川県内の横浜市について書かれており、本市の児童の学習に適している。 現在使用の教科書とのつながりを生かせる。
9	<ul style="list-style-type: none"> 3年生の、「わたしたちのまちと市」の単元では、横浜市が取り上げられていて、県内の身近な場所を通じて学ぶことができる。4年生では、藤沢市の「耕余塾」について取り上げられており、明治小学校の開校につながる歴史を学ぶことができる。5年生では、八ヶ岳の高地野菜の栽培について取り上げられており、八ヶ岳体験教室に行くので、身近に感じることができる。
10	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習に絡めた内容が記載されているため本校では使いやすい。
11	<ul style="list-style-type: none"> 5年生の「高い地域の暮らし」では、野辺山原を取り扱っており、宿泊活動に合わせて学習を進めることができる。 4年生の水道についての学習や昔から続く町づくりの単元でも、身近な地域を取り上げた題材が掲載されており、児童の興味・関心を高められる。
12	<ul style="list-style-type: none"> 内容が丁寧にまとめられている。 3年生のテーマは「つかむ」「調べる」「まとめる」が明記されていて学習が進めやすい。
13	<ul style="list-style-type: none"> 第4学年の昔から今へと続く町作りの中で、藤沢市の内容が取り上げられていて、児童が興味を持ち、主体的に学習活動に取り組むことができると思われる。
14	<ul style="list-style-type: none"> 本校の児童の学力、学習意欲の実態に合った内容である。
15	<ul style="list-style-type: none"> 地域によって選択できる単元があり、児童の実態や地域に合わせた授業を行いやすい。
16	<ul style="list-style-type: none"> 4年を中心に確認した限りでは、神奈川県も適度に取り上げられていて使いやすい。
17	<ul style="list-style-type: none"> デザインや各ページの構成がわかりやすく、本校児童にとって学びやすいと感じた。
18	<ul style="list-style-type: none"> 4年p.152「昔から今へと続くまちづくり」において藤沢市の小笠原東陽を題材に取り上げている。 5年p.36「自然条件と人々の暮らし」において、藤沢市立小学校全校が5年生の宿泊学習で行く野辺山を題材に取り上げている。 6年p.114「武士の政治が始まる」において、鎌倉街道の地図内に「藤沢」の表記がある。
19	<ul style="list-style-type: none"> 小笠原東陽、耕余塾、(4年)、地域と関わりの深いものが掲載されていて使いやすい。
20	<ul style="list-style-type: none"> シンプルである。小笠原東陽を扱っている。
21	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市(3年)、野辺山高原(5年)、神奈川県(3年)が取り上げられているため、児童にとって身近でわかりやすい。
22	<ul style="list-style-type: none"> 県内の市が扱われていて、子どもの学習に適切である。
23	<ul style="list-style-type: none"> グラフや表が多く、数値まで細かく表示されている(5年)ので、表やグラフから児童が読み取り、考察することができる。資料の記載が適切である。
24	<ul style="list-style-type: none"> 藤沢市八ヶ岳野外体験教室と高地の暮らし(5年)がリンクしている。 市の様子(3年)が横浜を扱っているので、児童になじみがある。
25	<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラスト、図によって視覚的に理解しやすいように工夫されている。

その教科書が適切である理由	
3. 社会の観点 ①社会的事象に関する基礎的な知識や技能などを習得させるための工夫や配慮がなされているか。 ②社会的事象について児童が多面的・多角的に考えられるような工夫や配慮がなされているか。 ③学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか	
1	<ul style="list-style-type: none"> 写真などの資料が豊富な点が良い。また、大きく印刷されているため、写真から分かることをもとに考えを深めることができる。 ワークシートのような書き込めるページがある点が良い。
2	<ul style="list-style-type: none"> SDGsとの関連が課題解決学習とリンクしていて良い。 内容に偏りが少なく、理解しやすい色分けされたレイアウトで、指導がしやすい。文体も、理解しやすく説明されている。
3	<ul style="list-style-type: none"> グラフの読み取りなど基礎的な技能の習得ができるような内容になっている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 巻末にSDGsシールがあるのが良い。本校の児童はそのような教材に興味を示すことが多いため、児童の意欲を引き出す工夫として適切である。 教科書本文のキャラクターのセリフが吹き出し式になっているのが良い。文章を読むのが苦手な児童にとって読みやすく適している。
2	<ul style="list-style-type: none"> 大切な部分は、色分け等され、社会科に対して苦手意識を持っている児童も、取り組みやすいと思われる。
3	<ul style="list-style-type: none"> 各学年巻末にSDGsに関わる情報が特設されており、総合発展的な学びへ誘いやすい構成となっている。
4	<ul style="list-style-type: none"> 単元の中で身につけさせたい力がわかりやすく記載されている。 SDGsを意識した教科書の作りになっている。

その教科書が適切である理由	
<p>3. 地図の観点</p> <p>①一般図・拡大図・主題図・索引などは適切に配列されているか。</p> <p>②統計、各種の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即したものが適切に取り上げられているか。</p> <p>③児童が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の印刷が光沢を押さえた見やすいものとなっており、1ページの情報量も字の大きさも小学生に適した構成となっている。 ・統計、各種資料も気候から農業、工業等、多岐にわたって資料活用場面でも活用が期待できる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・雨温図が大きくて見やすい。季節風と気温、降水量が読み取りやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・①一般図・拡大図・主題図・索引が適切に配列されており、児童が地図全体を把握したり、そこから気になったことを拡大図で調べたり児童の思考の流れに沿ったものになっている。 ・②統計、各種の資料は最新のデータを採用しており、信頼性がある。 ・③イラストや写真資料を豊富に採用することにより、地図帳を手にしたばかりの三年生にも興味関心を引く物になっている。また、各学年の教育課程に沿った多種多様な統計資料を採用することでどの学年の児童も主体的な学習へ勝つことができると考える。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料が地図の横にあり、児童が興味をもって自主的に学習に取り組めるように配慮されている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書とリンクして使いやすい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードが掲載されていて、資料が充実している。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページに、周辺の地図を見るためには何ページに進めばよいかを書いてあり、児童の興味の広がり迅速に対応できると考えられる。また、文字フォントが見やすく、絵と文字の見分けがしやすいので、様々な見え方の児童にとって読み取りやすいと考えられる。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・文字・カラーも含め、見やすいレイアウトになっている。 ・必要な情報が分類毎に分けられているので、使いやすい。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・色合いがはっきりしているため、地図が見やすい。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や資料が見やすかった。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習資料として手に取りやすく、見やすく、さらに資料量が多いため適切と考える。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の児童が住む藤沢市については路線や主要な道路、海岸の名称など、児童にとって身近な資料が掲載されている。また、隣接する鎌倉市についても伝統工芸品や歴史的建造物を掲載しており、児童の興味関心を引く物となっている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から地図帳を見たいような写真やイラストが豊富に載っている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙にも写真が使われており、児童が興味を持って読み始めるだろうと考えられる。 ・ところどころにあるコラム記事が読みやすく、内容が分かりやすいので、児童の理解が深まると考えられる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードの中に、ドローン動画があり、地形の違いが理解しやすそう。関心、意欲を高めてくれそう。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に分かりやすい資料が多く使いやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 地図の観点	
①一般図・拡大図・主題図・索引などは適切に配列されているか。 ②統計、各種の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達の段階に即したものが適切に取り上げられているか。 ③児童が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	
1	・地図の見方、使い方の説明が児童の興味をひくようなものになっていて、色味も見やすく記載されている。 ・必要な情報がバランス良く見やすいレイアウトになっている。
2	・陸の高さの色分けが見やすい。
3	・グラフの見方の説明があり、文字のフォントや色で見やすく工夫されている。 ・地図の見方や使い方などわかりやすく丁寧に書かれている。
4	・拡大地図が大きく掲載されているため、児童(特に3・4年生)にとっては活用しやすい ・単元別(産業別)のページが充実しているため、児童(特に5年生)にとって活用しやすい
5	・見開きで連続して掲載されている。 ・自分で調べられるようにページの構成がなされている。
6	・防災の内容が多く盛り込まれている。
7	・地図の種類ごとにインデックスされており、本時の活動でどの地図を使用すると便利か考えやすい。 ・資料は5年以内の統計がほとんどであり、児童の思考に沿ったものになっている。 ・土地利用が分かりやすく示されており、土地の姿を理解しやすい。 ・色分けが見やすく、全体的に把握しやすいレイアウトとなっている。
8	・地図帳を活用する上での基本的知識がわかりやすく説明されている。また自らの知識を確認するための「トライ」という欄があり、興味関心を高める工夫がなされている。土地利用の色が比較的是っきりして見やすい。
9	・色合いや欄頭に配慮がされており、非常に見易い。 ・コラム記事が効果的に掲載してあり、児童の興味関心を引くように構成されている。
10	・全体的に文字が大きく、資料・統計のデータが見やすい。 ・海の部分の色が薄く、地図部分が見やすくなっている。 ・地図に描かれている絵記号が大きく、見やすく配置されている。
11	・文字の大きさや情報量が中学年の児童にも見やすく理解しやすいように工夫されている。
12	・二次元コードが掲載されていて、資料が充実している。 ・全体的に色合いが明るく、使いやすい。
13	・掲載されている情報量がコンパクトでわかりやすい。どこに何の資料が載っているか、見やすいレイアウトで調べやすい。日本各地の詳細地図では、高低差が山脈の形や色でわかりやすく表現されており、視覚的に日本列島の特徴をつかむことができる。
14	・地図の色が明るく、見やすい。書かれている文字が読みやすい。地図の使い方についての記載がわかりやすく、地図を読む技能を身につける工夫がされている。歴史学習や外国語活動でも地図を活用できるようなしなやかさがあり、他教科と関連して学ぶことができる。
15	・児童の発達の段階に即した内容になっている。 ・児童の自主的な活動がしやすい地図表記になっている。
16	・各種の地図が、見やすく適切に配列されている。 ・3年生時に初めて手にする際、地図帳の使い方について導入があるなど、児童の発達に即した内容になっている。 ・児童が興味を持って調べるために必要な地図情報が、分かりやすく精選されている。
17	・地図の文字が見やすい。字の周りが白で囲まれているり字が大きかったりなどの工夫があった。 ・イラストや絵記号が多数配置され、児童にとって親しみやすい。 ・「地図マスターへの道」について、問題の文字が大きく読みやすいため、自ら学ぶ意欲につながる。
18	・索引が種類によって色や太字などの工夫がされており、見やすい。統計資料は、絵や写真、グラフなどが効果的に使われている。児童が興味を引きそうな資料が載っているため、自ら課題を見つけて学習を進めることが期待できる。
19	・統計の年度が比較的新しく、データの種類も豊富である。 ・円、棒、帯、折れ線と各種グラフが多くあり、児童のグラフを読み取る力を養うことができる。
20	・「地図のやくそく」「地図帳の使い方」が丁寧に解説されており、児童が主体的に学習できる。
21	・本書のはじめに教ページを使い、地図帳の見方・使い方を学ぶページがあり、その後の活動に取り組みやすいと感じた。
22	・地名の表記が、濃淡や大小、フォントを区別して表されており、大きな都市などを見つけやすい。 ・標高の色分け表示が色遣いがはっきりとしており、視覚的にとらえやすい。 ・自然災害(4年)、各地の雨温図(5年)など、社会科の学習との関連が図られている。 ・二次元コードから地図クイズ、動画、音声、デジタル地図などにアクセスでき、地図資料として児童が広く活用できる。
23	・土地利用が色分けされている。全体的に見やすい。
24	・地図帳の使い方が丁寧に説明されている。 ・「地図のやくそく」にある練習問題が、技能を身につけやすい。 ・学年に応じた内容になっている。
25	・地図や資料が見やすかった。
26	・初めて開く時に見るであろう日本・世界地図は、緯線、経線の表示のないシンプルなもの、最後のページには、詳細なものが掲載されていた。目的によって使い分けできる工夫がある。 ・地図の使い方が対象学年に合わせた丁寧でわかりやすい表現になっており、自学自習にも適している。 ・「江戸時代の結びつき(東海道等)」「江戸時代後期(江戸城を中心とした江戸の町)」といった歴史に関連した地図も掲載されており、使いやすい。 ・最新のデータが比較しやすいように並べられ、すっきりと見やすい。
27	・索引が見やすく、子どもたちにもデータが読み取りやすい。 ・高低土地利用の色分けが分かりやすい。(コントラストがはっきりしている)
28	①標高や土地利用等細かすぎず見やすく色分けされている。初めて地図を読む児童にとって、煩雑すぎずわかりやすい。索引が日本と世界に分かれていて、地名を探しやすい。 ②統計等のデータは、子どもの調べ学習に利用しやすく、教科書、インターネットよりも児童の学習に即した内容になっており心強い。色使い等も見やすく、子どもたちが自分のノートに書き写すことを想定したとき、使いやすい内容である。 ③総じて地図が見やすいため、様々な地名をゲーム感覚で探し当てたり、その土地の利用の仕方や特産物などにも目を向けることができる。他の地図にはない、ちょっとした情報(例:世界一広い島)が載っていて夢中で読むことができる。
29	①一般図・拡大図・主題図・索引などは適切に配列されている。 ②統計、各種の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達の段階に即したものが適切に取り上げられている部分が多い。 ③児童が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮がなされている。
30	・図やイラストが大きく見やすい。特に、地図記号や方位を拡大して、見やすく、分かりやすい。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・縮尺の違う地図が多く、土地の様子がわかりやすい。
2	・地図のことにに関する問題が所々にあり、児童が地図を見ながら興味をもって取り組めるよう工夫されていて本校の児童に適している。
3	・情報の取捨選択が苦手な児童にとって、地図や産業の様子を大きく掲載している地図帳が適していると考えられる。
4	・日本地図が大きいサイズで書かれていて、児童の興味を引く。 ・絵がシンプルで何に注目していいかがわかりやすい。
5	・藤沢市の児童が宿泊行事で防れる八ヶ岳が扱われている。
6	・地図のやくそくや地図帳の使い方がていねいに示されているので、使用する際に児童が使い方を振り返ったり考え直したりできる。 ・適切な情報量で見やすい。 ・地図になじみのない児童も、掲載されているデータを活用しやすいと思われる。
7	・文字やルビが大きく、中学年の子どもたちにとって読みやすいので、より活用されやすいと考えられる。
8	・絵や文字が大きく、見やすく配置されている
9	・イラストが効果的に使われており、興味を持ってみる事ができる。
10	・見やすさや分かりやすさがあることにより、児童が主体的に地図帳を読み込んだり、扱ったりすることが可能になる。
11	・教科書の内容と関連していて、活用できるページが多くあって、よい。
12	・掲載されている情報量がコンパクトでわかりやすく、どこに何の資料が載っているか、レイアウトも見やすくなっているので、初めて地図帳を使う子、調べるのがあまり得意でない子も調べやすい。本市5年生が野外体験活動で行く長野県八ヶ岳の野辺山高原について、くわしい資料が掲載されている。
13	・外国につながる児童にとって、地図の文字が読みやすく、わかりやすいので、日本語を学習中の子どもたちにとっても学習に取り組みやすい。
14	・地域の地形、標高などの色分けが見やすい
15	・各地図が大きくダイナミックに掲載されており、子どもが興味を持ちやすい。 ・必要かつ十分な地図の掲載量になっている。紙面に表しきれない情報は、インターネットコンテンツを活用しているため、一人一台端末配当の時代に合っている。
16	・地図帳を使用する活動に活用しやすい。 ・自ら興味をもって、開きたいと思えるような情報が多数掲載されており、地理への興味関心につながる。
17	・色彩的に配慮されているため、色使いが目にも優しく、集中して学習に取り組むことが期待できる。また、高地のくらしで、野辺山原が取り上げられているため、5年生の野外体験教室との関連がある。
18	・児童の学習意欲から見て、地図的要素以外のページも充実している方が、補助教材として活用しやすいと考える。
19	・児童の実態に即している。すべての児童にとって活用しやすいユニバーサルデザインになっている。
20	・各ページのデザインや構成がわかりやすく、本校児童の学習に適していると感じた。
21	・「藤沢市」が目立つように表記されており、探しやすい。 ・資料図としてp.55,56に江戸時代の街道のページがあり、「藤沢」が歴史に登場していることがわかる。
22	・内容がシンプルで見やすい。
23	・前半に、地図の見方等が詳しく書いてあるため、わかりやすい。 ・八ヶ岳体験教室で身近な野辺山高原が載っている。
24	・視覚的に分かりやすい資料が多く、使いやすい。
25	・日本の地方の地図に、「広く見わたす地図」と「詳細地図」の2種類があり、目的や児童の発達段階に合わせて選択することができる。 ・注目すべきところが見やすく表示されている。 ・索引が国名、首都名等で色分けされており、大変使いやすい。
26	・藤沢周辺の地図も見やすく、適切である。
27	・ページ数が多いが、その分知りたい情報が載っている。また、読み取りが難しい児童には、少し簡略化した地図も載っており、どの子もできるだけ平等に地図帳に親しむことができる書き方。
28	・地図帳を初めて手に取ることを考えると、文字の大きさや情報量の多さは適切である。ほとんどのページに二次元コードがあり、タブレットで拡大して見ることができるのがとても便利である。
29	・地図のやくそく、地図帳の使い方などで、図やイラストが大きく一目で分かりやすい。

令和6年度使用小学校用教科用図書調査書まとめ
小学校 算数 (種目:算数)

各学校が、各観点に沿って、当てはまるとされる発行者に○をつけたところに「1」の数字が記入されています。
※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成							2.分量・装丁・表記等							3.算数の観点							4.本校の児童の英語や地域等の特性との関連									
	東春	大日本	学図	教出	啓林館	日文		東春	大日本	学図	教出	啓林館	日文		東春	大日本	学図	教出	啓林館	日文		東春	大日本	学図	教出	啓林館	日文				
1	1			1	1			1	1		1	1			1			1	1			1			1						
2	1							1							1							1									
3	1					1		1					1							1		1					1				
4			1	1						1	1						1	1													
5	1							1							1							1									
6	1							1	1						1							1	1								
7	1		1					1		1					1						1		1								
8	1	1						1	1						1	1	1		1	1		1	1								
9	1				1	1		1					1	1					1	1		1		1	1						
10	1							1							1							1									
11	1							1				1			1						1										
12	1							1							1						1										
13	1		1					1		1					1		1				1		1								
14	1							1			1				1						1			1							
15	1		1	1				1		1					1						1										
16	1		1					1					1		1				1		1		1			1					
17	1							1							1						1										
18	1			1				1			1				1			1	1		1			1	1						
19	1					1		1							1					1		1									
20	1			1				1			1				1			1			1			1							
21	1	1	1			1		1	1		1		1		1	1	1				1	1		1		1					
22	1	1				1		1	1				1		1	1				1		1				1					
23	1							1							1						1										
24	1		1	1				1		1	1				1		1				1		1	1							
25				1		1							1		1						1			1							
26	1			1				1			1				1						1			1							
27	1							1							1						1										
28	1							1							1						1										
29	1					1		1					1		1				1		1		1			1					
30	1		1					1				1			1		1				1		1								
31	1	1	1	1	1	1		1	1		1	1	1		1	1				1	1		1	1		1					
32	1	1				1		1	1			1			1	1				1	1			1							
33	1		1					1		1	1				1		1	1			1		1								
34	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1		1	1			1	1	1	1		1		1					
35	1							1							1						1										
33	6	11	11	7	8	0	0	33	8	7	11	8	8	0	0	34	6	10	7	9	7	0	0	33	5	5	9	6	6	0	0

その教科書が適切である理由	
3. 算数の観点 ①数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ②具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考え、表現し、さらに伝え合うような題材として工夫や配慮がなされているか。 ③目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現する題材や、統計データの特徴を読み取り判断する題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	・数の概念がわかりやすく表記されている。(低学年) ・全体的な色合い、文字の間隔、挿絵の位置など他社に比べて見やすさがある。 ・児童の理解の助けとなるイラストや写真が適切に配置されている。
2	・書き込み欄が大きく書き込みやすい。文字も大きく読みやすい。
3	・①教科書の後ろに付録(ほじゅうの問題)があることによって、繰り返し学習することができるので知識・技能が身につく。単元ごとに学習の仕上げとして練習問題があり、基礎を最終確認することができる。 ・②「○○さんの考え」など考え方が分かりやすく、可視化されている。 ・③児童にとって身近な例えで題材をあげていて取り組みやすい。
4	・図表が見やすく、問題量も過不足なく載っており、適切である。
5	・基礎的な学習の定着を図った後に、発展問題に取り組む際の選択肢(問題数)が多い。また応用問題も豊富である。次の学年を意識した出題の仕方をしている。 ・「今日の深い学び」のページでは、ノートの活用方法の具体例がわかりやすく、実践しやすい。
6	・教科書に書き込みがしやすい。 ・シンプルで視覚的に見やすい。
7	・単元の導入のページで、既習事項の確認ができるような問題が設定されており、学習の繋がりを意識づけるような工夫がされている。 ・マークや指示が分かりやすく、児童にも理解しやすくなっていると感じました。
8	・今までの教材研究が生かされる内容であり、教科書に書き込みやすい。具体物もあり、使用しやすい。 ・補充の問題があって良い。使いやすい。 ・単元の導入が、日常生活との関わりが深く、身近なところから学習に入れる。 ・ノートの例が示されていて、考えを表現する練習ができる。
9	・知識や技能の定着だけでなく、説明を求める問題が意図的・発展的に設定されており、思考力・表現力の育成につながる工夫がなされている。
10	・問題の提示の仕方(導入部)が、写真やイラストを使ってあり、児童にわかりやすい。また写真を使う割合が適切である。問題量も、全体で差が付きにくい量であると感じた。
11	・学習課題が具体物や図、表などを元に考えられるように構成されている。 ・練習問題の量が適切である。
12	・学習の過程にそった形で教科書を活用でき、自分の考えを話し合ったり、発言したりする時間が設定されている。 ・表やグラフ、数直線などを用いて考え合うような工夫がされている。
13	・1年4月分が別冊があり、数字が大きくて、数字に初めて触れる児童にとってやりやすいと感じる。
14	・単元の配列が系統的に指導しやすくなっている。文字情報が多すぎず、見やすい。 ・数直線等の図の扱いが多く、数学的活動に活用しやすい。
15	・知識・技能を身につけるまでの過程がていねいだった。
16	・問題数が多く、反復学習することができる。 ・写真が多い。また身近なものが多く使われておりイメージしやすい。 ・表が大きく見やすい。
17	・ふり返りのページが基礎的な知識の復習に役立つ。
18	・自分で問題を作ったり、教科書に書き込んだりと児童が能動的に取り組めるようにページ内で工夫がされている。また、そのスペースが十分に確保されている。 ・児童がつまづきそうな問題に対して、自ら問題解決していくための道すじが示されている。また、問題がパターン毎に色分けされており、単元の中で最小限押さえておきたい問題がわかりやすくなっている。
19	・児童にとって見やすい構成になっており、情報が整理されていて、何を学習するのが明確である。 ・「マイノート」を活用することで、数学的な見方・考え方の振り返りと自覚を促すことができる。
20	・児童が書き込みやすい工夫がなされている。 ・児童の実態に応じて文字の書きやすさに配慮されている。
21	・学習したことを基に、創造的・発展的に考えることができる。 ・他者と協同的に学ぶ問題が用意されている。
22	・単元のまとめが充実してる。 ・見開いたときに平らになるので、算数ブロック等の教具が置きやすい。
23	・グラフや表が大きくわかりやすい
24	・記入のマスが大きい。補助線あり。
25	・①教科書にめあての記載がないため、児童からめあてを引き出すことが可能である。吹き出しやヒントが丁寧かつシンプルなので、考えることが難しい児童にとっての手立てとして分かりやすい。 ・②数直線などの書き方を動画で見ることができるなど、文書を絵や図に書く時の方法が児童にとって明確である。

26	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容が単元の頭に出てくるため、系統的に思考できる。 身近な日常生活の題材により、探求内容もわかりやすい。 イラスト等も豊富で、視覚的効果もあり、理解が促進されやすい。
27	<ul style="list-style-type: none"> 学習するところを系統立てて考えられるようになっている。 思考力を図る問題があるので、テストだけでなくノートなどでも判断しやすい。
28	<ul style="list-style-type: none"> 児童が自分で書き込めるスペースが大きくてよい。 一年生は、上下巻ではなく、スタートブックとして分かれているため、使いやすい。 児童の思考を促すヒントがたくさんちりばめられている。 図が大きめに提示されているため、児童が視覚的にとらえやすい。単元の構成順序もよい。 例題から練習問題、まとめの流れが適切である。 ふりかえりコーナーで、既習事項を確認することができる。
29	<ul style="list-style-type: none"> 普段から使っているため扱いやすい。 伝え合う活動を多くとりいれている。 進め方に無理がなくわかりやすい。 練習問題は多いが水色の部分だけなど取り組みやすい。 イラストが実物に即していて、わかりやすい。配色も目に優しく落ち着いて取り組める。
30	<ul style="list-style-type: none"> 文字が少なく、文字指導初期に適切である。 Dコンテンツで実際に体験できるところがよい。 九九表や紙物差しなど、児童自身が作業するところがあり、学習意欲の高まりが期待できる。 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされている。 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考え、表現し、さらに伝え合うような題材として工夫や配慮がなされている。 目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現する題材や、統計データの特徴を読み取り判断する題材として工夫や配慮がなされている。
31	<ul style="list-style-type: none"> 身近な題材をつかった問題が多く、子どもがイメージしやすい。 問題数がちょうど見やすい。
32	<ul style="list-style-type: none"> 算数の学習段階として、絵から図、図から式という段階を踏んで構成されているため、児童が論理的な思考を働かせやすく学習することが出来る。
33	<ul style="list-style-type: none"> 説明や解説がわかりやすい表記になっている。データをもとにした学習では環境問題などを題材とし、他科との横断的な学習も意識されている。
34	<ul style="list-style-type: none"> 作図作業の手順が写真と合わせて丁寧な言葉で書かれているので、確認しながら個人でも取り組むことができる。 単元の導入部分がシンプルに設定されているので学習内容が理解しやすい。 複数の考え方を提示していたり、自分の考えとの比較ができるような呼びかけが工夫されている。 知識の定着を図るため、単元の終わりに「算数の目」として考え方を確認できるページが設けられている。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連

1	<ul style="list-style-type: none"> 使用している算数ブロックと同じタイプでわかりやすい。(1年) 問題数が適切である。
2	<ul style="list-style-type: none"> サイズもほどよく、図がわかりやすいため親しみやすく、児童の実態にも合っている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識は身につけている児童にとって、問題数が多い東書は、教をこなしていく意味で適切である。慣れ親しんだものであり、子どもたちも見やすい。課題に素早く取り組むことができる。
4	<ul style="list-style-type: none"> 1～5年まで上下巻に分かれており、体力のない児童にとっても重さの負担がなく適切であると考えられる。
5	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階に応じてすっきり見やすいレイアウトになっている。 問題によっては、ノートを使用せず、教科書に書き込む際にも無理なく取り組むことができる。 特にこれまでの教科書よりページに使用されている色の数が減り、見やすくすっきりした印象を受けた。 児童が学習に取り組む際に適したレイアウトであるように感じる。
6	<ul style="list-style-type: none"> 情報量が適切で、見やすい。 現在使用しているデジタル教科書が使いやすく、子どもたちの理解の手助けとなる。
7	<ul style="list-style-type: none"> 習熟度に大きな差があるのが本校の児童の特徴です。練習問題の数が多く、個に応じて練習量を調整しやすいと感じました。 単元の中に、発展問題(いかしてみよう)があると反復学習につながると感じました。
8	<ul style="list-style-type: none"> 本校の児童の実態に合っている学習問題や量である。 興味を引く表紙で引きつけられる。 毎単元ごとに既習事項をふり返るページがあり、実態に合っている。
9	<ul style="list-style-type: none"> 比例や反比例のグラフを描く練習のために1mm方眼が用意されているので、細かくプロットして線を引くことも指導しやすい。
10	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決する際に、提示されている絵やイラスト、文字が大きめでわかりやすく、本校児童にとっては取り組みやすく考えやすいと感じる。 問題量もちょうどよく、児童の実態とあわせて適切であると判断した。
11	<ul style="list-style-type: none"> 文字と絵や図とのバランスがよく、児童が理解しやすいようにまとめられている。
12	<ul style="list-style-type: none"> 1～5年生の教科書は、上下に分かれていて字の大きさ、色等、見やすくつくられている。 広げたときに卓上が圧迫されない。ノート、タブレットを置くスペースが取れる。
13	<ul style="list-style-type: none"> 文字情報が適度で、図が見やすい。 単元の始めの既習の振り返りがあるのがよい。
14	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップで丁寧に内容がすすんでいくので、理解がしやすい。

15	・国際教室に通級している児童にとって、視覚にうったえるものが多くわかりやすい。 ・1年生の導入に「はじめよう算数」があることが良い。写真も多く考えやすい。
16	・前学年までの既習内容を振り返ることが必要な児童に対し、ふりかえりコーナーが支援として使える。
17	・履修後も自分で教科書を見直し、解き直しができるような工夫がされている。また、授業の中だけでは知識の定着が難しい児童にとっても、わかりやすい編集になっている。 ・教科書に登場するキャラクターが考え方の端緒となることを代弁し、児童と一緒に考えを持てるように展開されている。 ・既習事項を生かして考えることができるように、単元の大事なポイントが随所に掲載されている。
18	・吹き出しを用いる等情報が整理・精選されており、シンプルで分かりやすい。
19	・教科書に書き込むマスが大きく用意されているなど、どこに何をかけばいいのか視覚的にとらえやすい。 ・1年①の教科書のつくりが大きく、文字を書きやすい。
20	・既習事項の振り返りのページが単元のはじめにあることで、その単元で必要となる内容を確認できる。
21	・以前から東京書籍の教科書を使用しており、なじみがあり、児童も見通しをもって学習に取り組むことができる。
22	・分量が丁度よく、わかりやすい
23	・基礎問題が色で分類されている。まとめが分かりやすい。1ページの分量がいい。
24	・補充問題、ふり返り学習、学年のまとめがあり、個人差に対応している。
25	・基本的のところを考えてクローズアップされているので、比較的とっつきやすい。
26	・一年生の別冊スタートブックが、本校の児童にとって取り組みやすそう。 ・図が大きめに提示されているため、視覚優位な児童が多くいる本校の実態に適している。
27	・児童も例年使っている教科書のため、見やすいのではないかと考える
28	・はっきりした絵と文字で、どの児童も取り組みやすそうだから。 ・例題の内容が学校生活にありそうな場面が多いので、児童が学習しやすく、本校の児童の実態から見て適切である。 ・各単元の最後に「学びを生かそうやってみよう」という項目が設定されていて、学んだ知識や技能を深めるための工夫がされている。
29	・慣れ親しんだレイアウトで取り組みやすい。
30	・情報が精査されているため、1つの問題に集中しやすい。
31	・ページ構成がシンプルで、最も見やすいと感じた。実際に児童が使用している教具と似ている具体物で説明されており、理解しやすい。
32	・1ページに書かれている文量が多すぎず本校の児童には適切。 ・ノートづくりの例が所々に出てくるため、自分の考えをまとめる活動がしやすい。 ・問いやまとめに色枠が付いていてユニバーサルデザインの観点からも適切。

令和6年度使用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧
 小学校(算数)

大日本図書

その教科書が適切である理由	
3. 算数の観点 ①数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ②具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考え、表現し、さらに伝え合うような題材として工夫や配慮がなされているか。 ③目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現する題材や、統計データの特徴を読み取り判断する題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	・写真や絵が見やすいです。また、生活にかかわる問題もあるため、使いやすいと感じました。
2	・学び方から大切な考え方へつないでいく、部分に重きが置かれており、ただ学ぶだけではないところが良い。
3	・書き込む場面が多く、使いやすい。
4	・問題の解き方が丁寧に書かれている。 ・イラストと文字のバランスがよい。 ・上下巻に分かれていないので扱いやすい。
5	・位取り表の表記が、児童が理解しやすい形になっている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・上下巻に分かれてなく、1冊でコンパクトにまとめられている点が良い。 ・荷物軽減の観点から考えると利点であると捉える。
2	・2年生から6年生は1冊で1年間分を学習することができるところがいいと思います。
3	・1年①の教科書の作りが大きく、文字を書きやすい。
4	・上下巻に分かれていないので、見通しをもちやすい。
5	・実際に児童が使用している教具と似ている具体物で説明されており、理解しやすい。

その教科書が適切である理由	
<p>3. 算数の観点</p> <p>①数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。</p> <p>②具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考え、表現し、さらに伝え合うような題材として工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現する題材や、統計データの特徴を読み取り判断する題材として工夫や配慮がなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・余白が多く見やすい。 ・練習問題の数がちょうどよい。 ・導入ページが見やすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・計算式に対応した図やイラストが併記されており、理解しやすい。 ・カラフルなイラストやキャラクターが、表現や伝え合いの手助けになる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい色分けで児童がイメージしやすい。 ・付録教材が大きく、紙がかたくて使いやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図が見やすく、文字の分量も適切である。 ・整数と小数の単元において位ごとに色分けされているように、視覚的にも学ぶことができる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードが多いので、視覚的にわかりやすそう。 ・言語活動につながるコラムが多い。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある物から興味付けを行い、基本的な知識を得られるような工夫がされている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使った、考え方がわかりやすく書かれている。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・数の分解の図が分かりやすい。線つなぎがあるのがいい。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・「はてなをはっけん」のコーナーなど、考えを絵・図・式に明確に示しており、分かりやすく丁寧。 ・数学的活動を円滑にできる。 ・書き込めるところが多く使いやすいそう。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・問題提示から解決までの過程が漏れなく示されているため、個別最適化の学習に向いている。 ・児童の興味を引くイラストや馴染みやすい導入が示されており、自分事として問題に取り組める。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味関心を引くような図が載っている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・導入部分の仕掛けがわかりやすく、児童が学習に主体的に参加しやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードがあるので、視覚的に理解しやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・問題数が多すぎず少なすぎず、適切である
5	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめにマンガがあり、導入に適している。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・児童も例年使っている教科書のため、見やすいのではないかと

その教科書が適切である理由	
3. 算数の観点 ①数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ②具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考え、表現し、さらに伝え合うような題材として工夫や配慮がなされているか。 ③目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現する題材や、統計データの特徴を読み取り判断する題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫と配慮がなされている。 ユニバーサルデザインに配慮されていて見やすかった。特に九九のページが良い。
2	書き込みスペースがよい。
3	グラフが大きく見やすい。
4	分数÷分数の単元で学習の順序がわかりやすい。
5	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報がシンプルに見やすく掲載されている。 課題提示に必然性があり、発展問題が興味深く、問題発見力、解決力、追究力を育成するものとなっている。 導入の図が児童の興味を引きつけ、算数の問題への気づきにつながる。
6	巻末の「学びの手引き」が大変良い。分度器の使い方、コンパスの使い方等が写真や動画付きで丁寧にまとめられ、児童自ら確認し、理解を深めることができる。既習事項の整理や確認に活用できる。
7	字のフォントや配置がユニバーサルデザインを意識しており、教科書の内容が頭に入りやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 字の大きさ、色、見やすい教科書のつくりになっている。 広げたときに卓上が圧迫されない。 ノート、タブレットを置くスペースが取れる。
2	単元の導入では、児童が興味を引く絵や図等から始まっており、目的意識をもって課題に取り組むことができる。
3	二次元コードで読み込め、解説がわかりやすい。
4	説明がわかりやすく、どんな子にも理解しやすい工夫がみられる。
5	基礎問題が色で分類されている。まとめが分かりやすい。1ページの分量がいい。
6	身近な題材を多く使い、考えやすい場面設定を行っている。
7	二次元コードに動画のコンテンツがあり、細やかな配慮がある。より抽象化した課題でイメージがわきにくい児童に、有効であると感じた。
8	算数が苦手な子にとって、より見やすい教科書を使うことで抵抗をなくせる。
9	実際に児童が使用している教具と似ている具体物で説明されており、理解しやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 算数の観点 ①数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ②具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考え、表現し、さらに伝え合うような題材として工夫や配慮がなされているか。 ③目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現する題材や、統計データの特徴を読み取り判断する題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	・4年割り算の筆算の説明が見やすい。5年面積の説明もわかりやすい。とても丁寧に書かれていた。
2	・P38.39で筆算のやり方がいねいに書かれており、見開きで比べることができるようになっており、苦手な子でも数の仕組みを視覚的に理解できるような工夫がされている。
3	・単元構成が良い。九九の表とかけ算の後に、わり算があるのが良い。グラフにまとめられるのが良い。
4	・問題を考えていく構成はわかりやすい。教科書に描きこんでいくことができるのも評価できる。 ・単元によっては、少しレベルが上なものもあるので、上を目指したい児童にとっては適しているのではないかと思う。
5	・図形の学習で、図が大きくかかれている。
6	・児童目線で作られており、児童が必要に迫られ解きたいと思う課題提示がされている。 ・グラフ等の資料が大きく、適切なグラフの使い方についても触れているため、使いやすい。
7	・各単元の最後に「学びを生かそうやってみよう」という項目が設定されていて、学んだ知識や技能を深める楽しい問題が掲載されている。 ・帯グラフの着色や色の配置が見やすく工夫されている。 ・小1、中1の学習がスムーズにスタートできるように、校種間の連携にも配慮しており、細やかな配慮がある。
8	・問題を解くまでのアプローチが分かりやすい。 ・問題数が適当である。
9	・補充問題の中にレディネスの設問があり、工夫されていると感じる。 ・イメージしやすいものや具体物で説明されており、分かりやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・問題数が適切である。
2	・単元構成が良い。
3	・各ページの色分けが見やすく、あきることなく見られる。
4	・意欲的に取り組みたくなる課題が多いため、本校の児童も主体的に取り組むことができそう。 ・付録が、本校の児童の興味をひくものである。
5	・導入問題に工夫があり、児童の興味を引きつける工夫がある。
6	・文字間隔が適当で読みやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 算数の観点	
① 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	
② 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考え、表現し、さらに伝え合うような題材として工夫や配慮がなされているか。	
③ 目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現する題材や、統計データの特徴を読み取り判断する題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ① 各段階ごとに色分けがされていて、見やすい。二次元コードがあることで、自分の力で考えることができる。お家での学習でも役立つ。 ② 角度に色がついていて分かりやすい。発表する際にも「青の色の角度をはかってみよう」など具体的な言葉で説明することができる。 ③ 児童にとって身近な例えで題材をあげていて取り組みやすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートの取り方の例がわかりやすくかかれていた。 ・ 問題の答えや式を書くところが分かりやすいが、もう少し式の枠などが広いと、文字を書くことが苦手の児童にも書きやすいように感じます。
3	・ 問題の量が適切である。文字の大きさが大きくてわかりやすい。
4	・ 位や偶数奇数等の配色、色の使い方に規則性があり、配慮されていた。
5	・ 問題や図、イラストなどが、子どもたちの生活の中で目にする機会が多く、イメージしやすい物が取り入れられている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活経験に基づいた例により、考え方を学ぶことができる。 ・ 使用する色が統一されており、重要な部分を見落としにくい。
7	・ 活動的内容が充実している。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・ 基礎的・基本的な知識は身につけている児童にとって、問題数が多い日文は、数をこなしていく意味で適切である。
2	・ 教科書にしおりがついているので児童が今どこを学習しているのか、わかりやすい。
3	・ 10進法や60進法が規則的に色分けされているので、色でも理解が促せる。
4	・ 前学年までの既習内容を振り返ることが必要な児童に対し、ふりかえりコーナーが支援として使える。
5	・ ヒントや動画を読み込めて、理解するための手立てとなりそう。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活に近い例や見本、実物の写真が多くとりあげられていて、取り組みやすい。 ・ 児童の理解度合った練習問題があり、個々にあった学びをすることができる。

令和6年度使用小学校用教科用図書調査書まとめ
 小学校 理科 (種目:理科)

各学校が、各観点に沿って、当てはまるとされる発行者に○をつけたところに「1」の数字が記入されています。
 ※学校願は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成							2.分量・装丁・表記等							3.理科の観点							4.本校の児童の実態や地域等の特性との関連										
	東容	大日本	学図	教出	信教	啓林館		東容	大日本	学図	教出	信教	啓林館		東容	大日本	学図	教出	信教	啓林館		東容	大日本	学図	教出	信教	啓林館					
1	1	1						1	1						1	1																
2		1							1							1										1						
3	1							1							1											1						
4	1		1			1		1				1			1		1		1				1			1						
5	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1				1		1						
6		1							1							1										1						
7			1	1						1	1						1	1					1	1								
8		1							1							1								1								
9	1	1		1				1	1		1				1	1		1				1	1			1						
10				1				1							1								1	1								
11		1													1								1									
12		1							1							1							1									
13		1							1							1							1									
14	1	1						1	1						1	1						1	1			1						
15	1	1	1	1		1		1	1	1	1		1		1	1		1							1							
16		1	1	1					1	1	1					1							1									
17		1							1	1						1	1						1	1								
18		1	1	1		1		1	1	1	1				1	1	1	1				1	1	1		1						
19	1	1				1		1	1				1		1	1	1	1		1		1	1			1						
20	1							1	1	1	1	1	1		1	1			1			1										
21	1	1	1						1	1	1				1	1	1	1				1		1	1							
22	1	1						1	1						1	1						1	1									
23		1	1						1	1	1					1	1	1	1		1		1	1		1						
24	1	1	1	1		1		1	1	1	1				1							1										
25																1		1														
26	1	1						1	1						1	1						1	1									
27		1							1							1							1									
28	1	1		1				1	1		1				1	1						1		1								
29		1							1							1							1									
30	1	1						1	1						1	1																
31	1	1		1				1	1						1	1		1				1	1									
32		1							1							1							1									
33			1	1					1	1						1	1						1	1								
34		1	1			1			1	1			1			1	1					1			1							
35		1							1							1							1									
	16	28	11	11	1	7	0	0	16	29	12	10	2	6	0	0	16	30	10	10	1	7	0	0	10	25	7	8	0	5	0	0

その教科書が適切である理由	
3. 理科の観点	
①観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達の段階に即した工夫や配慮はなされているか。	
②観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮はなされているか。	
③「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮はなされているか。	
1	・実験ページの写りが大きくて見やすい。 ・写真が見やすく、実験や観察を行う際の助けになる。
2	・写真や文字が整理されており、文字の大きさも読みやすいため、ぱっと見て何をやるのかがわかりやすい。 ・実験や観察をする上での目当てや注意点、ポイントがわかりやすく書かれている。
3	・実験手順が分かりやすい。
4	・実験の方法がわかりやすく載せてあり、挿絵も見やすいので視覚的に理解が促せる。
5	・写真・イラストが大きく、わかりやすい。 ・イラストや絵が大きくわかりやすく児童の発達の段階に即した工夫や配慮がある。 ・写真が大きく、詳しい資料が載っていてわかりやすい。
6	・字が大きく見やすい。実験観察の最後が「結論」ではなく、「まとめ」と記述されていて、子どもたちにとって分かりやすく、教員にとって指導しやすい。5年の水溶液の学習では、融けると溶けるの違いにもふれている。
7	・見やすさ。 ・イラストが見やすい。
8	・順を追えば、ポイントを押さえながら実験ができる。
9	・計画から実験、まとめまでの流れが分かりやすい。 ・視覚的支援(動画)が多く、文字だけでは理解しにくい児童にとって見やすい工夫がされている。
10	・実験や観察の手順、器具の使い方や方法の説明を、大きな実物写真を用いて示していて、安全に取り組めるようになっている。 ・予想など直接書き込めるページがあり、ノートの書き方などを含めた「ふりかえりのページ」があり、児童の取り組み方の参考になるよう構成されている。 ・学習を通じて実生活との結びつきが分かりやすく、課題をもてるように紹介されている。
11	・巻末に「理科の調べ方を身につけよう」として観察・実験に必要な基礎技能を身に付けられるようまとめて示されているだけでなく、「使い方を理解しよう」「意味を理解しよう」という項目で要点が整理されている点に配慮が感じられる。 ・単元の導入に「レットライ！」が設けられていて、児童が実生活に即して問題をつかむことができるよう工夫されている。 ・各場面で主に働かせる「理科の見方・考え方」が青枠で具体的に示されている。
12	・①やっではないけないことが赤字で「きけん」と書かれて目立っている。 ・②全ての単元が一連の流れで進んでいくように配置されている。 ・②予想・実験方法と実験結果・考察が同じページに掲載されていない。 ・③6年「ものの燃え方」では、身近で実験に基づいた予想が立てられるように工夫されている。 ・③「レットライ」では、漫画の形式で児童の関心を引きつけている。また、日常生活から問いを導き出しやすいようになっている。
13	・「問題」「観察」などの見出しが見やすい。そのため、児童が課題意識を持ちやすく主体的・対話的な授業改善がしやすい。観察の観点も明確で、何について話せばよいかわかりやすい。
14	・「こんなところにも！」のコーナーには、社会での利用例や開発された技術が紹介されており、児童の興味関心を引きつける内容となっている。二次元コードで関連した動画も見ることができ、興味を掘り下げる工夫がある。 ・他教科(算数)との関わりがある。
15	・教科書が大きい見やすいが、余白が少ない。
16	・写真が大きくて見やすいため理解しやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・どの教科書も学習内容は変わらないが、教科書自体が軽く、持ち運びが楽である。 ・ページが薄く、めくりやすい。本校の児童にとって適切である。
2	・フォントが見やすい
3	・単元の導入で書いてあるレットライがイラストがたくさんあったり、漫画で上手にかいていたりするので、子どもたちの意欲を引き立てやすい。 ・絵や写真が大きく児童にとってわかりやすい。
4	・見やすく提示されているため、児童に授業の流れを理解しやすい内容となっている。
5	・動画や写真が多く、視覚から理解を深めることができそう。
6	・単元の導入部分で、児童が自然と問題意識を抱くような仕掛け(「レットライ！」)が設けられており、「調べてみたい」という高い意欲をもって主体的に取り組めるような構造になっている点が本校の児童に適していると考えられる。
7	・生活経験が少ない児童にとっても、「レットライ」の漫画の形式での導入は、関心を引きつやすい。
8	・文章での説明が少なく、本校の児童にとって読みやすい内容である。また、写真が多く、児童が興味関心をもって課題設定ができる。
9	・教科書がワイドなので見やすく、活動の流れがわかりやすい。シンプルな構成でありながら、児童の興味を引きつける内容となっており、本校の児童の実態に合っている。
10	・子どものノートを意識したまとめが紹介されているため、学習活動のヒントになる。 ・付録が充実しており、活用しやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 理科の観点 ①観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達段階に即した工夫や配慮はなされているか。 ②観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮はなされているか。 ③「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮はなされているか。	
1	・実験ページの字の大きさ、色合いが見やすく、誰にでもわかりやすい。 ・写真やイラストの配置が見やすい。順序よく指導するのに適している。
2	・紙面の配置にゆとりがあり児童の思考に沿った配慮がされている。
3	・実験器具の使い方や注意する点などが丁寧に示されているので、実験の注意を促しやすかったり、振り返りやすかったりしている。
4	・観察・実験などに関する基本的な技能を身につけるための配慮は写真や図で分かりやすく示してある。 ・観察・考察・結論の順に示しており、科学的な見方・考え方を働かせやすい。 ・配色が目にも優しく、とても見やすい。
5	・実験のページと結果が同じページでなく、実験の次のページに結果のページがくるので、教師として使いやすい。 ・問題、実験、結果、まとめが色分けされていて、見やすい。 ・わかったことやまとめがわかやすいため、児童への定着がしやすい。
6	・実験の様子に分かりやすい。 ・イラストや絵が簡潔でわかりやすく児童の発達段階に即した工夫や配慮がある。 ・児童に分かりやすい写真・イラストが使われている。
7	・①実験に使う器具などは、特に特別な物は使用せず、身の回りにある物を使って児童にも理解しやすい内容になっている。 ・②実験の結果を一般化し、日常生活に結びつけているので、理解に役立つ。 ・③情報量が適切で、実験の仕方や結果の示し方が優れている。
8	・児童が興味関心を持って観察・実験が行えるように工夫されている。 ・発展学習の記事が、効果的に用いられており、学習したことを深められるように考えられている。
9	・内容がとてもわかりやすく、見やすい。 ・実験方法や注意するポイントなどもていねいに書かれている。 ・問題を解決するまでの流れが児童の発達段階に即して適切である。 ・授業する側にとっても、使いやすく適切だと考える。
10	・見やすさ。 ・注意事項がわかりやすい。 ・見通しと振り返りがしやすい。 ・学習の手順が捉えやすい。
11	・実験の流れもよくわかり、それぞれ予想や計画のコツも書かれ、わかりやすい。 ・実験の注意点や方法をわかりやすくとらえることができる。 ・ノートの書き方があり、振り返りのしやすい方法も書かれている。 ・答えが同じページに載っていないので、自ら考えやすい工夫がある。 ・さらに学びたいと思える「たまたまこ」コーナーがある。 ・実験の結果がわかりやすい。
12	・①写真が多く、実験や現象の様子がわかりやすい。 ・②予想や計画の手立てが多く示されていて、考えやすい。 ・③補足資料が多く、発展的な学習にも役立つ。動画資料等の二次元コードがついていて、より理解が深まる。
13	・写真が多く、学習の見通しが持ちやすくて良い。 ・実験や観察の仕方や流れがわかりやすいように構成の仕方の工夫がなされていて良い。 ・実験道具の使い方が、後ろのページにまとまっていて、わかりやすい、使いやすい。
14	・内容の構成が比較的シンプルなので、授業内容に幅を持たせやすい。
15	・写真が大きくて見やすい。 ・考えるときのコツ、注目の欄がわかりやすく、理科の見方や考え方を養うのにとても良い。また、実験結果が別ページに配置されているので、予想を確かめたことから、自主的な学習につながる。 ・問題→予想→計画→実験・観察の流れがパターン化しており、児童が見通しを持って学習の流れをつかんでいける工夫がある。 ・発展のページやコラムが充実しており、身近なことに繋げて考えたり、もっと深めたりしやすい。
16	・問題(課題)を見つけやすい資料の提示がされている。 ・「比較する」、「関係づける」等の「理科の考え方」を働かせながら見通しをもって観察や実験ができる工夫がなされている。
17	・写真が大きく、アップされているところが重要でわかりやすい。 ・日常生活につながる話題が多く記載されている。
18	・文字や写真が大きく、観察や実験の方法を確認しやすい。 ・児童が学習課題を見つけやすいように、同じ場所の異なる時刻の写真を見開き1ページで比較できるよう構成されている。 ・別の実験方法や作り方の紹介、他教科との関連を意識し構成されているページがある。
19	・①実験器具を使う際の注意点や使用方法がより丁寧に書いてある。 ・②実験結果が、実験の方法や実験で考えることの見開きの次のページに書かれているため、実験の説明で教科書を使用しやすい。 ・③日常で遭遇する事象を再現できる実験の材料や方法が示されている。
20	・観察・実験のするにあたり、問題点を見つけ、予想するための効果的な資料が示されている。 ・実験・観察の方法、まとめ方などが、わかりやすく明確に示されている。 ・単元の配列が、児童の発達段階に即したもになっている。

21	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の手順や方法を説明する際に使われている写真やイラストが大きく、流れが一目で分かる構造になっている。 ・児童が実生活に即して問題をつかみ、興味をもって取り組むことができるよう工夫されている。 ・単元ごとに、「理科の見方」につながる着目すべき点が明記されている。
22	・観察や実験を通して、問題解決の力を養うことができるよう配列等、工夫されていて、わかりやすい。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の流れがわかりやすく示されている。 ・大事な点やポイントだけが書かれているため、使いやすい。 ・理科の考え方を養うための工夫がされていて、わかりやすい。 ・言葉や文字での説明が多すぎず、図や写真、イラストなど多岐にわたっているところがよい。
24	・写真が多く、実験器具など視覚的にわかりやすい。使用の際のポイントや留意点が明確である。
25	・単元の最初に注目するポイントが載っていてよい。
26	・実験計画が分かりやすい。
27	・理科のたまたまばこ(生活とのつながり)を紹介する項目が充実しており、日常生活と結びつけて考えられるようになっていて理解が深まる構成になっている。
28	・①観察の注意点や使い方について詳しく記載していたり、ICTなどを使った指導ができる配慮がされていたりし、児童が理解しやすい工夫がされている。
29	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決にむけた、問題、予想、実験、結果、考察の手順がわかりやすく示されている。 ・A4サイズで、紙面が大きく使われている。教科書の字体がポイントごとに変えられていることで、注目すべきところが目につきやすいように配慮されている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・学習の習熟度に大きな個人差があるなか、どの児童にも使いやすい構成となっている。
2	・写真などが多く使われており、児童にとって見やすく使いやすいつくりとなっている。
3	・6年「土地のつくりと変化」では、江の島をはじめ、横須賀や小田原の地層、火山としての箱根山の紹介など、藤沢を含めた神奈川県が多く記載されている。
4	・表紙のデザインで扱う内容が分かりやすく、児童が取り組みやすい。
5	・6年地層の学習で、江の島の写真が使われていて身近に感じられる。
6	・単元の配列として植物が最初に来るのは、この地域の特性として適している。また例示されている植物が育てやすく良い。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・図や絵がわかりやすい。 ・考えるためのヒントなども多く記載されている。 ・話し合いをしながら、考えを深める工夫がされている。 ・本校の児童にとって使いやすい、適切な教科書だと考える。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・深い学びにつなげるための工夫がなされている。 ・学習活動によって色分けがされているので、理科が苦手な児童にも、視覚的に捉えやすいためふさわしいと考える。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・進出単語が太字になっていてわかりやすい。予想や結果、考察などのページが色分けされており、活動が分かりやすい。 ・写真が大きく、比較しやすい。
10	・写真が多く、学習の見通しが持ちやすくて良い。
11	・6年の火山・地震の単元で、江の島について記述がある。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やキーワードが見やすく、また情報がシンプルに分かりやすく整理されており、児童にとっての視覚的支援が数多く配置されている。 ・問題→予想→計画→観察・実験の流れがパターン化されていることで見通しをもって取り組みやすくなっている。
13	・児童にとって大きな紙面で写真やイラストがダイナミックに掲載されており、理科の興味・関心を高めている。
14	・動画や写真が多く、視覚から理解を深めることができそう。
15	・実験結果にたどり着くまでの過程が明瞭で、実験の手順や内容が比較的容易である。
16	・使い慣れているせいもあるが、見やすい。
17	生物に関する単元の写真資料などが、本校の児童の興味関心にあったものとなっており、自ら課題を見つけたり、課題を追究していくために適切な内容となっている。
18	・1ページあたりの文字数が少なく、写真やイラストを多く用いて説明されているため、実験の流れや方法が理解しやすい。また、実験の方法ごとに色別で示されているなど、視覚的に分かりやすいような工夫がされており、本校の児童にも適していると考えられる。
19	・本が大きいので、写真が見やすい。
20	・観察できる動植物が地域の実態に合っている。また、他教科と関連して学習を進めやすい。さらに器具の使い方の説明がわかりやすい。
21	・実験計画を立てやすい。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの書き方例が示されており、学習を進める際に参考なる。 ・器具の扱いが別で示されており、繰り返し確認できる。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを用いた指導ができる。 ・動画に説明がついていてわかりやすく、児童が理解しやすい。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的にわかりやすい紙面配置になっていて、学びやすい作りになっている。 ・どこに注目したらよいか理解しやすい。

その教科書が適切である理由	
<p>3. 理科の観点</p> <p>①観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達の段階に即した工夫や配慮はなされているか。</p> <p>②観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮はなされているか。</p> <p>③「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮はなされているか。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・余白が多く、書き込みがしやすい。 ・ポイントが絞られている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・観察植物が大きく描かれていたり、観察日記の例が描いてあったりして、児童が参考にしやすい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・②単元を始める前の問題提起が「なぜ学習をするのか」子どもたちに伝わりやすいと感じた。 ・③教科書の最後にあるノート指導について、子どもが見返して取り組める。また、ノートの書き方をパターン化でき、どんな子でも取り組みやすいと感じた。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・6年の地層の単元等、写真資料が充実している。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果を予想する時に、学年の発達段階に合わせた身近な例などがのっており、児童が取り組みやすく、考えやすくなっている。 ・実験の手順が複数の写真で細かく説明されており、手順をイメージしやすく、わかりやすいため、観察・実験への取り組みがスムーズになると考えられる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の流れがわかりやすく示されている。 ・実験や資料の写真がはっきりしているため見やすく、説明も詳しく書かれている。 ・まとめ方がわかりやすく示されており、「ふりかえろう」も活用しやすい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・「理科モンスター」等、興味を引く工夫がある。 ・顕微鏡の使い方について、場面ごとの写真があり、詳しくよい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の流れが分かりやすく示されているため、子どもたちの主体的な学習活動につながりやすい。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・③理科の見方・考え方を働かせられるような写真を取り扱っており、児童が主体的に学ぶことができる工夫がされている。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・計画や観察など、学びの流れがイラストやキャラクターを交えてわかりやすく示されている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・余白が多く見やすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の少ない児童にとって、児童自らの体験と結びつけることがしやすい装丁となっている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・導入時の「ぼうげんにでる」というゲームのような設定が工夫されており、面白そうだからやってみようという気持ちになる児童が多いと考えられる。 ・教科書に直接書き込める問題があり、意欲を持って取り組む児童が多いと思われる。 ・安全対策のページが強調されており、どの児童にとってもわかりやすく、安全に学習を進められるように配慮されている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面が明るく見やすいため、児童の興味関心をひきそう。 ・問題、予想、実験、結果という流れが見開きでまとまっているページが多く、児童にとって視覚的に把握しやすい。 ・「注意！」が、要所要所に赤く書かれているため、児童自身が危険なことや大事なことに気づくことができる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡の使い方についての場面ごとの写真が掲載されている等、詳しい説明は本校の児童の実態に合っている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的教材から、見通しをもつことができるとともに、児童の興味・関心を引き出す工夫がされている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの学ぶポイントが整理されていて、わかりやすい構成になっている。

その教科書が適切である理由	
3. 理科の観点	
①観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達段階に即した工夫や配慮はなされているか。	
②観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮はなされているか。	
③「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮はなされているか。	
1	・図が詳しく、手順やものの流れがわかりやすい。 ・大きい挿絵やリアルな図があるのもいい。循環の様子も図があったり、地層の写真など、今はあまり見られないので、とても参考になる。
2	・①振り返りの問題が知識技能をしっかり定着させるものとして活用しやすい。 ・①写真やイラストが詳しく、視覚的情報が優位な子供への配慮がよくなされている。(特に45ページは子どもたちにとってわかりやすい) ・②実験や観察へ必然性を感じられるような導入になっている。 ・③前学年までで、何を学んだかを児童が自ら思い出し、振り返りがしやすい構成になっている。
3	・作って遊ぼうが多く、わかりやすい。学んだ知識を活かしておもちゃを作る単元が充実している。
4	・①考え方や方法をわかりやすく示されている。 ・②③答えと問いが同じページに載っていないので、自ら問題を解決しやすい。また、リアルな図や写真で身近な問題として、学びを深めやすい。 ・単元ごとのまとめが充実している。
5	・SDGsに関する記載が多く、社会問題や他教科へのつながりがある。
6	・観察・実験などに関する基本的な技能を身につけるようにするために、視覚的に見やすい工夫がされている。
7	・まず子どもたちが車を走らせてみたり、空気でつぼうで遊んでみたりして、「問い」につなげていく導入がよい。
8	・イラストや写真が豊富に掲載されており、視覚的な学習効果が期待できる。 ・「わたしの研究」のページでは、研究の手順やまとめ方がわかりやすく書かれている。 ・「たしかめよう」のページで、単元の学習内容の理解を確認することができる。
9	・気づいてほしいポイントを子どもの言葉(吹き出し)にしているので、子どもの考えの手助けとなっている。
10	・③実験の手順が示されており、問題解決の力を養うための配慮がされている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・例えば、人体の学習などのページは図解がリアルだったり、見やすく大きいので、視覚的に理解が促せる。この地域は、地層が見られるところがないため、地層の写真が多いのも、参考になる。
2	・体験活動の少ない児童にとって、児童自らの体験と結びつけることがしやすい装丁となっている。
3	・巻頭に養老先生の、また巻末にも科学者のメッセージがあることがよい。
4	・留機や磁石を使った工作のページが豊富にあたり、いきものビンゴがあたりして児童の興味・関心を持たせるのによい。 ・6年植物の光合成の学習の中で、水草のチャレンジ体験がとてもわかりやすくよい。
5	・地震・火山・災害についての学習で使われている写真が効果的。
6	・問題解決の流れがわかりやすく示されており、見通しを持って学ぶことができる。
7	・藤沢の様子が一部取り入れられていた。
8	・紙面の構成や色遣いが適切で、児童の思考を促すヒントが工夫されている。 ・対象学年に応じて文字の大きさを変えており、細やかな配慮がある。
9	・実験や観察の手順がわかりやすく示されており、児童が進んで取り組もうとする力を養えそうな工夫がされている。

その教科書が適切である理由	
3. 理科の観点 ①観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達の段階に即した工夫や配慮はなされているか。 ②観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮はなされているか。 ③「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮はなされているか。	
1	・見開きで実験や観察の様子が示されていることが多く、児童の目線などが配慮されている。 ・日記など、何に気をつければいいのかなど、ポイントで示されているので、児童も自分で参考にすることができる。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	

その教科書が適切である理由	
3. 理科の観点 ①観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達の段階に即した工夫や配慮はなされているか。 ②観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮はなされているか。 ③「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮はなされているか。	
1	・写真が多く、実験手順・ポイントが分かりやすい。
2	・まとめノートがわかりやすいので、児童が学習をするときに、思考の流れを整理しやすい。
3	・各単元の導入で、既習事項の確認ができるようになっている。
4	・季節に合わせた順番になっているため、扱いやすい。 ・実験の進め方の写真や図がわかりやすい。
5	・余白の取り方がほどよく、見やすい。
6	・ICTを意識した流れになっており理解しやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・イラストが多くわかりやすい ・様々な人種への配慮を感じる
2	・今までの学習からのつながりを生かせる。
3	・6年の火山・地震の単元で、江の島について記述がある。
4	・「確かめよう」「ふりかえろう」で、繰り返し学習ができる。 ・「くらしとリンク」が、日常生活と結び付けて考えやすい。
5	・児童がICTを活用する際の参考になる。

令和6年度使用小学校用教科用図書調査書まとめ

小学校 生活（種目：生活）

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけたところに「1」の数字が記入されています。

※学校頃は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成								2.分量・装丁・表記等								3.生活の観点 ①知識及び技能の基礎としての「基付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。 ②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。 ③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。								4.本校の児童の実態や地域等の特性との関連							
	発行者略称	東登	大日本	学園	数出	信教	光村	啓林館	東登	大日本	学園	数出	信教	光村	啓林館	東登	大日本	学園	数出	信教	光村	啓林館	東登	大日本	学園	数出	信教	光村	啓林館			
1	1							1							1								1									
2	1					1		1					1		1						1							1				
3	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1		1	1	1		1				1											
4	1		1					1		1				1		1		1						1				1				
5	1					1	1	1					1		1					1	1	1	1									
6	1						1	1						1		1					1							1				
7	1							1							1						1							1				
8	1							1							1						1							1				
9	1							1							1						1							1				
10	1						1	1						1		1					1							1				
11	1				1		1	1				1			1				1		1		1				1					
12	1						1	1					1		1						1				1			1				
13	1						1	1						1		1					1						1					
14	1		1	1				1			1				1		1	1			1				1							
15						1							1							1							1					
16	1				1		1	1					1		1					1			1				1					
17	1	1		1	1			1	1		1			1	1			1			1	1		1								
18	1				1		1	1					1		1						1						1					
19	1					1		1					1		1					1							1					
20		1		1				1			1			1		1				1		1		1			1					
21	1	1		1				1	1		1			1	1					1	1		1	1		1						
22	1		1					1		1				1		1					1						1					
23	1	1	1	1		1	1	1	1		1		1	1	1		1		1		1	1		1		1						
24	1				1			1			1			1		1					1				1			1				
25				1		1		1			1			1					1		1				1			1				
26	1					1	1	1					1	1	1					1	1		1			1	1					
27	1							1						1							1											
28	1						1	1						1		1					1							1				
29				1		1					1		1								1				1			1				
30	1			1		1		1				1		1							1						1					
31	1		1					1		1				1		1					1		1									
32	1			1			1	1			1			1							1			1								
33				1		1					1		1								1				1							
34	1		1					1		1				1			1				1		1									
35	1			1				1			1		1		1						1			1				1				
	30	5	7	16	0	15	10	0	31	5	6	13	0	18	8	0	29	4	6	12	0	14	5	0	24	4	3	12	0	18	4	0

その教科書が適切である理由	
1	・指導要領で大切な「みつける ためす 見直す」などが、児童用にしっかりとわかりやすく記載されているので、ポイントを捉えやすい。
2	・学習指導要領の目標に向かう題材が適切である。
3	・学習の流れが明確になっていて、児童が見通しをもって学べるように工夫されている。
4	・児童の「気付き」を育成する題材の工夫が見られる。 ・活動の流れなどあまり細かすぎないのがよい。 ・「いきものずかん」や「あそびずかん」がついていて、いつでも調べたり参考にしたりしやすい。
5	・子どもが見やすい、読みやすい分量である。また、ページごとに二次元コードが付けられているため、授業や家庭学習でより分かりやすい内容になっていると思われる。
6	・活動便利手帳という表記があり、活動の仕方を確認できるため、これから行う活動について見通しをもつことができる。
7	・写真が見やすく配置されている。児童に身につけさせたい力が教師側からも児童側からもわかりやすいと感じた。
8	・写真が大きくて見やすい。内容量も適切である。
9	・教科書サイズが大きく、資料が見やすく配置されている。どのような活動をするのか、子どもの期待を膨らませる資料が多い。
10	・イラストや写真の大きさ、量が適切で説明も分かりやすい
11	・生活科の「気付き」が生まれるように、工夫されている。 ・学習したことを生かして、次の活動に進むように、一年間見通した学習内容になっている。
12	・観察のポイントがわかりやすい。 ・植物の成長の様子が見やすく、工夫されている。
13	・単元全体の見通しがつく構成になっている。 ・二次元コードの内容が、答えを示すのではなく、児童が考えられるような画像になっている。 ・低学年にとって、適度な写真の数や情報になっている。 ・シンプルなページ割り振りで、低学年の児童には見やすい。
14	・文字が少なく、観察カードの例など、わかりやすい。 ・全体的なバランスがよい。
15	・全体的なバランスがよい。
16	・①②③が全てあてはまる。「やってみよう」と思える工作や地域めぐり等が載っている。
17	・子どもたちの具体的な活動例や話型があり、活動のイメージをもちやすい。
18	・身近な自然の様子が変化していくことへの気づきや、変化の予想、違いを見つける活動において、児童が見通しを持って活動できるように工夫されている。
19	・観察の方法や遊びの選択肢が多く、子どもたちが自分で選び学習を進めることができる。また、資料集としても活用が可能である。 ・学びのプロセスとして、児童が生活科の「見方・考え方」を生かしている姿を、学習過程に沿ってイラストを交えながら具体的に例示している。
20	・植物が種から育つ様子がよく分かる写真配置で、他の植物との比較もしやすく興味を起こさせる内容である。
21	・児童が生活科の「見方・考え方」を活かしている姿を学習過程に沿って例示してあるため、児童が具体的にイメージしやすい。
22	・活動例はイラストが多く、児童にとってなじみやすく、学習の対象や狙いが分かりやすい。また、二次元コードの横には読み取った先の内容が1～2つの単語で書かれており、使用しやすい。
23	・児童にとってしたしみやすい文章で問題提起されており、また、身近に感じられる題材が厳選されているため。
24	・教科書の冒頭の発言に、児童の気づきを促す発言が常に設定されている。児童の興味・関心が沸く内容になっている。
25	・どのように、あいさつをすればよいか、そのときの決まりなどが、イラストと文で順序よく書いてあり、分かりやすいから。 ・様々な種がのっていたり、様々な地域の人と関わっている写真が多く入っているから。 ・観察するときのポイントや書き方が、文や写真でしっかり記されているから。
26	・写真が大きくて見やすい。 ・例もわかりやすい。
27	・ワークシートの記入例があり、苦手な児童でもわかりやすい。 ・内容のバランスが良い。
28	・写真が鮮やかで、身近な生活をふり返りやすい。
29	・『かっどうべんりてちょう』がついており、児童の生活上必要な習慣や技能を育成する題材として工夫がされている。
30	・見やすく、内容が分かりやすい。学びの流れがイラストやキャラクターを交えて分かりやすく示されている。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・慣れ親しんでいる教科書で本校の児童に適切である。
2	・写真やイラストが見やすく、わかりやすい。 ・「いきものずかん」や「あそびずかん」がついていて、活動の時、参考にできる。
3	・子どもにとって親しみやすい内容である。
4	・花を育てる単元において、観察の仕方等が具体的に示されているため、植物を育てることに熱心な本校の児童にとって学びやすいものとなっている。
5	・子どもの興味を引く構成になっていた。
6	・本校の児童にあった内容量である。
7	・本校の児童の実態に即して分かりやすい。
8	・観察の見本があって、どんな子でも取り組みやすい。
9	・現在の教科書とのつながりがある。
10	・やってみみたい工作や地域めぐりがある。(自分の地域に合っている)
11	・子どもたちの生活環境に近い写真や挿絵が多く載っている。
12	・1ページあたりの情報量が適切であり、観察記録などのワークシートにも記入例があり、本校児童に実態に最も合っていて使いやすい。
13	・活動の手順や準備物が具体的に表記されていて自分でもできると思うことができる。 ・湘南平塚の七夕まつりの写真が掲載されている。
14	・詳しく調べるための工夫に気付かせる構成となっており、興味を継続して学習に取り組める。 ・困難が予想される場面の対処の仕方も丁寧に示されている。 ・観察カード等の例示が分かりやすく、自分も書いてみようという意欲が高まる。
15	・児童が活動している写真が多いことや、「ほんとうのおおきさ いきものずかん」があることで、児童がやってみたいと思える内容になっている。
16	・季節ごとの活動例が多く紹介されており、地域差があっても活動に差が出ないように構成されている。また、ワークシートの記述例がほぼ全て載っており、書くことに取り組みやすく作られている。
17	・文章が適量で、字体も見やすく、図やイラストもわかりやすいよう工夫されているため。
18	・地域には農業を業に地域住民の方が多くいらっしゃる。地域と連携した学習を見込むことができると思われる。
19	・写真やイラストが大きくて見やすいから。 ・最後のページに図鑑があり、分かりやすいから。
20	・目次のみやすさ。 ・フォント(UD教科書体)が読みやすい。
21	・秋まつりのイメージがつかみやすくなるような遊び方が紹介されている。
22	・写真や挿絵で掲載されている物の説明・手順がICTを利用することにより、更に分かりやすくなるよう工夫されている。
23	・写真が大きく使われていて大変分かりやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 生活の観点 ①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。 ②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。 ③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	
1	・書き込めるページがあり、児童が考えるきっかけになるから。
2	・学習の過程をイラスト入りで示すことで、生活科の活動に沿って必要な資質能力の育成を図れるよう工夫してある。
3	・写真と絵のバランスが適切である。学習の見通しを立てやすい。
4	・絵の描写がわかりやすく、子どもたちの身の回りの自然や暮らしの営みをイメージしやすい。 ・自分の考えを書くスペースが多く設けられている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・写真やイラストが多く、児童の好奇心をくすぐる内容が多くあり、本校の児童に適切である。
2	・適度に書き込むスペースがあり、学習を振り返りやすい。 ・植物の植え方の図説が見やすく、分かりやすい。
3	・登場する子どもの顔写真が表情豊かで自分のこととしてイメージが広げやすい。 ・湘南平塚七夕まつりについて写真で載せている。
4	・ものの作り方などイラストだけではわかりにくい部分は、二次元コードで作り方の動画を見ることができるため、学習状況に応じて参考にすることができる。

その教科書が適切である理由	
3. 生活の観点 ①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。 ②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。 ③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	
1	・自然と自分とのかかわりでとえる題材として工夫されている。
2	・写真やイラストが大きく、数多く記されている。児童の「やってみたい」「みてみたい」という意欲をかき立てる工夫がされている。
3	・「ものしりノート」のページがよいと思うが…教員の知識と学校の立地が関係してくると思う。
4	・「あきをたのしもう」では、身の回りの自然に気づき、おもちゃを作って生活に活かす流れが、図や写真を使って分かりやすく示されている。 ・作り方が丁寧に書かれており、どの子も取り組みやすい。 ・他の単元でも興味を持つような写真が多く、活動への意欲を引き出すような構成になっている。
5	・目次で学習の見通しが立てやすい。 ・身近な題材が多い。
6	・植物の育ち方(芽の出方や様子)が分かりやすい。 ・友だちと共に伝え合い、学び合う姿が見える。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・日本国内の様々な地域の文化や、外国の文化にも触れる表記がある。 ・地域の特色に触れるいいきっかけを作ることが出来る。
2	・「みんなで学ぶ」というテーマがよい。
3	・『ものしりノート』で説明・手順が示されている。また、二次元コードから動画も見ることができ、児童にわかりやすいものとなっている。

その教科書が適切である理由	
3. 生活の観点	
①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。	
②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。	
③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	
1	「伝える」活動が随所にあり、主体的、対話的で深い学びの実現ができるように工夫されている。
2	調べ方、まとめ方など、一年間を通して使える端末資料が充実している。
3	写真が大きくわかりやすい。
4	あさがお等、植物の植え方がカラー写真付きで掲載されていてわかりやすい。 写真や絵、説明文のバランスが良い。
5	「わくわくスイッチ」を各単元のとびらに設けることで、自分事として捉えられるようになっている。 「試す、見通す」などの多様な学習活動を「ヒント」で示している。
6	主人公が設定してあることで、生活科の見方・考え方を使って学ぶ姿や成長を見ることができ、より興味を持って学習に取り組むことができる。
7	児童のワークシート記述例が豊富であり、書くことが苦手な児童も取り組みやすい。二次元コードもアイコンによって読み取った場合に動画が表示されるのか、図鑑が表示されるのかわかりやすい。また、車いすや肌の色など様々な児童がのっており、多様性を感じる。 内容も読み取りやすく、興味関心を持ちやすい。
8	挿絵で手順が示されており、見通しを立てられる。つながりがわかりやすい。
9	まとめの例文が児童にわかりやすい。
10	朝顔の育ち方を丁寧に記載している。
11	児童が疑問が持てるような「かんがえるめいろ」や投げかけの文言があり、主体的、対話的な活動の実現に向けての学習につながるやすい。
12	児童の興味・関心を引き付けるような題材を取り上げている。写真やイラストも大変見やすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	自然に慣れ親しむことができるような写真やイラストが多くあり、本校の児童に適切である。
2	見通しをもって学べるため。
3	本校の児童にあつた内容量である。
4	視覚的に意欲をもちやすい内容・構成になっており、主体的な活動の動機付けにつながるような工夫がある。
5	雪があまり降らない本校の児童にとっても参考となる遊びが掲載されている。 神奈川県川崎市のまちたんけんの様子が掲載されている。
6	学習場面ごとに子どもたちの興味や関心を喚起する名称がつけられており、楽しく学習することができる。
7	本校は近くに複数の公園があるため、教科書に記載されている様々な活動を実施しやすい。
8	はい・いいえのフローチャートクイズがある。
9	ヒントがたくさん示されているため、本校の児童にとってわかりやすい。
10	生きものや植物をクイズ形式で紹介しており、児童が興味をもちやすい。
11	考えの道すじが示されており、どの子にも学びやすい配慮がされている。
12	活動の流れが明確になっているのでわかりやすい。 写真を豊富に使って興味関心をもつことができる。

その教科書が適切である理由

3. 生活の観点

- ①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。
- ②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。
- ③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連

その教科書が適切である理由	
3. 生活の観点 ①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。 ②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。 ③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	
1	・巻末についている観察カードが使いやすい。
2	・児童の興味・関心を引く題材や活動例が見られた。最後に「せいかつじてん」がついていて調べることができる。また、ヨシタケさんのイラストが親しみやすい。
3	・身近なテーマが写真やイラストで表現されており、いろいろな発達段階の児童に幅広く興味関心を引き付ける工夫がされている。
4	・ヨシタケさんの絵本が好きな児童が多く、イラストが親しみやすくて児童にも浸透しやすそうだと感じた。
5	・児童に親しみのあるイラストや文章が使われている。
6	・子どもたちの活動例が多く載っている。 ・イラストやコメントなどで子どもたちが楽しめる。
7	・児童が「やってみよう」と意欲をもって取り組めるよう、題材の掲載の仕方に工夫が見られる。
8	・児童をとりまく学習環境が多く提示してあることで、対話的な学びのある授業につながるができる。また、児童が活動のイメージを捉えやすくなる。 ・巻末の図鑑が汚れにくい加工がしてあり、校外で繰り返し使うことができる。
9	・児童にとって生活に関する様々な疑問を4コママンガの形で載せているため、疑問を持ちやすささせている。 ・好奇心を高める一つとして有効であると考え。
10	・吹き入った挿絵があり生活の実体験を考えやすい。「こんなこともあるかもね」でイメージがしやすい。振り返りがあって思考・判断の様子をみとることができる。
11	・失敗しても大丈夫、人と違ってもいい、自分が感じたことや思ったことが大事だという、とても温かい内容に満ちあふれ、児童がとても読みやすく、取り組みやすい工夫が随所にあふれている。また、児童の活動写真も、学びに真剣に取り組んでいたり、夢中で活動している姿が多く掲載されていて、学びの世界に引き込まれつつ、気づきの質も高める配慮がなされているため。
12	・巻末の付録が充実している。手立てもとてもわかりやすく示されている。
13	・イラスト付きのつぶやきが児童にとって共感できて良い。
14	・教科書の情報量が多すぎず、子どもたちがこれからどのような活動をするかというところに視点を置きやすい。 ・持ち運び可能なシートがあるため、活動と学びがつながりやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・イラストが絵本でなじみのある絵で良い。
2	・試す、見通す、表現するがわかりやすく配置されている。
3	・題材の活動例がくわしくのっている。最後に「せいかつじてん」がついていて、活動の時参考にできる。
4	・ワークシートや切り離しのできる図鑑などもあり、児童の興味関心を引き付ける工夫がある。
5	・「こんなのもいいかもね」「こんなこともあるかもね」というコーナーがあり、活動を多様に広げられるような工夫がみられた。
6	・情報量がちょうどよい。ほどよく余白もあり、大切な部分を注視することが出来る。
7	・藤沢市の写真が載っていて身近に感じることができる。
8	・絵と写真がバランスよく配置されており、児童が学習内容に対して興味・関心をもてる構成となっている。
9	・絵本作家のヨシタケシンスケ氏のユニークなイラストと言葉があることで、親しみを持って生活科の学習に取り組むことができる。
10	・ヨシタケシンスケの絵本は好きな児童が多く、意欲的に取り組みやすい。また、巻末にある資料の厚紙シートは校庭などに持っていきやすく、植物や生き物を探す活動に取り組みやすい。
11	・ヨシタケさんの挿絵があり、楽しく読める。
12	・文章が適量で、字体も見やすく、図やイラストもわかりやすいよう工夫されているため。
13	・巻末についている役立ち事典がきれいでわかりやすいため、本校の児童が関心をもって取り組める。 ・見た目がよく、視覚的感覚に優れた児童の興味関心をひきやすい。
14	・子どもたちが好きなイラストで親しみやすい。
15	・道徳とつながりそうな部分もあり、学習の中の体験をそのまま道徳など他教科との学習につなげられるので、生活経験の少ない児童にとっても学びやすい。
16	・別冊の図鑑の写真が鮮やかで児童が持って活動したり見たりすることに有効。教科書のページをめくりやすい仕様になっている。

その教科書が適切である理由	
3. 生活の観点	
①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。 ②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。 ③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	
1	・昆虫や種子が大きく表示されており、細かなところまで注意して観察するよう指導しやすくなっている。
2	・びっくりずかんの情報量やデジタル探検ブックなどのコンテンツが分かりやすく、他者と比べても児童にとって見やすく読みやすい。 ・もくじが余計な情報が入っておらず、見やすい。 ・教科書の後半部の学習図鑑では、生活科の活動と日常生活とつながっていることが分かる構成になっている。
3	・小さく、見やすい。
4	・児童の学びを促進するために、「3段階での深い学び」という工夫をしていて、基礎から応用までを段階的な展開が見られ、児童の学びを深めることを重視している姿勢が感じられる。また、「3つの図鑑で学びを豊かにする」というテーマのもと、図解や写真、イラストを多く活用して、児童の視覚的なサポートに充実が見られるため。
5	・学習の流れをつかみやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・上巻頭にスタートブックが挿入されており、入門期の児童に学校生活でどのようなことを行うのか、注意すべきなのか指導しやすい構成となっている。
2	・年間を通して「わくわくタイム」「ドキドキタイム」「ぐんぐんタイム」の単元構成がされており、学びが少しずつステップアップしていくのを実感しながら学ぶことができる。 ・デジタルコンテンツの数と内容が充実しており、これからの児童にはより身近にタブレットを使って調べたり、記録したりするのによい。
3	・文章が適量で、字体も見やすく、図やイラストもわかりやすいよう工夫されているため。
4	・デジタル探検ブックがあり、動画や音をすぐに見たり聞いたりできるから。 ・まとめ方などがていねいに書かれてあり、分かりやすいから。

その教科書が適切である理由	
3. 音楽の観点 ①「A表現」と「B鑑賞」の教材は、多様な音楽の中から、児童の発達の段階に応じて適切に選択されているか。 ②我が国や郷土の伝統音楽を扱う題材に工夫や配慮がなされているか。 ③表現(歌唱、器楽、音楽づくり)及び鑑賞、「共通事項」の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	
1	・イラストや写真が見やすくわかりやすい。曲の想像がしやすく興味関心をひきやすい。 ・鑑賞の曲が幅広く紹介されている。
2	・楽器の取り扱い方が詳しく表記されている。 ・日本の独自の楽器について、丁寧に表記されていて分かりやすい。 ・絵や写真が大きく載っているため、子どもがより興味をもって学習できると思われる。
3	・流行を取り入れていれ、多様な音楽に触れることができる構成となっている。 ・児童が主体的に活動できるように各学年の巻末に「音楽のもと」が掲載され、表現がさらに深められるように工夫されている。 ・1年「わらべうた」、2年「お祭りの音楽」、3～6年「日本と世界の音楽」と発達に応じて郷土音楽から世界の音楽まで適切に選択されている。 ・巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」についてまとめられ、鑑賞を行うときの参考にすることができるよう工夫されている。
4	・児童に身近な教材や、拍手など自分の体を使ってリズムをとるなど、児童がふれやすい題材を使った活動が取り入れられている。
5	・イラストと写真の割合がとてもしっかり。学習マップで見通しをもって学習できる。歌や器楽のバランスがいい。
6	・①学習活動の手順が掲載されており、見通しをもって学習に取り組むことができる「学びの音楽」が掲載されている。 ・②各学年ごとに、わらべうた、各地のおまつりの音楽や民謡等、掲載されている。 ・③「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として見開きのページの右上に掲載されている。また、巻末に「音楽のもとまとめ」として掲載されている。
7	・郷土音楽は挿し絵が美しく、歌の情景を子どもがイメージしやすい。 ・拍、リズムなど楽譜上にイラストとして描かれていて、わかりやすい。 ・音階が視覚的にわかりやすく、また楽器のイラストと連動しているため、指導しやすい。
8	・日本の唱歌、英語の歌、スウィングジャズなど様々な種類の楽曲を扱っている。
9	・児童に親しみやすい楽曲が多く、楽曲の難易度も児童の発達段階に応じて適切に選択されている。また、表現と鑑賞の内容を相互に関連させながら取り扱う工夫がなされている。
10	・拍、リズムなど楽譜上にイラストとして描かれていて、わかりやすい。
11	・低学年では身体表現やリズム楽器を多く用いた学習活動が展開され、中学年、高学年に上がるにつれ、これまでの学習を生かしてより深く理解し、活用できるような楽曲が選択されている。また、巻末には、全学年を通して海外の楽曲が用意されており、様々な音楽に触れることができる。 ・低学年での日本の音楽からはじまり、中学年以降では世界と日本の音楽の聴き比べができ、国による音楽の違いを認識できるとともに、我が国や郷土の伝統音楽が生まれたルーツや良さを感じとることができるように工夫されている。 ・題材における「音楽のもと」を明記し、一貫した学習内容を意識して表現及び鑑賞の学習ができるように工夫されている。前時までの学習をもとに新たな学習ができるような配慮がみられる。 ・題材に適した鑑賞曲を適切に選択している。
12	・体を使って歌える教材が多くある。 ・リズム遊びができる教材が魅力的である。 ・手話や外国語の教材が入っている。 ・歌、リズム(拍)、楽器と、めあてに沿って順序だてて進む構成になっているため、初めての教師でも進めやすい。
13	・全体的にリズムが難しい ・合唱曲は親しみやすいものが多い ・創作は作りやすそう
14	・リコーダーの指使いや記号など、楽典が見やすい。 ・イラストがやさしい印象である。
15	・共通教材以外の曲の選択が児童の発達段階を考慮し、適切に選ばれている。 ・曲のジャンルが多岐にわたり、児童の関心・興味をひくように選曲されている。 ・参考教材についても、指導する側にとって扱いやすい教材となっている。 ・他教科とのつながりをもつ曲もあり、児童にとってなじみやすい。 ・楽典に関しても構成に工夫がされている。
16	・八木節の合奏曲があり、下記にある琉球音階など地域民謡に力を入れている教科書会社といえる。 ・三味線や和太鼓など実物楽器が学校に豊富であれば体験型学習も含め深い学習が期待できる。 ・楽器がなくても代用楽器を使うなどして、日本の独特の民謡を知ることができる。 ・合奏曲にも歌詞の記載があり、歌唱を大切にしていることも特徴である。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・絵の雰囲気、文字の大きさや配置が親しみやすく、本校の児童に使いやすそう。
2	・絵や写真が多く載せられていて、子どもの想像力をかきたたせる工夫がある。
3	・簡潔に説明が書かれており、児童が活動内容を理解しやすい。
4	・楽しく音楽ができるようなイラストや写真でわかりやすい。
5	・巻頭に「学習マップ」があり、学習の見通しや活動が分かりやすく明示されている。 ・「学び合う音楽」で、学習の手順が示されている。
6	・視覚的支援が必要な児童にとってシンプルで適度なイラストがあり、わかりやすい。
7	・見開きの写真を載せることで、イメージがわかりやすい。 ・3年生の教科書で、リコーダーの持ち方の写真が子どもからの目線になっており、間違いが少なくなるよう工夫されている。
8	・3年生のリコーダーについて、1学期扱う選指が、教出はソラシまでに留めている。児童の学習の様子から、ソラシドレまで扱うことが困難な児童にとって、ゆっくりと児童のペースで学習できるのではないかと感じる。
9	・楽器の持ち方や使い方が細かく書かれているので、視覚的な支援を必要とする児童も学習しやすい。 ・副教材が必要ないくらい、どの児童にも十分な教科書教材である。
10	・3年～巻末「音楽を表すいろいろな言葉」が鑑賞をはじめ、学習の中で活用するのに適している。
11	・学習の拠り所とするべき学習資料が豊富で、資料をもとに自ら学習に取り組む態度が育成できると考えられる。特に巻末資料「音楽のもとまとめ」や「音楽を表すいろいろな言葉」は、児童が思いや意図をもって音楽活動を行う際に大いに活用できるだろう。
12	・ききなじみのある曲が多い。 ・合奏の楽譜にイラストがかいてあり、わかりやすい。
13	・文字が少なくてすっきりして見やすい。
14	・見やすい。1年生の楽譜は、五線譜につながる内容になっていて良い。 ・月ごと・学期ごとに大きなめあてがあり、わかりやすい。
15	・児童の興味をよりひくような、挿絵や写真が取り上げられている。 ・簡易的な曲が多く取り上げられ、音楽が苦手な児童も演奏しやすいものとなっている。
16	・琉球音階は独特の音階をもっており、小学生の子どもにとっては都節音階をはじめとした他の日本音階と比べわかりやすいものといえる。 ・「谷茶前」などの曲の収録や写真資料の掲載があり、沖縄民謡になじめることができるのが利点である。

その教科書が適切である理由	
3. 音楽の観点	
①「A表現」と「B鑑賞」の教材は、多様な音楽の中から、児童の発達の段階に応じて適切に選択されているか。	
②我が国や郷土の伝統音楽を扱う題材に工夫や配慮がなされているか。	
③表現(歌唱、器楽、音楽づくり)及び鑑賞、[共通事項]の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> 主体性を持って活動ができるような問いかけやアドバイスが多く見られる。 鑑賞資料や特集等、郷土の伝統音楽や著作権等についての記載も充実している。 他国の文化や歌にもふれあえるので、現代の教育に適している。
2	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階に応じて、適切に選択された楽曲構成になっている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ①については学年を追うごとに扱う楽器の種類が増えるため、発達段階に応じた指導が可能になっている。また、歌唱では低学年では遊び歌が含まれており楽しく歌うことができ、中学年で歌声を学習し、高学年で合唱について学んでいくというように変化しているため、発達段階において適切な配慮されていると考える。 ②伝統音楽を学ぶ際、適切な挿絵や活動が含まれており、子どもが楽しく学習することができる。また、郷土の音楽が含まれており、地域と学校を連携しやすい学習内容も含まれている。 ③1つの題材において、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞が存在し、関連付けながら学習することに適している。特に、共通事項の内容がページ下に明記させてあるため分かりやすく、連携した指導が可能になると考える。
4	<ul style="list-style-type: none"> 児童にとって親しみやすい曲目が多い点。 音楽づくりの点においても、わかりやすい内容であった。
5	<ul style="list-style-type: none"> 今までの教材研究が生かされる。例があり、真似をしやすい。 3年生から始まるリコーダーについて幅広い角度から教示されていて、すぐには理解しがたい児童にもわかりやすく記述されている。 めあてが分かりやすく示されている。 教材ごとの児童のめあてがはっきりわかりやすい。学年ごとの和楽器の選択がよい。
6	<ul style="list-style-type: none"> 1年の学習ではリズム遊びと音遊びのバランスが比較的よい。 6年「おぼる月夜」の楽譜が二部合唱できるようになっていたり、歌詞の情景が比較的確切な写真が使われていたりして、イメージを高めやすくなっている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ①学習活動例が掲載され、キャラクターの吹き出しが、学習のヒントとなる手がかりを示している。 ②各学年ごとにおわらべうた、各地のおまじりの音楽や民謡等が掲載されている。 ③「音楽を形づくっている要素」が題材ごとに、ページの端に示されている。
8	<ul style="list-style-type: none"> 旋律を呼びかけ合う活動後、「こうしんきょく」の鑑賞をさせている。呼びかけ合って歌う事項から、呼びかけ合っている楽器に気づき、それをまねる楽しさまで、スモールステップでの活動の工夫がなされている。 学習内容を見える化するアイコンが各所に表示されていることで、その教材で何をすればよいのかが、明確になっている。
9	<ul style="list-style-type: none"> 共通事項を指導する際の曲の選択がわかりやすい。 学習内容の分量がちょうどよい。
10	<ul style="list-style-type: none"> 児童に親しみのある曲が多い点。 教科書に出てくる印(考える・見つける・歌う)などによって、児童が見通しを持って学習できる。
11	<ul style="list-style-type: none"> 現在使用している教科書に沿っている。 各単元を考えるポイント、演奏のポイントがかなり具体的に示されていて、良い。
12	<ul style="list-style-type: none"> 器楽曲や鑑賞曲の内容や長さなど、発達段階に応じた構成になっている。 単元内容が目標と結びついていて指導がしやすい。
13	<ul style="list-style-type: none"> 児童が親しみやすい表現教材や鑑賞教材が多くあった。郷土の伝統音楽については、写真が掲示してあり、それらの説明についても詳しく書かれているためわかりやすい。また、題材目標が達成できるように、学習内容が組み立てられるよう工夫されていた。
14	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞教材を合奏にアレンジし、実際に演奏してみることができるよう工夫されている。
15	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞教材の説明や写真、選曲が、曲想をイメージする助けとなっており、児童の発達段階に応じた内容になっている。 伝統音楽を扱う題材のページでは、写真やイラスト、言葉による説明が詳しく、児童が歴史や特徴を捉えるための工夫がされている。 歌唱教材が多く掲載されている点は、児童にとって望ましいことだと思うが、学習目標が各項に掲載されている点は、やや雑然としている印象がある。
16	<ul style="list-style-type: none"> 一つの題材の中で、歌唱・器楽・音楽づくりが関連づけて配列されている。
17	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達にあった親しみやすい教材が多い。 写真やイラストに加え、説明文やその音楽を大切にしている人からのコメントなどが紹介されており、児童にとっても親しみやすい。 1つの教材の中でも、表現、鑑賞の学習内容があり、アイコンで見える化されていることにより、児童にとっても活動内容が分かりやすいものとなっている。
18	<ul style="list-style-type: none"> 3つの観点別に、学習する内容が明記されているため、教師にとっても児童にとっても学びが見えるように作られている。 各教材に合わせて、音楽を形づくっている要素が明記されており、様々な教材において関連づけながら学習を進めることができる。
19	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の内容は、児童の発達段階に応じて適切に選択されていると思います。また、児童が題材ごとに音楽を形づくっている要素に気づき、学びを深めていけるような工夫や配慮がなされていると思います。
20	<ul style="list-style-type: none"> 現行で使いにくさなどなく、子どもたちも慣れ親しんでいる。
21	<ul style="list-style-type: none"> ①発達段階に応じて楽しく取り組める表現教材が多く掲載されている。 ①鑑賞教材は、曲からさまざまなイメージを膨らませ、音楽を楽しむ気持ちをほぐすことができるよう工夫されている。 ②日本の伝統音楽を扱う題材が各学年に配当され、系統的に学習を積み重ねることができる。 ③共通事項を表現、鑑賞ともに関連させて学ぶことができるよう配置されている。

22	出てくる曲が、児童の発達段階に適している。
23	<ul style="list-style-type: none"> ①簡単なリズムや反復の旋律を用いた楽曲から既習事項を踏まえて、1年間や学年が上がるにつれて段階的に構成されている。 ②低学年ではわらべ歌を、中学年では郷土音楽、高学年では我が国に伝わる伝統音楽が視覚でもイメージがしやすいように配慮されている。また、「こころのうた」として題材ごとに目的にそった楽曲が配置されており、自然と音楽に親しむ態度が育成されるような配慮がある。 ③表現及び鑑賞が相互に関連させられるような単元構成と楽曲であり、既習事項を相互に関連させながらより見方・考え方を生かしながら学習内容を深められるようになっている。
24	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に合わせて、内容を入れかえて進めやすい。 歌唱や器楽の内容を、相互に関連させながら扱える工夫がある。 鑑賞後に学習する流れが、子どもたちにとって内容をつかみやすくよい。
25	鑑賞教材がわかりやすい。
26	<ul style="list-style-type: none"> 低学年では、日本の伝統曲に遊びのあるわらべうたが取り上げられていて、楽しみながら学ぶ工夫が見られる。 曲を歌って表現する前に、その曲を聴くねらいが示されていて、鑑賞から表現へのつながりを児童に持たせやすい工夫(見つける・考える・歌うの流れ)がある。
27	<ul style="list-style-type: none"> 学びのめあてとして、「みつける・かんがえる・うたう えんそうする」の記述が分かりやすいので、授業者としては授業を組み立てやすい。 二次元コードで音源を聴くことができる。
28	<ul style="list-style-type: none"> 教科書掲載の写真や図の資料が豊富でイメージが持てやすい。また、収録曲にそれぞれ二次元コードがついており、個別最適な学びも期待できる。 指導書付属のDVD教材も充実しており、ICTを有効活用した授業づくりができる。
29	<ul style="list-style-type: none"> ①題材で扱われている曲数が、児童の発達段階に応じた曲数である。じっくり取り組むことができる。 ②2年生の「わらべうた」では、生活に取り入れ、休み時間などに遊ぶことができる。 ③6年生の雅楽「越天楽」に触れる機会があつてよい。 ④楽曲ごとに「音楽を形づくっている要素」が分かりやすく提示されている。 ⑤子どもたちの絵の吹き出しが共通事項を意識できるような内容になっている。視覚的にも分かりやすい。 ⑥ユニバーサルデザインを取り入れ、視覚的な配慮がなされている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 音符や記号の表示の形やリコーダーの運指等、本校の児童が使いやすい形式で記載されている。 ハーモニカの音符が大きく見やすい。
2	本校の児童の興味関心に合っているため、適切である。
3	<ul style="list-style-type: none"> 歌が好きだが恥ずかしがる児童が多い。この教科書では、楽しく活動しながら歌に親しむ工夫がなされているため、歌いやすくなると考える。 親しみやすく、すでに耳にした曲が多いため、活動への意欲につながりやすい。 二次元コードがすべての曲についているため、ICTを活用した学習に意欲的な地域性にもマッチしている。
4	苦手な児童も興味をもち、段階的に自信をもって取り組み、楽しめる内容である。
5	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に日本で古くから歌い継がれている歌が掲載されており、日本の文化を学ぶ機会にもなっている。 6年では、著作権について取り上げられており、IT機器を使いこなす子どもたちには必要不可欠な知識だと考えられる。 4年「ちいきにつたわる音楽に親しもう」では、神奈川県『相模里神楽』が掲載されている。
6	様々な内容がまとめられており、より多くのことを学ぶことができるようになっていると思う。
7	<ul style="list-style-type: none"> 海や歴史ある曲があり、児童が興味をもちやすい。 地域のお祭りなどで、お囃子を演奏する児童がおり、身近な楽器を学習出来るのは児童にとって大切。 海や山など自然豊かな地域で自由でおおらかな児童に合った選曲がよい。
8	巻頭の学習マップが児童にとってわかりやすい表記となっており、1年間の学習の見通しをもちやすい。
9	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「学習マップ」があり、学習の見通しや活動が分かるように明示されている。 ナビゲート役のキャラクターの吹き出しが、学習のヒントとなる手がかりとして示されている。
10	3年「ちいきにつたわる祭りばやしを調べよう」では、例であげている祭りばやしの他に、「自分たちの地域に伝わる祭りばやしを調べよう」と課題が出ていて配慮がされている。
11	子どもたちがイメージを持ちやすい文字の大きさ、写真、楽譜が掲載されている。
12	体裁がよく、イラストが豊富で、児童の興味関心を引きつけやすい。
13	内容構成等、本校の児童に合っていると感じる。
14	活動内容が絵で具体的に書かれているため、児童がわかりやすい。また、旋律の動きを五線譜だけでなく線や絵で表現することで、児童がわかりやすいよう工夫されている。
15	主体的・対話的で深い学びの活動において、どのような方法や手段を使って取り組むと良いのか、分かりやすく細かく説明されている。
16	<ul style="list-style-type: none"> 長い間採用されている点で、児童への馴染みの度合いが高い。 楽譜が見やすくレイアウトされており、音楽への興味を持ちやすくなる工夫が見られる。
17	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの学習意欲を引き出すような吹き出しがあり、効果的に配列されているので、本校の児童にとっては興味をもって取り組みやすい。 学習内容が見える化されていて、主体的に学習に取り組むやすい。
18	子ども達1人ひとり感じたこと、考えたことを、言葉や歌、演奏で表現できるような内容となっており、音楽的な見方考え方をより広げたり深めたりすることができる。
19	「何を学ぶか」が具体的に書かれており、子ども自身が見通しをもって学習に取り組むことができる。聴覚だけでなく、視覚からの情報も得られることで、多くの児童が学びと向き合いやすいよう工夫されている。
20	支援が必要な児童にとっては、どのように学習が進んでいくのか見通しを持って取り組むことが出来る内容になっているところが、本校の児童にとって適切だと思います。
21	すべてのページに二次元コードついており、授業で使いやすそうだから。

22	・親しみやすいイラストや、美しい写真が多く掲載され、児童が興味関心を抱きやすい。写真によって風景や情景をイメージして表現活動に取り組むことができると考えられる。
23	・1年生の教科書では、音階が見やすく、興味を引くよう構成されている。
24	・体裁がシンプルでイラストや指示マークなど分かりやすく配置されており、視覚からも情報が入りやすい。また、二次元コードによる楽曲資料等に入りやすく、ICTを活用した授業形態が主流となっている本校児童にとって活用しやすい為、本校の児童の実態から鑑みて適切であると考えられる。 ・日本の曲が多く、本校の児童にとって親しみやすい曲が選択されている。
25	・リコーダーの指の押さえ方が示されていて、児童にとってわかりやすい。 ・二次元コードがそれぞれのページにあり、児童が自ら取り組める工夫がある。 ・本校の児童が運動会で踊ることが多い、ソーラン節等の教材が扱われている。
26	・音符が読みやすい。
27	・単元のねらいが的確で、児童が学習の見通しを持ちやすく、主体的な学びが期待できる。 ・音のリズムや高低が図示されており、楽譜が苦手な児童でも親しみやすい。
28	・音楽づくり単元において「日本音階」に切り口をあて、4年生では都節陽音階、5年では都節陰音階をつかった音楽づくりの教材があり、系統立った学習ができるつくりになっている。 ・ICT機器の活用や、協働的な学びにつなげることができる。
29	・題材名が児童に分かりやすい言葉で書いてる。(例:曲想の変化を楽しもう)

令和6年度使用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧
 令和6年度使用小学校用教科用図書調査書まとめ

開隆堂

その教科書が適切である理由	
3. 図画工作の観点	
①児童が造形的な見方・考え方を働かせながらつくりだす喜びを味わえるように、表現及び鑑賞の内容や題材は適切に取り上げられているか。	
②児童が経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができるよう、表現及び鑑賞の題材に、工夫や配慮がなされているか。	
③「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	
1	・「わたしのお気に入りの場所」では、学校の中の様子を多く取り入れていて良い。 ・児童が作ってみたい、やってみたいと思える題材が多かった。 ・多様な材料が用いられており、児童の工夫を促す。
2	・学習のめあてがわかりやすい。 ・学習で使用する材料や用具がわかりやすい。
3	・文字が少なく、作品例が多い。教科書を参考に児童が材料を選びながら、作りたい作品のイメージが湧きやすい。 ・以前の経験からつながっているような教材になっている。 ・作品をつくる過程も分かりやすく、図工が苦手と感じている児童にもまねができるような写真の工夫がある。
4	・①児童がどのような表現方法で作品を作るかがイメージしやすい。 ・②学習内容の順序が適切に並べられている。
5	・学習のめあてが見やすく、特にそこで大切にしている観点が赤字で書かれているので、子どもが理解しやすい。 ・子どもが、経験談から取り組みたい、学びたいと思えるような写真が使われている。 ・作品の写真や、製作過程の写真が大きく掲載されて、児童が表現方法を選択したり、鑑賞したりするのに適している。
6	・参考作品がユニークで興味をそそられる。、ひらめきさん、ころさん、のキャラクターが良い。 ・美術館の紹介が良い。参考作品の数が多く、子どもたちが参考にしやすい。 ・簡単な作り方も載っているため、分かりやすい。
7	・③の観点について、教科書に掲載されている作品に「作品名」と「その作品の解説」があり、児童が実際に作品カードを書くときに参考にすると考えた。
8	・巻末「学びの資料」に載っている表現技法が、より丁寧に説明されているので、その中から自分に合った表現方法を選ぶことができる。 ・手本となる作品の写真がとても魅力的で、たくさん載っている。児童の「描いてみたい」「作ってみたい」という意欲につながりそうである。 ・教科書に出てくるキャラクターがかわいい。
9	・文字が大きくて読みやすい。 ・本時のめあてが明確に記載されている。必要な物がイラストで記載されていてわかりやすい。 ・作品を作る過程や、創作のアイデアの写真が多く、わかりやすい。 ・手本がまとめてイラストで載っているため、わかりやすい。用具を安全に使用するための注意点がわかりやすく書かれている。 ・取り組みやすい作品を、平面・立体・鑑賞とまとめられている。
10	・写真の児童たちの表情が豊かで楽しさが伝わりやすい。 ・作成の手順が写真で分かりやすく掲載されている。
11	・表現の活動と鑑賞の活動が、相互に関連させながら学習が深められるように配慮されている。
12	・単元名がわかりやすく、見やすいので、何を学ぶのか具体的に子どもがイメージしやすい。 ・キャラクターや参考になることが書いてあるので、学習するときのヒントになる。
13	・シンプルで完成された作品のみ載っていて、見やすい教科書。
14	・見やすい。レイアウトが特に良い。
15	・目当てがわかりやすく表示されている。
16	・いろいろな題材が取り上げられていることで、児童が取り組みやすい。
17	・②発達段階に応じた道具や手法が用いられている。 ・③制作活動の後、発表会で互いの作品を鑑賞し合う活動があり、国語や特別活動・道徳等、他教科と関連付けて学ぶ内容が盛り込まれている。また、制作→鑑賞→表現(お話作りなど)と、対話を通して協働的な学びを促す様々な鑑賞方法の例示がある。
18	・児童の想像力がはたらくように、テーマの言葉や写真、作品例が配置されているため、どのような作品に仕上げていくかイメージを持てるような工夫がされている。 ・振り返りの観点が明確で、その単元で行ったことが次の作品に生かされるように工夫されている。 ・発想を広げ、必要な道具を準備する段階や、想像したことを作品に表現する段階のそれぞれに写真や動画での説明があり、児童が主体的に取り組むための工夫がされている。
19	・児童が生き生きと活動している写真が多く、二次元コードで動画も見られるようになっている。 ・クレヨン、絵の具、その他の道具の使い方の説明が丁寧である。 ・学習指導要領の領域及び内容が、過度に学習内容を広げすぎずに適切である。
20	・学習のめあてがどの単元にも記載されているため、その単元でどのようなことを狙いとして取り組めば良いのかがわかりやすい。工作、立体、造形遊びなどもバランス良く適切に取り上げられている。また、他教科との関連させる方法も紹介されているのが良い。
21	・具体的に内容が示されていて、流れが分かりやすい。 ・安全面に配慮された内容になっている。 ・二次元コードを読み取れば、作品カードや振り返りシートが印刷できるようになっている。
22	・学年の発達段階に沿った学習内容が記されていた。 ・絵・工作・鑑賞がまんべんなく網羅されていた。
23	・他教科との兼ね合いの欄があった。(「合わせて学ぼう」)。 ・作業の説明が丁寧に書かれている。児童の見方・考え方を広げているように感じる。
24	・図画工作の学習を通して、育つ三つの力をくふうさん、ひらめきさん、ころさんのキャラクターで表している。 ・作品の見本をいくつかのパターンで載せており、自分で表現方法を選択することができる。 ・5・6学年で鑑賞した作品の技法を取り入れて表現するという題材があり、表現と鑑賞の内容を相互に関連させている。

25	<ul style="list-style-type: none"> ①作品制作の過程や発想のヒントなど、活動の足掛かりとなる内容の表示がされている。また、たくさんの色彩豊かな児童作品を多数掲載しており、児童の想像力と考えたり作り出したりする楽しさをかき立て、意欲的に作品作りに向かうことができるよう工夫されている。 ②全学年を通して、「分野・領域」ごとに目標や使用材料が考慮され、系統的に学習を進めることができるよう考えられている。また、適した表現技術や材料・用具の知識を児童が自主的に表現活動に活用できるよう、「造形の引き出し」として各学年の巻末に資料が充実している。 ③各学年において、自分や友達の作った作品を鑑賞する題材がバランスよく系統的に配列されており、造形・絵・立体・工作などの学習に留まらず、相互に関連させられるような工夫がされている。
26	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた題材がところどころあり、児童の作品に対するイメージが膨らませやすいように感じたため。また、使用する用具も多岐に渡っており、児童に多くの経験を積ませることができると考えたため。
27	<ul style="list-style-type: none"> 紹介されている作品が、子どもたちが作ってみたいと思うお手本になるものが多い。 のこぎりの使い方や彫刻刀の種類が、図やイラスト、写真を用いて説明されているため、わかりやすい。 指導するポイントをしぼることで、知識・技能を活かした作品を作ることができる。 これまでの教材研究を活かして、発展的な教材にも取り組みやすい。 学習のめあてが目立つところに書いてあり、わかりやすい。 絵の具の技能(スプレッティング・ドリッピングなど)が、わかりやすく示されている。 図工を活かした職業が最後に紹介されていて、おもしろい。
28	<ul style="list-style-type: none"> 題材名が読みやすい。 絵、工作など色々な題材がまんべんなくある。 現状楽しくできている。
29	<ul style="list-style-type: none"> 写真や文字の配置が見やすく、楽しいキャラクターでポイントやめあてをわかりやすく捉えることができる。 「学びのしりょう」では道具の使い方等、幅広い情報が掲載されている。 創造への意欲をかき立てる、シンプルな紙面構成がよい。
30	<ul style="list-style-type: none"> 児童の身近にあるものを取り上げている。 使う道具や片付けが明記されており、分かりやすい。 児童の作品が多く載っているので参考になる。
31	<ul style="list-style-type: none"> 色がきれいで、写真が多くわかりやすいので児童にとって理解が深まりやすいような構成となっている。 解説や注意点が詳しく書いてあるので、学習活動のヒントなど分かりやすいものとなっている。 協働作業の様子が多く掲載されており、どの子にとっても理解しやすいものとなっている。
32	<ul style="list-style-type: none"> ①学習の目当てがキャラクターとともに示されており、一目見て何の観点について表記されているのかわかりやすい。ことばもわかりやすい。 ②身近な材料を使った工作なども豊富にあり、写真資料も多く掲載されていて、何を使ってどんな風に作るかがイメージしやすい。
33	<ul style="list-style-type: none"> ①見開きの「もくじ」を見れば年間の見通しが見える。 ②発達段階に合わせて各ページの図や写真、説明が工夫されている。視覚的な配慮がなされている。 ③各単元「タブレットたんまつてみよう」の二次元コードがついており、学びが広がるような工夫がなされている。(ワークシート・ぐるっと等)
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	学習のめあてがわかりやすいので児童が取り組みやすそう。
2	本校児童の興味関心に近い内容で構成されている。
3	文字が少なく、写真による具体的な作品例が多い。教科書を開いたとき、児童の創作意欲が膨らむような教科書になっている。作品を完成させる過程もわかりやすく、また、指導する側にも児童に説明しやすいように工夫がされている点が本校児童にも適していると思われる。
4	解説が細かくなりすぎず、イメージを広げるのにちょうどいい内容で記述されている。
5	より見やすく、学びの意欲をかき立てられるため、本校の児童にはあっている。
6	作品例が大きく載せられていて、特に造形作品では色や形などがとらえやすく、興味をかき立てられる。
7	キャラクターが使用されており、なじみやすい。
8	本校では、教科書を見て必要な材料を各家庭でそろえてもらっているため、その必要なものがわかりやすいイラストで表記している。
9	本校の校風にあっており、創造性を高めることができる。
10	文章量やレイアウトが適切である。
11	色んなパターンの写真で示してあり、参考にする際に興味をもてそうだと感じる。
12	文字の大きさやイラストの色づかいがわかりやすい。
13	作りやすく、分かりやすい内容の作品作りが続くので、図工が苦手な児童も取り組みやすいと思われる。
14	児童自らが表したい内容に適した表現方法や材料・用具を自ら選ぶことの大切さが伝わるような工夫・配慮がなされている。
15	横浜の標識や、赤レンガ倉庫が例として紹介されているので、親しみやすい。
16	地域の方との交流の例も紹介されていて、本校の児童も地域の方との交流があるので身近に感じやすい。
17	作品の見本の画像が多く掲載されているので、子どもたちがイメージをもって作品づくりに取り組めるようになっている。
18	図工が苦手な子どもも、単元ごとに、完成品のみわかりやすく載っているの、見やすいと思う。
19	用具の使い方は、文字の大きさが統一されていて読みやすく、ちょうど良い。
20	本校の児童に関しては、わかりやすさが重要と考えているため、適している。
21	一つの題材の目標において、様々な迫り方、工夫の仕方が提示されている点で、児童がイメージを膨らませながら取り組みやすい。
22	今後、デジタル教材(画像やビデオ)にリンクされて課題の提示ができるようになるとより目標に迫りやすい授業展開ができると考える。
23	視覚的にも分かりやすい。
24	用具の使い方だけでなく、後片付けの方法等も写真を用いて分かりやすく説明されている。
25	「学習のめあて」がわかりやすく、見直しをもって活動を始められる。
26	タブレット端末の使い方や図工での活用方法がわかりやすく具体的に示されている。
27	学習に課題がある子ども、作品を完成させるまでの段階を追いながら、見直しを持って活動に取り組めるように編集上の工夫がある。
28	作品例だけでなく作業中の写真や動画が準備されているため、作品づくりに迷ったときも教科書に立ち返ることで視覚的な支援が受けられるように構成されている。
29	「あわせて学ぼう」に、教科と内容が書かれているため、児童にとってわかりやすく意味も捉えやすい。
30	「かたづけ」や「ふりかえり」がわかりやすく表記されており、児童が学習の見直しをもちやすい工夫がされている。

20	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードをタブレット端末で読み込むことで、用具の使い方や作品を見ることができる点が良い。また、表題が大きく黒字で示されている点も見やすく良い。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用により、学習の流れが捉えやすい。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的にわかりやすく示されており、作るもののイメージが持ちやすい。 ・用具の安全な使用方法を学びやすい。 ・タブレットを活用して学習を進められるところも本校の児童の実態に合っている。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードの動画や操作がわかりやすいため。 ・付属のワークシートが簡潔でわかりやすいため。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の教科書に「つながるぞうけい」というページがあり、くらしと地域と繋がれるページがある。 ・各題材のところに、立体か絵か分かるように表記されている。 ・使用する材料を絵付きで載せており、分かりやすい。
25	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に育成したい資質や能力を授業内における三つの目標(めあて)として提示し、分かりやすく整理されており、本校の研究目標である『主体的に取り組む子の育成』の手立ての一つである『めあて・ふりかえり』の提示にも反映することができる。また、「あわせて学ぼう」マークとともに、教科名が示されており、教科横断的な学習の手立てが得られることは、一教科内にとどまらず広く主体性を育成する活動として、本校の児童の主体性を育成する上で有効であると考え。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の難易度が比較的 low、図画工作に苦手意識をもつ児童にも取りかかりやすいため。
27	<ul style="list-style-type: none"> ・立体教材と平面教材の種類が様々あり、本校の児童の興味関心がわく内容となっている。
28	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の使い方がのっていて、確認できるところがよい。 ・題材名や単元名が内容を想起しやすいものになっている。
29	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と文字で手順が丁寧に説明されており、本校の児童の実態に合っている。 ・二次元コードでの追加情報も適切である。
30	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての単元に「タブレットたんまつで見よう」という項目がある。児童が学習に取り組む際、学級全体でも個人でも良い手立てとなる。
31	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例が多く、作品のイメージが湧きやすいため、表現活動に取り組みやすい。 ・教科書にタイトル(言葉)がついている部分も、学年ごとにめあてがはっきりしていて、分かりやすい。
32	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の写真が大きく、文字の情報も最小限なので、ぱっと見てどんなものを作るのか、どうやって作ろうかなど児童の考えが広がりやすい。 ・気をつける点などもシンプルでわかりやすい。 ・一目見たときのわかりやすさは本校児童の創作意欲を引き立てるのに適している。
33	<ul style="list-style-type: none"> ①各ページの図や写真の数と説明の量が適切で見やすい。 ②学習のめあてがわかりやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 図画工作の観点	
①児童が造形的な見方・考え方を働かせながらつくりだす喜びを味わえるように、表現及び鑑賞の内容や題材は適切に取り上げられているか。	
②児童が経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができるよう、表現及び鑑賞の題材に、工夫や配慮がなされているか。	
③「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び「共通事項」の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> 印象的な色合いで、興味関心をひいている。 既成の枠をはみ出し、自由な発想を誘っている。 目次の分類がわかりやすい。 全体的に色使いが明るく、参考作品の写真も大きくて見やすい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 手本となる作品が、児童のレベルにちょうどよく、取り掛かりやすそうである。そのため、「自分でも簡単に作れそう」という意欲が湧くと考えられる。 目次に「表現」「鑑賞」の領域が分かりやすく載っているため、年間単元計画を立てやすいように感じる。
3	各単元のレイアウトが系統的になっている。
4	特に高学年において文化として優れた造形作品をとりあげており、「A表現」と「B鑑賞」及び「共通事項」の学習内容の相互関連が図りやすいよう、工夫・配慮が十分なされている。
5	<ul style="list-style-type: none"> もくじのページでは「造形遊び」「絵」「立体」「工作」「鑑賞」の表し方が、一目でわかりやすい。 自分の思いを表現したい、と思えるような写真(表し方の例)がたくさん載っていた。 「かんじょうのヒント」のマークやそれぞれの単元で話している吹き出しが、個々の作品がよりよく表現されるためのヒントになっていた。(良いと感じた吹き出しの例、「どこによさを感じるかな?」「動きやバランスはどうか?」など) 「教科と用具のひきだし」では、表現するための技法がわかりやすく載っていて子ども達が意欲的に取り組めると思う。
6	写真、二次元コードが適度に入っており、児童が見てわかりやすい内容になっている。
7	造形的な見方や考え方を働かせながらつくりだす喜びを味わえるような内容や題材になっていた。
8	<ul style="list-style-type: none"> 作品の制作過程の写真が多くあり工程が分かりやすい。 様々な技法を使った造形活動が載っている。 筆と絵の具を使った様々な表し方を紙にして鑑賞する題材がある。
9	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な作品が多く、想像、創造力に幅を持たせられる。 木やワイヤーに無駄な装飾をしないため、素材本来の良さを感じやすい。 廃材などの身近なものを使用した作品が多く、キットに頼りすぎでない。 見本作品のレベルがちょうど良い。
10	<ul style="list-style-type: none"> 感覚を養うことに、適している。 鑑賞したあとに実践できる手だてが示されている。
11	作品制作にむけての例示が多い。
12	<ul style="list-style-type: none"> 児童の身近にあるものを取り上げている。 単元のめあてである3項目が具体的に示されており、分かりやすい。 全ての単元で制作と鑑賞が記載されており、鑑賞のポイントも明記されているので扱いやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	作品が多く、参考になるため、見やすい教科書である。
2	途中経過がわかりやすく、本校の児童にもはりやすい。ミニアートカードが良い。
3	本校の児童に合いそうである。
4	児童にとって見やすいレイアウトになっている。
5	<ul style="list-style-type: none"> 「使ってみよう」と想像がふくらむ教科書なので、前向きに取り組めると思う。 特に「造形遊び」については、経験が乏しく何を作ってもよいかわからない子どもが多いので、これだけイメージの案が載っていると、教科書からイメージのヒントをもらうことができると考える。
6	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の最後にミニアートカードがついており、別途購入せずに使用できる。 制作過程の写真が載っていることは本校の児童にとって分かりやすい。 土や葉など身近なものを使った題材を多く取り入れている。
7	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な作品が多いため、図工が苦手な児童も楽しく取り組むことができる。 身近なものを生かした作品が多いことから、キットに頼らないため、教材費の面でも地域の特性に合っている。
8	道具の使い方についてわかりやすく提示されているところが、児童の視覚支援に役立ちそう。

その教科書が適切である理由	
3. 家庭の観点 ①生活の営みに係る見方・考え方を働かせた学習となるよう、題材に工夫や配慮はなされているか。 ②日常生活に必要な基礎的な知識及び技能の習得を図るために、実践的・体験的な活動を題材として取り上げるなど工夫や配慮がなされているか。 ③生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決していく題材として工夫や配慮がなされているか。	
1	・写真が明るく見やすく、児童の理解を助けると思われる。 ・写真が見やすく、子どもが考えて体験しやすいように工夫されている。
2	・題材はじめの投げかけが、「なぜ」という問いかけではなく、「みつめよう」としている。子どもたち一人一人が送ってきた生活に、家庭科の見方考え方を働かせて課題や問題を見つけて解決していくという学び方を提案しているところがよい。
3	・手縫いやミシンの作品の写真が児童にとって魅力的なものとなっていることから、授業だけでなく、実生活でも作品をつくってみたいと思える内容になっている。 ・巻頭や巻末に学習の流れや安全面における注意点が写真やイラストで示されるなど工夫されている。 ・二次元コードが各ページに載っている。
4	・児童に分かりやすい観点で言葉を表現されており、理解しやすい。 ・野菜のヘタの取り方や実物大などの詳細がわかりやすく記載されていた。
5	・今の時代に合った生活内容になっている。
6	・何のために家庭科を学ぶのか、学んだことを普通の生活の中でどのように生かしていくのかを考えさせる記述が多い。
7	・器具や用具の正しい使い方がわかりやすく明記されている。特に、安全に留意しなければいけない点については、赤枠で囲んであり見やすい。 ・実践的・体験的な活動を楽しく学びながら生活の自立を目指す工夫がなされている。
8	・家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」で表現しており深い学びが実現できるようになっている。 ・指定題材は大判化した紙面でわかりやすい。大題材は、3ステップで問題解決に展開されており3ステップをくり返すことで、主体的に生活する力が育成されるよう工夫されている。 ・基礎的・基本的な知識や技能の大切なポイントがまとめられている。 ・巻末の拡大版には、初めて実習道具に触れるときの不安感を解消し、安全に実習をするための工夫がされている。 ・二次元コードから見られる動画を確認することで、基礎技能を確実に習得できるように配慮されている。
9	・写真や絵を使って具体的に見やすく工夫されている。 ・説明が細やかで分かりやすい。
10	・全体的に子どもが興味を持てるような写真やイラストが多く使われている印象を受けた。 ・イラストや写真は子どもの記憶にも残りやすく「これをつくってみたい」と思える教材が多く、巻末に載っているいろいろなページも大きく見やすいと感じた。
11	・お茶の入れ方の説明が、丁寧に書かれている。
12	・「家庭科の窓」には、生活を見つめるときの見方や考え方が示され、今まで気づかなかった生活の様子が分かるように配慮されている。 ・「生活を変えるチャンス！」というコーナーを設定することによって自分の生活の中から課題を見つけ、解決しようとする意欲づけにつながっている。
13	・全ての題材を3つのステップで構成し、子どもたちがその流れに沿って学習できるところが工夫されている。また、導入段階を毎回「生活をみつめてみよう」から始まることで、自分の生活を見直し、これからの生活に活かすために学ぶことを意識できるところが良い。 ・一人一人の行動が社会をつくっていくことの理解を深めるために、SDGsについて関連させていることも学びを深めていくのに効果的である。
14	・①「整理・整とんで快適に」の単元において、お道具箱の中身について具体的に掲載するなど、実際の生活に活かせるよう工夫している。 ・②において、調理実習や製作実習の実践的・活動的な内容を多く取り入れて掲載している。また、写真を多く掲載しており、分かりやすい。
15	・①児童にとって身近な生活の話題に合わせた題材を取り上げている。 ・②基礎的な技能の習得のために実践的・体験的な題材を適切に取り上げている。 ・③すべての題材で3ステップに分かれており、問題解決的な学習が展開できる。 ・スモールステップになっており、学習の見通しが立てやすく、問題解決的に学習に取り組める工夫がされている。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・情報量が適切であり、児童の理解を助ける。 ・身の回りにある多くの問題を解決しようとする題材が多く、これからの子どもたちに適している。
2	・家庭科という教科が自分の生活を変えていくとかかれてあり、いろいろなもの良さを取り入れ自分の生き方を考えていく力強さを身に付けてほしいと思える教科書である。
3	・落ち着いた色合いが見やすく、紙の材質もめくりやすくよい。 ・情報量が適切である。家庭科という教科の専門性に優れている。
4	・関東の料理が掲載され身近に感じやすい。
5	・単元が児童の実態にあった数と内容でゆとりをもって授業を進めることができる。
6	・児童の実際の生活に近いため、受け入れやすい内容となっている。
7	・図や写真、挿絵などが大きく見やすいので、情報を捉えやすいと思われる。
8	・目次を見ただけで、中学生までの家庭科学習の見通しが立てやすい。 ・二次元コードが多く、児童の興味のあるコンピューターを使っての学習に取り組みやすい。
9	・ストーリー性のある2年間の指導計画になっており、見通しがもちやすい工夫がされている。また、家庭科の基礎・基本となる本文中の用語が太字になっているため分かりやすい。 ・座学が多くなりがちな題材のところにも、活動が設定されていて内容を具体的に示している。 ・さまざまな活動を通して児童の思考力・判断力・表現力が育成されるようになっているため本校の児童の実態に適切である。
10	・巻末に手をのせて練習できるよう、実物の写真が掲載されている。
11	・家事体験が少ない児童にとって、具体的で細かい説明が多く適切。
12	・本校の児童はとでも素直で「野菜を4～5cmの長さに切る」と記載されていると実際に実習時に定規を出して計ろうとする。野菜炒めのページの写真は実寸で切り方や量はすごく分かりやすく、児童も自分が調理をするときにイメージしやすいだろうと感じた。また調理の手順も写真が多く使われていてわかりやすいと感じた。
13	・イラストや写真が多く、児童がわかりやすい。 ・児童が意欲的に取り組みそうです。
14	・ICTの活用によって、子どもたちも意欲をもって取り組むことができる内容が豊富である。 (思考ツールを使って情報を整理するものや調理や裁縫で使える動画、調べ学習に使える図鑑など)
15	・調理器具の写真の提示の仕方や種類の豊富さが児童にとってイメージしやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 家庭の観点	<p>①生活の営みに係る見方・考え方を働かせた学習となるよう、題材に工夫や配慮はなされているか。</p> <p>②日常生活に必要な基礎的な知識及び技能の習得を図るために、実践的・体験的な活動を題材として取り上げるなど工夫や配慮がされているか。</p> <p>③生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決していく題材として工夫や配慮がなされているか。</p>
1	・体験的な活動が題材として多く取り上げられていて、生活に生かせる工夫がされている。
2	・キャリアインタビューなど、様々な視点を取り入れており、家庭に限らず、社会についても包括的に考えさせようとしているところがよい。
3	・視覚的な情報量が多い。単元が細かくわかれており、学習しやすい。 ・基礎的な知識及び技能を習得するための活動が、基礎から応用へと順序だてて記載されており、より実践的・体験的な学びが得られると考えられる。
4	・イラストや題材に児童が関心を持てるような身近な生活の様子が取り上げられている。 ・単元の初めに学習の流れ(見通す、取り組む、振り返る)が書いてあり、めあてをもつてから学習に臨むことができる。
5	・学習手順も丁寧であり、どの児童にとってもわかりやすく見やすい構成になっている。また学びを深めていくという点でも振り返りの活動や教材に関連した資料などの紹介により、学習を日常生活へ広げていくことができる。 ・学習の流れが3つのステップになっていて、児童はこの単元で何を学ぶのか、どんなことをするのか明確になっている。
6	・生活の課題と実践例が多く載っており、実生活に活かせる内容となっている。 ・二次元コードが各ページに載っている。
7	・写真や絵の色が、優しい感じで見やすい。 ・調理の手順が、平行して1ページに納まっています。
8	・児童にとって身近な題材や興味を持つ題材となるような工夫がなされている。 ・SDGsや食文化のページなどは教材を横断して取り上げられるようになっている。
9	・日常生活の中から、家庭科における課題が設定されるように編集されている。
10	・生活と結びつける内容の記述が適切な量で掲載されている。 ・単元ごとの学習のめあてがわかりやすく、目に入りやすい。
11	・生活の課題と実践例がわかりやすく実態にも合っていて、見やすい。 ・調理の手順がわかりやすい。
12	・①児童が取り組みやすいように絵や写真が大きく多く使われている。 ・②身の回りに学習に関わる物、経験がないか問題提起がある。 ・③なぜその学習が必要なのかを考えるという課題設定がある。
13	・何を学ぶのかがわかる単元名(題材名)になっていて、見通しや目標ももて、学習活動への意欲につながる。 ・全ての題材が3ステップ(気づく・見つける→わかる・できる→生かす・深める)で構成されているため基礎的基本的な知識や技能の習得に繋がる。
14	・生活の課題と実践例がわかりやすく実態にも合っていて、見やすい。 ・調理の手順がわかりやすい。
15	・単元名が、生活の営みにかかる見方につながる言葉で書かれているため、児童にとってわかりやすく、自分の課題として学習内容を考えることができると思う。また、調理や制作の過程がわかりやすく示されているため、児童の基礎的な知識および技能の習得を図るのに適していると考えられる。
16	・図表が大きくて見やすく、児童が作業する上で理解しやすい。
17	・鉛筆でも書きやすい紙質になっており、教科書に書き込みながら学習を進める、という流れがわかりやすい。 ・挿絵が写真ではなく、イラストであるため細かい部分が見やすいことと、投影した際にもはっきりと写るように思う。
18	・調理実習の流れが見開きページで説明されており、理解しやすい。 ・実習の注意点(安全面など)がまとめて記載されている。
19	・「6年 クリーン作戦で快適に」の単元で、掃除活動がある。 ・実習のすすめ方を、図や写真を多用してわかりやすく示している。 ・学習のはじめに、「なぜ…」と言う問いが多く設定されていて、日常生活から問題を見つけやすい。 ・食物アレルギーについての記述がわかりやすい。
20	・重要な語句やキーワードが太字になっているため、わかりやすい。
21	・家庭科は、自分の生活を見つめることからスタートし、今まで気付かなかった発見や生活の様子が見えてくる。その視点として、4つのローバーで表現されている。 ・「レッツ トライ!」というコーナーを設定することによって、新しい課題を見つけ、課題解決の意欲付けにつながっている。 ・5年生の手縫いの仕方やミシン糸のかけ方など、わかりやすく記述されている。
22	・写真や図、イラストがわかりやすく、見やすい。めあてから問題解決までの流れがわかりやすく、授業づくりに活用できる。
23	・作業手順などのコマ送りの写真が見やすくわかりやすい。 ・食材の切り方、調理用具、生活の中で使われる電化製品などまとめて表記されているページがあり説明時に使いやすい。 ・文章の量、図版とのバランスが良い。 ・A4版になったことは、以前の変型A4より良い。
24	・①「ものを生かして住みやすく」の単元において、お道具箱の中身について具体的に掲載するなど、実際の生活に活かせるよう工夫している。 ・②においては、調理実習や製作実習の実践的・活動的な内容を多く取り入れて記載している。また、写真やイラストをバランスよく取り入れた構成となっており、わかりやすい。また、重要な語句を太字で掲載しており、知識を習得する上でわかりやすい。 ・③においては、全ての単元を「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」とし、生活の中から問題を見出して課題解決できるような構成になっている。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連

1	・写真が多く使われている上に、実物大の写真も配置するなどの工夫が見られ、本校の児童にとって理解しやすい内容と考えられる。
2	・教科書を開いたときに目に入ってくる情報量が多すぎず、本校の児童に適していると考えられる。 ・家庭での裁縫や調理の経験が少なく、基礎的な技能を身につけるのに時間がかかる児童にとって、基本をおさえてから応用や発展に進んでいく教科書の流れが合っていると考えられる。
3	・児童の発達段階に応じた見やすいレイアウトになっている。 ・写真や図が豊富で、児童が学習に取り組む際にわかりやすいとカンじる。
4	・関東の料理が掲載され身近に感じやすい。
5	・地域との関わりが伝わりやすい。
6	・調理実習や整理整頓の流れ、手順が見開きで視覚的にわかりやすく提示されている。
7	・調理実習の説明のページが視覚的にわかりやすい。
8	・調理の手順が簡潔に書かれており、見やすい。見開き1ページに一段になって、作り方がかいてあり、わかりやすい。
9	・絵や写真が多く、文章も簡潔に書かれているため家庭科の学習に苦手意識がある児童にも取り組みやすい。
10	・スモールステップで学習が積み上げられるようになっている。 ・調理や製作の手順については横並びで表示されており、手順の流れをつかみやすい。 ・カラーユニバーサルデザインの観点から、あたたかみのある色彩になっている。
11	・学習に課題のある子も必要な情報を得やすい、視覚的な表現や写真などの補助・工夫がされている。
12	・裏表紙に切り方等の写真や、定規が掲載されており、ページを開かなくても見ることができ、大変便利で使いやすい。
13	・取り扱っている制作や調理の内容が、児童の実態に適していると思う。イラストや写真も児童にとって新しい発見やなじみやすい内容があると考えられる。
14	・本校の児童が、内容を確認しながら作業をする上で、一目で工程を確認できる構成になっている。
15	・外国につながる場面や様々な家庭などいろいろな多様性がみられ、良かった。
16	・裏表紙に目盛りが付いており、大きさの感覚がつかみやすい。 ・紙質が良い。蛍光灯の反射がしにくく、ページが見やすい。
17	・見やすくてわかりやすい。
18	・児童が見てわかるように、写真や色遣いが工夫されている。
19	・写真や絵の色がはっきりしていて、どの児童にもわかりやすいと思われる。文字の大きさや濃淡も良い。
20	・文字が読みやすい。わかりやすい文章で児童の知識理解を深めることができる。
21	・図や写真で作業手順や食材への火の通り方、調理後の変化など、児童の目にもわかりやすく良いと思われる。 ・右利きの手つきだけでなく、左利きの手つきの写真もあるが、子どもすべてに当てはめることができるので良い。
22	・「家族」という言葉の使用が極力抑えてあり、様々な事情を抱える児童の実態に適切である。 ・使用している紙質が分厚く丈夫であり、調理実習や洗濯など水を扱う場面の多い家庭科において、活発な本校の児童の特性にも適切だと考える。

令和6年度使用小学校用教科用図書調査書まとめ
 小学校 体育（種目：保健）

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけたところに「1」の数字が記入されています。
 ※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成								2.分量・装丁・表記等								3.保健の観点						4.本校の児童の実態や地域等の特性との関連									
	東書	大日本	大修館	文教社	光文	学研			東書	大日本	大修館	文教社	光文	学研			東書	大日本	大修館	文教社	光文	学研			東書	大日本	大修館	文教社	光文	学研		
1		1		1	1	1				1				1				1										1				
2					1	1								1					1	1							1	1				
3		1	1		1					1	1		1					1		1							1					
4	1	1									1		1					1									1					
5						1								1						1								1				
6		1			1					1			1					1								1		1				
7		1	1	1		1				1	1	1		1				1		1	1					1	1	1				
8	1	1	1	1	1	1								1				1	1		1	1				1	1	1				
9						1								1														1				
10						1								1														1				
11	1	1	1	1	1	1				1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1				1	1	1				
12	1	1			1	1				1	1			1	1			1									1					
13					1	1							1	1														1				
14	1				1	1				1	1			1	1												1	1				
15			1		1					1				1				1									1					
16	1	1	1	1	1	1				1	1			1	1			1		1	1						1	1				
17			1			1						1		1					1								1					
18			1		1	1					1		1	1					1		1							1				
19	1									1								1										1				
20						1								1														1				
21	1	1	1		1					1	1	1		1				1	1	1						1		1				
22		1	1			1				1	1	1						1	1							1	1		1			
23			1			1						1		1													1		1			
24					1								1								1							1				
25						1								1														1				
26					1								1								1						1					
27	1	1				1				1	1			1	1			1	1							1		1				
28	1					1				1				1				1									1		1			
29		1								1	1							1								1						
30					1								1								1							1				
31						1						1		1														1				
32	1		1							1		1						1	1													
33	1	1			1					1	1			1				1	1							1	1		1			
34			1									1								1							1					
35		1	1							1	1							1	1													
	12	15	14	5	17	21	0	0	10	15	13	2	15	20	0	0	9	11	14	1	14	20	0	0	8	6	8	1	11	20	0	0

その教科書が適切である理由	
3. 保健の観点	
①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	
②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	
③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	
1	・児童が分かるような記述がなされている。
2	・説明が詳しい。 ・イラストがわかりやすい。 ・新聞記事なども最新の情報のものが載っている。
3	・①統計、調査等のデータがわかりやすく記述されていて、児童がとらえやすくなっている。 ・②写真とイラストの使用のバランスがよく、学習課題を見つけて取り組むことが期待できる。 ・③学習の記録が残るように、教科書に書き込みができ、学習内容を振り返ることができる。
4	・実物大のイラストがあり、児童たちがイメージしやすい。
5	・事例について自分の考えを書ける。資料のページも見つけやすい。 ・説明がわかりやすい。
6	・子どもにとって身近な内容のイラストや写真が多く使われており、指導しやすい。
7	・学習の進め方が視覚的に分かりやすい工夫がなされている。
8	・実際の写真が多く、子どもたちにとって身近に捉えやすい。
9	・2020年のデータが使われている。 ・各単元に複数の写真が載せられている。 ・マスクのつけ方外し方など、身近な生活習慣で使える感染予防や健康に関する内容がイラストで分かりやすく載せられている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・内容がシンプルで分かりやすく本校の児童の実態に即している。
2	・写真が多く、自分事としてとらえやすい。 ・資料が充実していて大きいいため、学習がしやすい。本校児童に適切な教科書である。
3	・記述欄が多く、学びの足跡が振り返りやすい。ワークシートを準備しなくてよいので、使い易い。
4	・写真とイラストのバランスがよく、見やすい。文字が多くないため、読み進めやすい。
5	・記述欄が適切である。
6	・各単元、「ステップ1 きづく、見つける」「ステップ2 調べる、解決する」「ステップ3 深める、伝える」「ステップ4 まとめる、いかす」と4つのステップで学習が進められるようになっていてわかりました。また、大切なポイントや考えを書き込めるスペースが多くある。
7	・児童の実態に合う健康に関する情報が詳しく載っている。
8	・使用されている写真が、児童の身近に感じやすいものが多く、興味を持ちやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 保健の観点	
①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	
②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	
③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	
1	・装丁が工夫され、児童が興味を持って課題に取り組み、思考を深められるような工夫がされている。
2	・児童が分かるような記述がなされている。
3	① P28「けがや事故」の学習のページでは、2021年のデータを使用していた。 ・児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があった。 ② イラストや写真を多用し、児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮がなされていた。
4	・SDGsとの関連があり、児童が直面するこれからの課題や問題について考えるページがあるから。 ・児童が自分の経験をもとに考えることができるイラストが載っている。 ・活動のヒントがあり、分かりやすい。
5	・「つかむ→話し合う→活かす」の一時間の流れが明確。 ・挿絵などの資料に対する文字数が多すぎず、内容が理解しやすい。
6	・教科書に切り取りができる資料があり、学校生活や日常生活においてもとても役立つ。
7	・2021年のデータが使われている。 ・学習内容を深めるミニ知識やもっと知りたい内容をイラストで分かりやすく載せている。 ・健康づくりとして実施しやすいように、イラストでの提示がされている。
8	③さまざまな健康情報が載っている。 ・学習内容を深めるミニ知識やもっと知りたい内容をイラストで分かりやすく載せている。
9	・学習のまとめや、発展学習のところが、ページの色を変えていて見やすい。
10	・各單元における一つ一つの内容で、自分の考察を書く欄が設けられており、児童自身のふり返りをしやすい。
11	・字の大きさが読みやすい。ページ数も適切で読みやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・図がわかりやすく、本校の児童の実態に即している。
2	・海に近い学校であるため、5年「けがの手当」の單元では水難事故について詳しい記載を要していたが、内容は細かく、かつグラフを使った、わかりやすいものだった。また、既習事項を日常生活に活用するための工夫が多くなされていた。情報活用能力の育成をめざしている本校の児童に合っていると感じた。
3	・絵と文のバランスがちょうどよく、本校の児童が理解しやすい。 ・児童が実生活と結びつけやすい教材が載っている。
4	・単元のふりかえりがあり、学校として重点的に取り組んでいるふりかえりの力が生かせる。また、保健としての知識の習得だけで終わらず、健康に対する態度を問うことができる。
5	・自分の成長の過程を記録として残しておく。
6	・話し合うところ、今後活かすところが記述できるようになっているため、振り返りに便利。

その教科書が適切である理由	
3. 保健の観点	
①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	
②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	
③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	
1	・写真等を使い、健康について考えを深めることができるよう科学的根拠を示しながら解説している。
2	・写真が豊富に掲載されており、必要な知識がわかりやすく身につく。
3	・挿絵がわかりやすく、最新の新聞記事等も載っている。 ・学習後の生活に生かせる内容が多い。
4	・「課題をつかもう」では、具体的な場面をイメージしながら子どもたちが見通しを持って学習に取り組めるように工夫がされているので、導入部分の学習活動に適している。 ・イラストが優しいイメージでよい。
5	・子どもが自分の考えを書き込めるようになってきている。 ・子どもに示したい情報が十分掲載されている。
6	・「つかむ→話し合う→まとめ」の一時間の流れが明確。 ・挿絵などの資料に対する文字数が多すぎず、内容が理解しやすい。
7	・イラストやマンガが効果的に使われている。資料でより深く学ぶことができる工夫がされている。
8	・② 体の発育についてのイラストに配慮がある。
9	・身近な話題から学習を進めるように構成されており、児童が興味・関心を持つような工夫が見られる。 ・教科書自体をワークシートのように使用することがある。紙の材質が良く、児童が書いたり消したりしやすい。
10	・資料として、「もっと学びを広げよう！深めよう！」が入っていることで、学習内容に関わる内容がより深く理解できる。
11	・2022年の新聞が資料として載っている。 ・大単元のページに今をときめく芸能人のインタビューが載っている。 ・「もっと学びを広げよう！深めよう！」というページが各単元ごとについていて、イラストや写真など多くの資料が載せてある。
12	・①データが新しい。 ・②資料がわかりやすい。 ・児童が身近な学校をテーマにあげ、けがをしやすい場所を考えやすくしている。
13	・課題をもち、その後考えが深められるよう、イラストが工夫されている。 ・「話し合おう」のテーマも、児童にとって身近な内容が多い。
14	・児童が興味をひく人物や出来事が取り上げられているため、学習に取り組みやすい。 ・児童の年代の統計が取られているので、自分と照らし合わせて考えることができる。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・本校児童の興味関心に近い内容で構成されている。
2	・話しやすい情報や書き方になっていて、本校の子どもたちが主体的に考えられるようになってきている。
3	・単元のふりかえりがあり、学校として重点的に取り組んでいるふりかえりの力が生かせる。また、保健としての知識の習得だけで終わらず、健康に対する態度を問うことができる。
4	・子どもたちが想像しやすいよう、効果的なイラストや写真が使われている。 ・児童が興味を持ちやすい資料が、大きく見やすい配置で掲載されている。
5	・生活リズムを1週間記録できるようになっている。 ・「もっと学びを広げよう！深めよう！」に載せてある内容が身近で日々の生活に生かせるものが多い。
6	・児童の実態に合う健康に関する情報が詳しく載っている。
7	・児童が主体的に考えられる工夫がされている。 ・「話し合う」「考える」ところにイラストが多く用いられているため、想像しやすい。
8	・挿絵が分かりやすいので児童の学習活動のヒントとなる。

その教科書が適切である理由	
3. 保健の観点 ①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。 ②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮はなされているか。 ③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年のデータが使われている。 ・コロナ感染症対策のことが書かれている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したものをもとに深く学びもっと知りたいページのリンクを載せている。 ・大単元学習後、これからの自分の課題を考えるページが載っている。

その教科書が適切である理由	
3. 保健の観点	
①児童が健康や安全に関する原則や概念に目ざめるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	
②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	
③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	
1	・分かりやすいデータをもとに記述がなされている。
2	・教科書のページに二次元コードがついており、そこから参考資料のページにぶとぶとすることができる。 ・インターネットコンテンツの内容がわかりやすく、内容も豊富である。 ・個別支援が必要な児童にも配慮しやすく、取り組みやすいと感じた。
3	・なぜ保健を学ぶのか、学んだことをどのような場面でどのように生かしたらよいかを考えるための表記の工夫が見られる。
4	・保健の観点①②③に配慮されていると感じた。 ・二次成長について丁寧に説明がなされていた。
5	・② 体の発育についてのイラストに配慮がある。
6	・デザインフォントが使用されているため、文字が見やすく、読み間違いないように感じる。
7	・考えさせたい部分に記述欄があり、授業の流れに即している。
8	・グラフなどの資料に最新のものが使われており、分かりやすい。 ・教科書に直接書き込めるのがよい。
9	・2021年、令和3年の資料が載っている。 ・学習したことを確認するまとめのページがあり、イラストなどで分かりやすく示されている。
10	・②資料がわかりやすい。
11	・人と人のかかわり方や例がたくさん書かれている。
12	・写真やグラフが多く記載されているため、学習課題に対して身近に感じることができる。 ・イラストと文字の量のバランスがよく、要点がわかりやすい。
13	・児童が興味をひく人物や出来事が取り上げられている。
14	・必要に応じて見開きページで左右に分けて内容が表記されており学習を進める上で工夫されている。 ・学習内容に関連する写真や挿絵、グラフや図表などの補助資料が多く、児童が自ら興味 関心に応じて学習を進めることができる。 ・補助資料には解説がついているなど児童にとってわかりやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・記述が詳しく載っていて本校の児童の実態に即している。
2	・児童用タブレットを学習活動で使っているため、ネットコンテンツが豊かな光文書院の教科書が本校の児童にとっても使いやすいと考える。
3	・子どもたちにとって親しみのあるスポーツ選手や音楽家、作家などのインタビューやコメントが掲載されていて興味を高めることができる。
4	・理解を促すための説明と資料が適切だと感じた。
5	・見開きで学習内容がわかり、自分の考えを簡潔にまとめられる。
6	・スポーツ選手の内容が各所に取り上げられているため、子どもたちがより興味を持って読み進められる。
7	・記述欄が丁度よい。
8	・児童の実態に合う健康に関する情報が詳しく載っている。
9	・児童が主体的に考えられる工夫がされている。
10	・イラストが見やすかったり、大事なキーワードが太字になっていたり、視覚的にわかりやすい。
11	・学習の課題がわかりやすく、授業の中で何を学ぶのが確かめやすい。 ・児童にとってわかりやすい補助資料が多くより理解を深めることができる。

その教科書が適切である理由	
3. 保健の観点 ①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。 ②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮はなされているか。 ③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮はなされているか。	
1	・書き込みがしやすいようである。
2	・見開き1ページに学習活動がまとめられているので、児童の話し合い活動などを充実させやすい。 (説明が長く教え込みの学習にならない。)
3	・①最新のデータが使用されている。また発達段階に応じた表現がされている。 ・②イラストや写真の活用が工夫されているため、児童が普段の生活と結びつけ学習課題を見付けることができる。 ・③生涯にわたる健康情報の記載があり、児童は将来のことも考え、学習に取り組める。
4	・イラストが見やすくわかりやすい。 ・自分の実生活に置き換えて、考えることができる発問があり、授業がしやすい。
5	・イラスト、写真などで工夫されていて、適切である。
6	・子どもたちが考えたことを書きこむスペースが十分に確保されている。 ・罫線が入っていて書き込みやすい。話し合う活動がわかりやすく示されている。
7	・事例について自分の考えを書き、共有することができる。
8	・資料が大きく、理解しやすい。 ・二次元コードを読み取ると資料を印刷できるので後から振り返りしやすい。 ・絵ではなく、実際の写真を使っていて導入時に子どもたちがイメージしやすい。 ・実際の写真など用いた発展資料が多くあり、深い学びができる。
9	・② 体の発育についてのイラストに配慮がある。 ・③ 心の健康 思春期はだれもがなやむもの の実例が分かりやすく、共感しやすい。
10	・学習課題が見やすく表示され、学習の流れがつかみやすい。 ・イラストと文字のバランスが良く、学習後の振り返りの際にも見やすく分かりやすい。
11	・記述の部分に罫線が引いてあり、児童が書きやすい工夫がされている。
12	・写真と文章が分かりやすく分けて書いてあるため、情報が整理されていて見やすい。 ・振り返りシートが二次元コードで読み込めるため、ロイロノートに取り込み、書きこむことができ便利。 ・教科書に直接書き込めるのがよい。
13	・実際の写真が多く、子どもたちにとって身近に捉えやすい。
14	・2020年のグラフがのっている。 ・イラストや写真などの資料が多い。 ・各単元に「ほげんのはこ」というコーナーがあり、単元を深めることができる内容が載っている。
15	・各単元の導入部分では、学習問題に対する学習前の考えを書くことができ、学習者自身の健康について捉え直す場が設けられている。また、感染症等に対する配慮について触れられている。 ・実生活と結びつけた内容が取り入れられており、生涯にわたって豊かな心身の健康を保持増進する態度を養えるような内容で資料が構成されている。
16	・もっと知りたい、調べたいなど興味を持った児童がより知れるページがあつてよかった。 ・必要などころ以外はイラストのみ使用しており、見やすく工夫されている。
17	・③さまざまな健康情報が載っている。
18	・単元の始めにチェック項目があり、課題が把握しやすい。 ・二次性徴の扱いがオプラートに包んだものであるため、基本的な教材として誰にでも受け入れられやすいと思われる。 ・児童の心の不安や悩みに力を入れてつくられているため、読みながら安心できる児童がいるだろう。
19	・児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮はなされている。 ・健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即している。 ・児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮がなされている。
20	・児童の興味関心を課題意識へと導く導入や問いや理解を深めるための情報提供が多い。 ・児童の生活行動や身近な生活環境について示している事例が多く掲載されているため、実生活と比較検討させながら効果的な学習活用ができる。
21	・イラストや写真が大きく、子どもの興味を引きやすい教科書になっている。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・視覚的情報からの学習が得意な児童が多いため、写真と絵が効果的に掲載されている学研の教材は本校児童に適していると考えられる。 ・児童の経験や考えを生かして学習をすすめられるので、話し合い活動に力を入れている本校の指導に適している教科書だと考えられる。
2	・4ページにわたって、一単元が展開されているため、プリント等を用意する必要がない。そのため児童は教科書に書き込みをし、学習記録を残せるため振り返りがしやすい。本校児童に適切な教科書である。
3	・児童が実生活と結びつけやすい教材が載っている。 ・通信機器を持ち始める児童がいる中で、インターネットについての注意喚起を促すページの作りが良い。 ・分量が児童の実態に合っている。
4	・本校児童の実態に合っていて、適切である。
5	・本校の子どもたちが考えるための情報や記事がまとまっている。
6	・単元のふりかえりがあり、学校として重点的に取り組んでいるふりかえりの力が生かせる。また、保健としての知識の習得だけで終わらず、健康に対する態度を問うことができる。
7	・学習の進め方が書いてあり、活動が分かりやすい。 ・学習の振り返り内容が明確で書きやすい。
8	・藤沢市 子ども110番の看板写真が使用されているため、子どもにとって分かりやすい。 ・自然災害 津波やハザードマップなどの写真が身近で、分かりやすい。
9	・書き込みスペースが大きく、児童にとって使いやすい紙面構成になっている。
10	・情報量が丁度良く見やすい。
11	・様々な特性の子どもたちがいる中で、取り組むべき課題が分かりやすくシンプルに整理されているので、理解が深まりやすい。
12	・記述欄が適切である。
13	・教科書とワークが一体化しており、教科書に書き込むことができる。 ・載せてある写真が本校の校舎や地域の道路と似ていて分かりやすい。
14	・学習の見通しを持って学べる単元構成が本校児童にとって適切である。また、教科書に書き込める量等が適切である。
15	・教科書に直接書き込めるスペースがあり、集中して学習できる。
16	・児童の実態に合う健康に関する情報が詳しく載っている。
17	・イラストが多く、書き込みの欄も多いので、ワークシートのように扱うことができ、本校の児童が作業しながら気づける仕組みになっている。 ・児童が主体的に考えられる工夫がされている。
18	・字の大きさが見やすい。直接書き込める箇所があり、学習しやすい。 ・注目させたい言葉の色が変わっていて、見やすい。見通しを持って、学習がしやすい。 ・本校の児童の実態から見て適切である。
19	・「自分で考える」「友達やみんなと考える」「身に付けたことを生かす」の3つのピースの組み合わせが1時間の基本となっていて、授業の流れがわかりやすい。
20	・イラストや写真が大きく見やすい。文字の大きさや量も適切。

令和6年度使用小学校用教科用図書調査書まとめ

小学校 外国語（種目：英語）

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけたところに「1」の数字が記入されています。

※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成							2.分量・装丁・表記等							3.英語の観点							4.本校の児童の英語や地域等の特性との関連										
	東香	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館		東香	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館		東香	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館		東香	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館					
1	1	1						1	1						1	1						1	1									
2	1	1	1	1	1	1		1	1	1					1	1	1					1	1	1								
3				1				1	1	1							1															
4	1			1				1			1				1			1														
5	1							1							1								1									
6	1			1	1			1			1				1			1				1										
7	1				1			1				1			1				1						1							
8			1		1					1		1			1		1					1		1		1						
9	1							1							1							1										
10	1		1					1			1				1				1			1										
11	1		1					1		1					1		1			1		1										
12	1							1				1			1							1										
13					1							1								1					1							
14	1		1	1				1		1					1		1															
15	1							1							1							1										
16	1	1	1					1	1	1					1	1	1					1										
17	1		1							1	1						1						1									
18	1					1					1	1					1	1	1						1							
19			1							1							1						1									
20		1		1	1						1	1							1					1								
21	1	1	1	1	1	1				1	1	1			1	1	1	1	1			1	1									
22			1		1	1				1		1					1		1				1		1							
23	1							1							1							1										
24	1							1							1							1										
25				1	1						1	1					1	1					1	1								
26					1					1							1						1									
27	1			1	1			1			1	1			1			1	1			1		1								
28	1		1					1		1					1		1					1		1								
29	1	1	1	1	1	1				1		1	1				1	1						1								
30	1							1							1							1										
31				1	1						1	1					1	1					1	1								
32					1							1						1						1								
33	1				1			1		1					1		1		1			1		1								
34	1							1							1							1										
35	1	1			1			1	1			1			1	1			1			1										
	25	7	12	11	17	4	0	0	22	6	13	11	14	1	0	0	23	6	12	9	15	4	0	0	20	3	10	4	12	0	0	0

その教科書が適切である理由	
3. 英語の観点	①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。 ②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。 ③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。
1	・内容が洗練されていて、活動に時間を沢山割くことができる。 ・日本語の説明が多く、理解が助けられる。 ・そのユニットで身につけたい内容がわかりやすく載っている。 ・コミュニケーションをはかる基礎となる資質や能力の育成ができるような各活動のバランスが良い。
2	・題材に学校生活や日常生活に則した場面が多く取り上げられているため、児童が学習内容を理解しやすく、また積極的に英語を使ってコミュニケーションしようと思えると感じた。
3	・他の国の文化に触れる単元があるため。
4	・これまでと同じ教科書なので、流れをすでに把握しており使いやすい。 ・記入するところがたくさんあるので、ワークシートを作る必要がない。 ・担任の先生でも進めやすいのが良い。 ・ワークシート合体型の教科書という印象で、教科書というよりワークという感じがある。 ・コミュニケーションの様子が前回に比べて減り、発表形式が多くなったように思う。
5	・「読む」「聞く」「話す」「書く」など、コミュニケーションの基礎となるアクションがバランスよく配置されている。 ・児童の興味を引くようなタイトルや題材が採用されている。また、世界や日本の文化紹介など、国際理解を深める題材を十分に扱っている。
6	・例えば「聞くこと」であれば、聞くポイントが記載されており、子どもが具体的に集中して課題に取り組みそうと感じる。 ・巻末のコミュニケーションカードも改良されており、実際の活動の中で、【思考力・判断力・表現力等】や【学びに向かう力・人間性等】の見取りをしやすい形になっているように感じる。
7	・学習活動ですぐに使えるカードがついていて、配慮されている。
8	・書くことの指導で四線が適切に配されている。書くスペースが大きく指導しやすい工夫がされている。4技能5領域の指導内容のバランスが工夫され、スモールステップで段階的に指導しやすい。 ・各単元末に、国際理解のページが設定されており、外国にいる同世代の子どもたちのくらしなどに触れているため、児童の興味関心を引き出すことが期待される。 ・他教科との横断的内容を意識されたページが多く見られ、様々な児童の関心をひく構成となっている。
9	・比較的軽い。 ・ピクチャーディクショナリーがA4でアルファベットが大きくて見やすい。 ・教科書の活動が多くなっている。担任がやるにはとてもやりやすくなっていると思う。
10	・なぞり書きやわかったことなど書く内容が多い。
11	・表現の幅が広がるような別冊絵辞書がついている。 ・アルファベットを書き込むための罫線、実線と点線が使用されていて見やすく、書きやすい。 ・国際理解が深まるような内容が写真、絵、クイズ形式で取り上げられていて、興味が高まりやすい。 ・二次元コードがついていて、学びを広げるコンテンツを利用できる。
12	・リスニングの問題が十分ある。 ・発表するための、セリフを考える記述欄があったり、外国の文化を知るための資料があったりと見やすく、分かりやすい。
13	・My Picture Dictionaryが使いやすい。 ・書き込みもしやすく、写真や絵が大きく見やすい。
14	・書くスペースの量が適切で、4技能をバランスよく育成することができそうである。 ・外国語活動で学んだことを生かせる場面が多く感じる。他国の生活や文化などを取り上げた教材により、児童が世界に興味を持てるように配慮されている。
15	・例えば「聞く」課題の際には、どのようなポイントでリスニングしたらよいか等の記載があり、具体的に学習に取り組みやすいように感じる。
16	・①「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「発表」など、その場で何をめあてにして取り組むのが明確で、子どもたちもその学習におけるゴールがイメージしやすい。 ・②子どもたちにとって興味関心を持ちやすい題材が設定されている。 ・③Unitごとに日本以外の国の様子や特徴をとりあげるなど、外国語の学習が国際理解へとつながるような構成になっており、配慮を感じる。
17	・海外の文化に興味を持てるようなページが設定されている。 ・様々な場面設定があり、児童が意欲的にコミュニケーションをとれる。 ・国語の学習(ニュース、環境問題等)との関連が感じられる。
18	・各学年の段階において総合的に判断したときに、文字の見やすさや各単元の情報量、4技能の習得に適したテキストであると感じた。まず、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」などの技能の育成のためのコミュニケーション活動が充実していること、そして、フォニックスなどの活動もしやすいテキストであると感じた。フォニックスは、中学校へ上がる前の英語学習の基礎であると考えられ、発音の仕方を理解する、使えるようになることで「読むこと」にもつながると考える。そのような点から、本冊は適切であると考えた。
19	・レッスンごとの分量が適切であり、書き込みもできるようになっているため、ワークシートをつくる必要がなく授業ができるよさがある。 ・ピクチャーディクショナリーが、使いやすい。
20	・外国の文化が分かる写真が多い。実際の言語の使用場面がわかりやすい。
21	・内容が整理され、児童にとってわかりやすい配置である。また、各単元の後半で、世界につながる内容があり、学びが広がっていきやすい内容になっている。
22	・レッスンの中で、実際に書き込みができるところが指導しやすい。 ・ディクショナリーがあるので単語の学習を補うことができる。
23	・①「書くこと」に重点を置いた構成となっている。また、単語を記載したものが別冊になっており、「書くこと」において、実際の授業の中で使用しやすい構成になっている。
24	・聞き取る時のポイントが書いてある。 ・ユニットの最後に、ふりかえりを記入するところがある。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・内容が洗練されていて、自由度が高い。
2	・発問や課題の枠がはっきりと示されており、児童にとって使いやすい教科書である。また、取り組むべき課題や児童の考えを記入するスペースも他者の教科書と比べて多いため、授業で活用しやすいと感じた。
3	・本校の児童にとって慣れていることは重要だから。
4	・イラストや写真が多く使用されており児童の興味を引きやすい装丁になっている。 ・歌やチャンツなど英語の表現を楽しく覚えられる工夫も目標達成の手助けになると考えられる。
5	・世界地図や日本地図が、Picture Dictionaryの中に記載されており、より世界への意識を高めらるのではないかと。 ・巻頭に「文の書き方」のポイントが掲載されており、参考にしやすい。
6	・学習活動に授業時間を使えるように、教材がついており、児童が学習に集中できる。
7	・児童が自然と「聞く」、「話す」活動を通してコミュニケーションが取れるように構成されている。 ・「書く」活動が、抵抗感無く進んで行えるように工夫されている。
8	・吹き出しがあって、自分事として捉えやすい。Picture Dictionaryの参照ページ記載があり、既習事項をいかしやすい。 ・My Picture Dictionaryにより、自分が伝えたいことを自ら調べ、書き留められるように工夫されており、自分事として自ら学ぶ力の育成が期待できる。
9	・文字(アルファベット)の大きさが大きく見やすい、フォントが読みやすい。 ・アルファベットを書き込むための罫線に、実線と点線が使用されていて見やすく、書きやすい。また、書き始めの位置に点が打たれていて取り組みやすい。
10	・イラストや写真が多く、興味を持って授業に臨める。 ・教科書に書き込むことができるのがいい。
11	・字が多すぎず、イラストや写真の量も適当で、児童にとって読みやすい教科書である。 ・My Picture Dictionaryは、自分で単語を学びたい児童や調べたい児童にとって使いやすい教材である。
12	・Picture Dictionaryに世界地図、日本地図があるのが良い。 ・巻頭に、『文の書き方』のポイントがまとめられており、子どもが参考にしやすい。
13	・基本的な会話文や単語などを学習したあとに、カードを送り合ったり尋ね合ったりと、子どもたちがコミュニケーションを積極的に図ることができるように単元が構成されている。 ・「聞きたい」「やりたい」と思う活動が設定されているので、子どもたちが自然に主体的なコミュニケーションをとれるようになっており、本校の児童にとって適切であると考えます。
14	・1ページ内の情報量が適切である。 ・書き込み欄が大きく、多く、児童にとって使いやすい。
15	・target sentenceがわかりやすく、「書く」「読む」、フォニックス等の活動がしやすくなっていると感じる。特にフォニックスは、中学校前の準備学習としてなくてはならないものであり、読むことや英語の発音の仕方がわからない児童の学習に適していると感じる。
16	・サイズが大きいので、記入がしやすい。罫線も多いので、書きやすい。
17	・アルファベットの学習、基礎的な事項が各単元の中に入っており、基礎事項の定着がしやすくなっている。
18	・内容を深めて詳しく学習できる。
19	・1ページ当たりの情報量が少なく簡潔に整理されて記載されており、本校の児童の実態に対して適切であると考えます。
20	・各ユニットのデザインが統一されていて、ユニットが変わっても、どこに何が書いてあるか理解しやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 英語の観点	
①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。 ②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。 ③国際理解を深めることにつながるよう、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を使って、聞く、読む、話すをバランス良く取り上げることができる。 日本の特色や国際的な文化理解が深められる資料や構成になっている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 単元の流れや各学年の学習内容は、発達段階に沿っておりとても良い。 word bookがあるのが良い。
3	<ul style="list-style-type: none"> 写真、イラストが多く、児童の興味関心を引きやすい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ストーリータイムがあって聞いて楽しむことができる。 学年に合った漢字を使用している。
5	<ul style="list-style-type: none"> 3・4年とのつながりが述べられている。やり取りの仕方の例が示されている。 ライティングが多めである。文字指導が充実している。 Word bookが学年ごとにある。 写真が多く、国際理解につながる。
6	<ul style="list-style-type: none"> 表現の幅が広がるような別冊絵辞典がついている。 二次元コードがついていて、学びを広げるコンテンツを利用できる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ①単語を記載したものが別冊になっており、「書くこと」において、実際の授業の中で使用しやすい構成になっている。また、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」についてバランスよく記載されている。
8	<ul style="list-style-type: none"> 目次に記載されている「目標」の示し方がわかりやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた学習の積み重ねを意識した内容になっている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 1ページ当たりの情報量が少なく簡潔に整理されて記載されており、本校の児童の実態に対して適切であると考えられる。書き込み式の部分の量が適切である。
3	<ul style="list-style-type: none"> 児童が教科書に直接書き込めるので、使いやすい。 イラストや写真の縁に枠があり、周りと区別しやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 英語の観点 ①「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。 ②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。 ③国際理解を深めることにつながるよう、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
1	・4コマ漫画のように説明が工夫されている。デモンストレーションがやりやすい4コマ漫画がある。
2	・6年生の単元前半(1学期)の学習で、主語をWeとしている内容が多い。 ・マイディクショナリーが付属している。
3	・【思考力・判断力・表現力等】に関する活動が豊富に盛り込まれていて、授業の際に活用しやすいのではないかと想像する。
4	・学習量が良い。 ・二次元コードで問題にチャレンジすることができる。 ・見やすく、すっきりしている。
5	・3・4年の復習から始まっている。 ・Can-do listが活用できる。 ・書く内容が多い。
6	・やりとりの簡単な例がどのページにも示されている。さらに活動したことをメモする欄もあり、活動の必然性があるため使いやすい。また、文化自然など多岐にわたる内容に触れられている。 ・世界の国々に関して、既習事項を活用して英語と向き合えるように工夫されている。
7	・言語活動のアイデアが充実している。 ・音声と文字がバランス良く掲載されている。また、イラストや写真も学習の補助になっている。
8	・表現の幅が広がるような別冊「My Dictionary」がついている。 ・二次元コードがついていて、学びを広げるコンテンツを利用できる。
9	・語句、基本表現の欄が充実している。 ・Fun Box がおもしろい。 ・songリストがたくさんある。 ・PartごとのGoalが明確。
10	・別冊のMy Dictionary P.44のがわかりやすい。子どもに提示しやすい。 ・知識だけでなく、【思考・判断・表現】の観点に関する活動が多く設定されているように感じる。
11	・各学年の段階において総合的に判断したときに、文字の見やすさや各単元の情報量、4技能の習得に適したテキストであると感じた。まず、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」などの技能の育成のためのコミュニケーション活動が充実していること、そして、フォニックスなどの活動もしやすいテキストであると感じた。フォニックスは、中学校へ上がる前の英語学習の基礎であると考えられ、発音の仕方を理解する、使えるようになることで「読むこと」にもつながると考える。そのような点から、本書は適切であると考えた。
12	・ディクショナリーが別にあるため、学習活動に役立つ。 ・絵が見やすいため子どもが取り組みやすい。
13	・①単語を記載したものが別冊になっており、「書くこと」において、実際の授業の中で使用しやすい構成になっている。また、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」についてバランスよく記載されている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・本校の子ども達が、主体的に活動できそうだから ・6年生の教科書にも、へボン式のローマ字がある。
2	・4線の幅がどれも同じであるため、子どもがアルファベットの書き取りを行う際に混乱がなくて良い(多くの教科書が、第2線と第3線の間の幅が広い)。
3	・学ぶ内容とその時間に行う活動が見やすく表示されている。比較的、学習内容が分かりやすくてよい。
4	・Let's speakやLet's talk などアウトプットの活動が多くあり、本校の児童に合っている。 ・情報量が適切である。
5	・市内中学校での学習によりつながりをつけることができる。
6	・子どもたちの活動が多く、作業もしやすい構成になっている。また、授業の流れの見通しが持ちやすいようどの単元でも同じ構成になっておりわかりやすい。外国につながるの子どもが多いという実態があるが、外国の文化に触れるきっかけになるページもあるため使いやすいように感じる。
7	・海外にゆかりのある児童も在籍し、英語が身近だと感じる地域である。 ・経験と本書での学習を通して、より自主性が育まれると期待できる。
8	・振り返りの記述まで教科書内で完結するような作りになっており、他のプリント等を用意する手間も削減できる、かつ子どもにとって扱いが煩雑になりにくい。 ・4線の幅がすべて同じアルファベットが使用されており、子どもが混乱しにくいように感じる。(最近では、第2線と第3線の間の幅が広くとってある教科書が多い。)
9	・絵がとても見やすく、目標がしっかりと提示されている。また、単元ごとの語彙の量も児童の学習の負担にならない程度の量である。
10	・1ページ当たりの情報量が少なく簡潔に整理されて記載されており、本校の児童の実態に対して適切であると考える。 ・書き込み式の部分の量が適切である。

その教科書が適切である理由	
3. 英語の観点	
①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
③国際理解を深めることにつながるよう、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
1	・イラストや写真が多いという点はわかりやすい。 ・活動例や場面設定がきちんと例示されている点はわかりやすい。
2	・ポインティングゲームなど実践的なものが多い。
3	・写真、イラストが見やすい。ワークシートと補助カードが活用しやすそう。
4	・写真や表現がわかりやすく、問題が、書き込みやすい。
5	・イラスト中心で、作りがとてもシンプル。情報量が多すぎず、ちょうどいい。 ・巻末にプレゼンテーションカードが付いているので、授業で使用しやすい。
6	・問題が取り組みやすい。
7	・ワークシートが多めである。 ・SDGsを意識した内容やコラムが多い。 ・子どもが興味を持ちやすそう。マンガが多い。 ・まなびリンクの音声映像教材が充実している。
8	・写真が多く、異文化への親しみがわきやすいと考えられる。
9	・振り返りの仕方が分かりやすく、簡単。
10	・コミュニケーションを図る活動が多い。また、国際理解を深められるような写真が多く載っている。
11	・見やすく分かりやすい。分量もちょうどよい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・情報量が本校児童に適している。
2	・机の上に置きやすい大きさでよい。書き込みやすく、活動につながりやすい。
3	・活字が少なく、イラストがつまずきのある児童にとって助けとなって良い。
4	・活動が絞られているため、取り組みやすい。

その教科書が適切である理由	
3.	英語の観点 ①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。 ②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。 ③国際理解を深めることにつながるよう、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。
1.	文字よりもイラストが多い英語の教科書の中でも、比較的に見やすく、読み取りやすく、他の項目に目移りしないと感じた。
2.	写真が多く、大きい。子どもが興味をもちやすい。 サイコロトークがある。
3.	コミュニケーションに重点を置いた内容である。 大切なポイントが「いつもたいせつ」で大きく書かれていたり、場面設定が具体的に例示されていたりする点が非常にわかりやすい。 絵と文字と一緒に書かれているのがわかりやすい。 単元の内容と順が発達段階・年間行事と合っていて良い。例えば6年は1学期は自分、自分たちのことについて話す、2学期は相手を意識した内容や合科的な内容。Unit7は夢宣言の内容だが、新年の抱負と内容が似ていることもあり、3学期の頭に合わせられる。また、日本の文化に着目した内容が載っているのも興味深い。動物との共生の内容では、I want～で動物の置かれている状況を表現しているところが良い。 既習事項の記載も有難い。 ピクチャーディクショナリーも付属していて良い。 世界の様子に日本語が書かれていて、子どもたちが読んで理解できる。
4.	写真がわかりやすい。 早口言葉など、楽しく学習できる工夫が多くある。 段階的に構成されている。
5.	適量のワークシート形式がよい。写真が多く、国際理解につながりそう。
6.	ピクチャーディクショナリーがついていることが良い。
7.	英文が多く表示されており、この内容を全て学習することができれば、かなり高い力を身につけることが期待できる。 巻頭のCan doリストによって、児童自らの力を自己評価しやすくなっている。
8.	コミュニケーションを図る時の注意点、スマイル、アイコンタクト、クリアヴォイス、レスポンスなど、大切にしたいことが明確に書いてある。
9.	イラストが多いので、視覚的に関心をもたせやすい。 ピクチャーディクショナリーが、教科書にはさめるのが良い。また英単語がユニット順、動詞の形等、指導しやすくと感じた。 日本語の量が比較的に少なく、英語に注目できると感じた。 教科書の活動が多すぎず良い。1学期分の中に、「発表」と「やりとり」があり、良い。 6年生は世界を調べる内容が入っていて良い。
10.	英語でのコミュニケーションが多い。振り返りなどの視点が充実している。 やりとりの大切さの国語とのリンクが多い。他教科でも生かせる。 目標設定やゴールがわかりやすい。 言語に関する意識が高い。 発信する力を伸ばせそう。
11.	各unitで重点的に扱う領域がアイコンで示されていて分かりやすく、指導と評価の一体化を進めるのにも適している。 学習の流れが分かりやすくシンプルな紙面構成になっている。 国際理解に関する動画で、児童の視野を世界に向けさせる工夫がされている。 言語の背景にある世界の文化に対する視野を広げるための配慮がなされている。 国際理解に関するQRコンテンツが豊富に用意されている。
12.	「いつもたいせつ」のページで、学年の目標(話すこと・聞くこと・読むこと・書くこと)について確認することができる。 一つの観点到片寄ることなく学習が進められるような構成になっている。
13.	4技能のバランスが適切である。「話す」活動において、使いたい語彙がイラストとともに載っており、英語の音と文字が無理なくつなげられる。紙面の構成が、Let's tryと似ており、児童がスムーズに教科に進むことができる。 各単元で、単元に沿った言語内容を用いた世界の紹介があり、5年から日頃の言語活動の中で、世界の文化に興味を持つことが出来る。
14.	①教科書の中で、今取り組んでいる活動が「聞くこと」なのか「話すこと」「書くこと」「読むこと」をアイコンで表示しており、子どもたちも何をめあてとして学習しているのかが理解しやすい。 ②子どもたちにとって興味関心を持ちやすい題材が設定されている。 ③その学習のまとめのページで、外国の挨拶や生活などをとりあげており、外国語の学習が国際理解へとつながるよう単元構成が工夫されている。
15.	大切なポイントが「いつもたいせつ」で大きく書かれていたり、場面設定が具体的に例示されていたりする点が非常にわかりやすい。 日本の文化に着目した内容が、多く掲載されている。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・本校の児童にとって、写真が興味をそそりやすい。
2	・FLTに親しみを持って接する児童が多い。 ・本書は場面設定がわかりやすく例示されており、FLTに向けて日本の文化を紹介したり、日本の文化を改めて見つめ直したり、コミュニケーションに重点を置いて学習を進めたりできる内容があるので、児童の実態に合う。 ・合科的な内容も無理がなく、むしろやってみたい！と子どもたちが見通しを持ちやすいであろう内容である。
3	・情報量が本校児童に適している。
4	・進んでコミュニケーションを図ることが苦手な児童にとっては、活動やワークシートが適量あって学習内容を定着させた上で、コミュニケーションをとれるのがよい。
5	・単元ごとの大切なポイントが明確でわかりやすい。
6	・キーセンテンスが、ステップごとにページで分けられており、本時のめあてがわかりやすいので、本校の児童に適切と感じた。
7	・unitは、Hop→step1→step2→jumpの順で見開きごとに構成されている。 ・授業の流れがそのまま紙面化されていてわかりやすい。 ・児童も見通しをもちながら学習を進めることができるため本校の児童の実態にあっている。
8	・日本語と英語のバランスが良く、児童が学習を進める上で取り組みやすい。 ・単語カードが文づくりのときに使いやすいような表現になっている。
9	・視覚的に、何をすればよいかわかりやすい。 ・活動量も適切。6年では、SDGSの観点から動物を紹介する単元もあり、児童の興味関心に見合っている。 ・個々の能力に適した指導がしやすい。Picture Dictionaryが取り外しができて、管理しやすい。
10	・その学習のゴールがしっかりと設定されているので、そこに向かって主体的に学習を進めることができる構成になっている。 ・本校の児童は、学習の中でゴールとなる「めあて」を意識した学習を進めているので、この教科書の構成は本校の児童にとって適切であると考えられる。
11	・絵が見やすく、target sentenceがわかりやすい。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の習得における活動も充実している。 ・英語に苦手意識を持っている児童でも、それぞれの単元において、文字の量もちょうどよく、情報量が適切であると感じた。
12	・場面設定がわかりやすく提示されているため、児童がその場面を想像しながら学ぶことができる。 ・コミュニケーションに重点を置いて学習を進められる内容であるため、FLTに親しみをもつ児童が多いため本校の実態に適している。

その教科書が適切である理由	
3. 英語の観点	①「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。 ②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。 ③国際理解を深めることにつながるよう、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。
1.	各Unitの見出しにキーセンテンスが載っているのはわかりやすい。
2.	・ディクショナリーも含めて、1冊にまとまっていて良い。 ・5・6年で共通したものが載っていて良い。 ・イラストと色合いに温かみがある。
3.	・学習内容の配列に工夫がある。 ・やり取りの仕方や、応答についてまとめられている。 ・なぞり書きや自分の考えを書く内容が多い。
4.	国際理解を深めるという観点で、様々な国が取り上げられている点が良い。
5.	・巻頭に世界地図を掲載してくれているのが、親切。 ・My favorite○○is ●●.の表現を掲載しているのが良い。実際の会話場面でよく使われる表現である。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	

令和6年度使用小学校用教科用図書調査書まとめ
 小学校 特別の教科道徳 (種目:道徳)

各学校が、各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に○をつけたところに「1」の数字が記入されています。
 ※学校順は無作為に並べてあります。

調査研究の観点	1.内容と構成							2.分量・装丁・表記等							3.道徳の観点 ①道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「実践する道徳」につながる工夫や配慮がされているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。 ③問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がされているか。							4.本校の生徒の突感や地域等の特性との関連																			
	東香	教出	光村	日文	光文	学研		東香	教出	光村	日文	光文	学研		東香	教出	光村	日文	光文	学研		東香	教出	光村	日文	光文	学研		東香	教出	光村	日文	光文	学研							
1			1		1					1		1			1		1		1			1		1		1		1		1		1		1							
2			1						1		1						1							1																	
3	1		1							1		1	1				1						1		1				1		1		1		1						
4			1							1		1					1						1		1																
5	1		1			1			1				1			1	1						1		1				1		1		1		1						
6		1	1			1						1					1								1											1					
7			1									1					1							1													1				
8			1									1					1							1													1				
9			1		1							1		1			1		1					1				1									1				
10			1	1								1					1		1					1														1			
11	1		1									1					1							1														1			
12			1									1					1							1															1		
13			1									1					1							1															1		
14			1									1					1		1	1				1				1		1									1		
15	1		1							1							1							1															1		
16	1		1								1		1			1	1							1															1		
17			1		1								1				1		1					1															1		
18			1										1				1							1															1		
19	1				1	1				1			1		1		1	1	1				1		1		1		1		1		1		1		1		1		
20	1	1	1		1					1		1		1			1		1				1		1		1		1		1		1		1		1		1		
21	1	1	1	1						1	1	1				1	1	1					1	1	1		1		1		1		1		1		1		1		
22	1		1							1		1				1								1																1	
23			1										1				1							1																1	
24	1		1									1					1							1																1	
25		1	1								1	1	1				1							1															1		
26		1	1		1	1				1	1	1	1	1	1		1		1	1				1		1		1		1		1		1		1		1		1	
27	1					1				1		1				1		1						1		1		1		1		1		1		1		1		1	
28					1								1											1															1		
29	1	1	1	1	1	1						1												1															1		
30			1	1								1					1		1					1																1	
31	1	1	1	1	1					1	1	1	1	1		1	1	1					1	1	1		1		1		1		1		1		1		1		
32	1	1	1	1	1	1				1	1	1	1	1	1		1	1	1				1	1	1		1		1		1		1		1		1		1		
33			1		1							1		1										1																1	
34			1									1					1							1																1	
35	1	1	1	1	1	1						1		1			1		1				1		1		1		1		1		1		1		1		1		
	15	9	32	5	11	8	0	0		10	7	30	5	11	10	0	0					8	6	31	4	9	8	0	0					10	3	31	4	6	7	0	0

その教科書が適切である理由	
3. 道徳の観点 ①道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる工夫や配慮がされているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。 ③問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がされているか。	
1	・発問が簡潔で、考えやすく、深く考えることができる。
2	・学習課題の持たせ方があまり押しつけがましくなく、児童の実態に合わせ活用しやすいと感じた。
3	・表紙の「えがおもことばだよ」など学年ごとにかいてある言葉がとてもよかった。 ・視覚的にわかりやすく、学習に取り組みやすい。
4	・コンピュータで話を聞いたり、考えを書くことができる。高学年にはよい。
5	・学年に応じた、発達段階を踏まえた構成になっており、自分ごととして考えられる構成になっている。 ・問題解決学習や体験的な学習など、多様な指導方法により、身近な出来事として考えることができると感じた。
6	・「考えよう」では教材の内容から考える発問とこれまでの自分をふり返る発問の2つに絞られていて、視点がわかりやすい。 ・「つながる・広がる」があることで、教材内でとどまらず、考えを深めていける。
7	・写真が見やすい。 ・巻末の「かんがえるためのツール」では、子どもたちが自分の心の中を見つめるためのツールが例示されている。思考の共有・見える化を図ることで、友だちとの議論を深めることができる。 ・「あなたはどうか」と自分の問題として考えられる発問になっている。
8	・タブレット等、子どもたちにとって身近になっているものについて考えられる機会が多めに取り上げられている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・本校の学校生活とつながるような内容が多く、児童が自分のこととして考えやすい内容になっている。
2	・本校の児童は内容の理解力や考える力が高い子が多い。 ・東巻の教科書では、学びをさらにつなげ、広げることができるよう構成にされているため、本校の児童に適切である。
3	・発問が簡潔で、考えやすく、深く考えることができる。
4	・イラストが多くて、きれいで視覚的にわかりやすい。 ・イラストで場面を想像しやすい。
5	・コンピュータなどを活用し考えることができるため、児童にとってあっている。
6	・今まで学習してきた道徳的な内容をもとに学習がスタートするため、主体性をもって道徳の学習に取り組めるため、適切であると考えます。
7	・シンプルな教材構成になっており、学習内容がわかりやすい。
8	・本校の一年生の学年の実態に合った内容が多い。字の大きさもちょうどよい。
9	・写真が見やすく、興味をもつことができる。 ・「かむかむメニュー」は、本市の給食にも取り入れられており、児童自身の健康や安全を意識する食育とも関連している。
10	・文字が見やすい。

その教科書が適切である理由	
3. 道徳の観点 ①道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる工夫や配慮がされているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。 ③問題解決的な学習や道徳的行動に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がされているか。	
1	・単元内容が各学年に合っている。自分に当てはめて考えやすい内容になっている。
2	・情報量が多すぎずわかりやすい。
3	・【学びの手引き】が充実しており、児童が答えたい発問が掲載されている。 ・各ページに【自己評価欄】があり、児童なりの表現で記述することができる。 ・デジタル機器を活用した学習への配慮が充実している。【まなびリンク】の掲載内容が豊富。
4	・「考えよう、深めよう、つなげよう、振り返り」の流れにそって、考えることができる。 ・「問題を解決しよう」や「やってみよう」の、ページがあることで多様な学び方で物事を考えることができる。
5	・実生活に沿った内容であるため、児童が自分の生活を振り返りやすい。
6	・学びの手引きの中に、「やってみよう」の項目が設けられている。「やってみよう」では、動作化や役割演技を通して、道徳的価値を深く理解できるように工夫されている。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・本校は外国籍の児童が複数おり、日本語を読み取ること難しさを感じている児童がいる。教出はデジタル機器を活用した学習への配慮が充実しているので、内容を理解する手助けとなる。 ・【まなびリンク】の掲載内容が豊富なので、児童の特性にあった方法で教材を読み込むことができる。
2	・UDフォントを使用しており、文が読みやすい。
3	・「わたしの町のあんこやさん」では、本市の各地域でつづいているお店や、これからも続いてほしいお店と関連付けて考えることができる。

その教科書が適切である理由	
3.	道徳の観点 ①道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる工夫や配慮がされているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。 ③問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がされているか。
1.	・考えること、話し合うことがまとめてあって扱いやすい。 ・5年③「夢を実現するためには」、など子どもたちにもわかりやすく興味を持てる題材が多い。
2.	・登場人物の気持ちに共感しながら考える設問と、「あなたなら〜」と、自分自身が直接的に道徳的価値に関わることのできる設問のバランスがよいと考えたため。
3.	・挿絵が豊富で、挿絵から内容を考えることができる。 ・「考えよう、話し合おう」の欄が、他の会社とくらべわかりやすい。
4.	・単元の内容が各学年の児童に合っていて、児童が自分だったらどうするか？を考えやすい内容になっている。
5.	・どの学年も「自分について」「相手について」「社会との関わり」「命、自然との関わり」の4つで構成されていて、3つの道徳の観点についてバランスよく学び考えられる内容になっている。
6.	・児童の議論の助けとなるような問いが段階的に表記されている。また、発展的な学びにつながる内容も盛り込まれているため、より児童の興味や関心を高めることができる。考える。 ・物語の登場人物の心情について考えるだけにとどまらず、自己を振り返って、自分を見つめて考えられるような問いの工夫がある。
7.	・児童が自己をみつめる際に多面的に考える学びの工夫がされていて、児童が考えやすい。
8.	・自分の生活に結びつけて考えることができ、内容も適切である。 ・児童が、自分事として捉えやすい教材が多い。学びのあしあとが、シンプルで使いやすい。 ・児童が自分の経験と結びつけられるイラストや内容だと思う。 ・文章が考えさせるような表現になっている。 ・文章の量が適切で児童が読み切れるように工夫されている。
9.	・学びの記録を巻末に記録できるようになっており、自らの考えや変容が捉えやすくなっている。
10.	・巻末の振り返りシートが使いやすい。 ・イラスト、写真がわかりやすい。
11.	・各内容を多面的、多角的に捉えられるような工夫がされている。 ・それぞれの教材が、自分自身の問題と捉えられるように配慮されている。
12.	・学年に応じた構成や内容になっている。現代的な課題にも触れられている。
13.	・学習の流れとして、「考えよう・話し合おう」→「つなげよう」となっており、課題を自分事として捉えやすい。また、「つなげよう」の内容に具体性があり、日頃の生活につなげやすいようになっている。
14.	・他教科との関連が2年生より上の教科書に書かれているところがとてもよい。 ・他教科との関連が意識されている。
15.	・「なんだろうなんだろう」など、考えるヒントになるページがいくつかあり、学年に適した内容になっている。
16.	・絵やイラストの色遣いがはっきりしており、児童に分かりやすい。
17.	・文字の大きさ、文体がよい。イラストがやわらかい。ただ、発問に国語の読解のようなものがあるのが気になる。
18.	・全学年を通して、教材末に学習のてびき「考えよう・話し合おう」が設けられている。自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するために話し合ったりするなど、多面的・多角的に考えられる発問が置かれている。 ・全学年の教材冒頭に、キャラクターによる児童への呼びかけの言葉が示されており、主体的な姿勢で学習に取り組むことができるよう配慮されている。
19.	・めあてに迫るために考えてほしい問いが二重丸になっているため、話し合うことが分かり、議論しやすい。
20.	・もくじ「道徳のみちあんない」では、1年間の学びを見通せるような紙面となっている。 ・「『考える』じゅんぱたいそう」や「話し合うためのこつ」というページがあり、議論する道徳への工夫がなされている。家の人といっしょに話し合うページも充実している。 ・1時間ごとの振り返りでは、記録シールが付属されており、児童の興味関心を引く配慮がされている。
21.	・道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながるように、発問等が書かれている。また、題材が児童に身近なものなので話し合いがしやすい。
22.	・各単元の最後に、グループで考えるためのヒントが掲載されているため、話し合いがスムーズに進むと考えられる。また、個人で考えを深めるための工夫もされている。例えば答えが複数考えられる内容だったり、答えが思いつかない内容のものが多数含まれていた。一人一人がしっかりと意見を持てるように、授業を進めることがしやすい教材が多い。
23.	・学習の手引きによって、読みやすくなっている。 ・写真や、イラストなどが多く使われており、多面的に考えることができると感じた。 ・教材とコラムの組み合わせによって、より深く課題について考えることができると考えた。
24.	・各学年の発達段階に応じて「みんなで気持ちよく話し合うためのコツ」が最初ページに記載されており、年間を通して、議論する視点を意識することができる。 ・「考えよう」「話し合おう」「つなげよう」の流れが、自己を見つめるきっかけとなっている。
25.	・考える道徳や議論する道徳ができる授業に組み立てやすくなるように、めあてや発問が分かりやすく、工夫されている。
26.	・道徳感覚を養える問いがつけられている。 ・導入で、通年の指標となるような観点がまとめられており、見直しをもって学習に取り組める。
27.	・子どもが考えることが明確。価値に迫る発問が分かりやすい。現状使いやすく、物語も身近で考えやすい。
28.	・「役割演技」「カードを使った交流」「話し合いに役立つ言葉の紹介」「思考ツール」など、様々な学習活動のヒントが記載されており、豊かな学びにつながる工夫がされている。 ・発問がスモールステップでよい。 ・単元前の導入発問が載っていて、児童が見直しもてる。
29.	・慣れ親しんでおり、実際に考えることができるようなコンテンツも含まれている。
30.	・子どもたちが主体的に道徳を学んでいけるように、対話の楽しみ方、考え方のヒントをが示されている。対話の力を育てていけるような教材が段階的に組み込まれている。 ・1,2年は学期ごと、3〜6年は1年間を1枚で見渡せるデザインになっていて、成長や変化を確認することができる。
31.	①教材に関する内容項目が文字ではなくイラストで示されているため、自由な議論に繋がりがやすい。 ②「考えるヒント」、「学びの準備」のページがあることによって、考えが浮かばない児童の手助けになる。 ③学んだことを通して、実際に活動してみる体験が取り入れられている。

4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ふきだしなど自分の考えを表現する方法が沢山掲載されている。 ・見やすい、ユニバーサルデザインに配慮されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に児童が直面している場面(友だちとのトラブルや学級での課題)が教材文の内容として取り上げられているものが多く、本校の児童の実態により合っていると感じた。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも考えよう見つけようの題材が、本校の児童がよく考えてくれそうな内容になっている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・採択時から使用しているため児童も使い慣れていると考えるため。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の行事や地域性とながらうような内容もあり、児童が興味を持って考えやすい内容となっている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・本書の特色の1つである「対話から生まれる『気づき』を楽しむ」が、本校の研究テーマに沿っている。また、イラストや写真が多く、見やすい構成となっていて、本校の児童に適している。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の児童は内容の理解力や考える力が高い子が多い。 ・光村の教科書では、発展的な学びにつながる項目も盛り込まれ、また、二次元コードからさらに詳しい資料を閲覧できるようになっていることから、本校児童に適切であると考える。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全や公園の使い方など、児童が実際の生活で生かしやすい教材が載っている。 ・行事や学級での過ごし方など、児童の経験と結びつけられる教材が載っている。 ・文章や挿絵が見やすく読みやすい。 ・児童が読み切れる文章量になっている。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・字が読みやすい。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技など多様な学習活動が提案されている。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の始まり・導入において、学習に入りやすくなる投げかけが書かれており、課題を捉えやすくなっている。見通しが持ちやすい。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいなイラストが多く、視覚的に興味をひく。 ・イラストが多く、どの子でも興味を持つことができる。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に適した内容や量で、取り組みやすい。本校の児童にあった教科書であると感ずる。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい文章や簡単な表記、児童の興味を引くイラストなどを豊富に取り入れている。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動、学級会、給食、遠足、保護者参観など多くの学校で行われている活動や行事を題材とした教材が随所に配されている。 ・教材配列も、こうした行事が想定されている時期に扱うことができるよう配慮されている。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさ、文体が適切で、視覚的に理解しやすい。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・文の量が丁度良い。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は外国籍の児童が複数おり、日本語を読み取ることに難しさを感じている児童がいる。 ・光村は写真やイラストが大きく、視覚的に興味関心をひく体裁である。 ・学習上支援が必要な児童にとって紙面全体が読みやすく、分かりやすい構成となっている。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・分量、装丁、表記等、児童が読みやすいものになっている。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み取る力、問題解決をする力が弱い児童が多い。わかりやすい絵や図が多く使用されているため、内容がくみ取りやすい。素直な児童が多いので、ストレートに物事を考えやすいが、話し合いにより深く物事を考える力をつけさせたいので、話し合いがしやすい教材が多く含まれている教科書を使用したい。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちとのやりとりを通じて、関わりを大切にすることが本校の児童に適切であると考える。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・「演じて考えよう」では二次元コードで見本を見ることができるので、児童が安心して取り組める。 ・文章ではなく、マンガのように読める教材があり、児童が興味をもって参加できる。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科でも使われているので、親しみやすく、読みやすい。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・一つひとつの教材の文章量やイラストがちょうどよく、児童にとって考えやすい。 ・児童にとって使い慣れたスタイルのため、安心して使える良さがある。 ・本校の教育課程や季節にあった内容の配列になっているため、取り組みやすい。
25	<ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすい内容で、子どもたちも進んで読める。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・「いのちをつなぐ輝」では、ウミガメの保護について触れている。本市は海に面し、水族館等で同様の活動を進めているため、児童が保護活動を身近なこととして考えやすい。
27	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れ親しんでおり、使いやすい。
28	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年ではコメントを書く欄があり、一人ひとりの考えが見取りやすく設定されているため良い。
29	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとの振り返りを記録する折込「学びの記録」があり、学びを振り返ることができる。 ・各学年に1か所、絵本作家のヨシタケシンスケさんによる書きおろし「なんだろう なんだろう」を掲載されていて、大人でも悩んでしまうようなことについて、楽しみながら考えることができる。
30	<ul style="list-style-type: none"> ・1ページの文章量や行間が見やすく、児童が集中して学習に取り組むのに適切である。また、イラスト等も効果的に配置されていて、児童の興味関心を引きやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 道徳の観点 ①道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる工夫や配慮がされているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。 ③問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がされているか。	
1	・学びの振り返りのために「道徳ノート」が別冊としてついている。児童自らの考えや変容を捉えやすいだけでなく教員も評価がしやすい。
2	・学習の流れとして、「考えよう」→「つなげよう・生かそう」となっており、課題を自分事として捉えやすい。また、「考えよう」の内容は、答えが一つではない課題になっており、議論する道徳になるような工夫がある。
3	・考えるべき論点がしぼられているため、一つひとつの問いを広げたり深めたりしやすい。
4	・ノートがついていて、まとめやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・各学年の発達段階を考慮して「考えを深めるページ」があり、いじめ未然防止等のための話し合い活動がしやすくなっている。
2	・学習の始まり・導入において、学習に入りやすくなる投げかけが書かれており、課題を捉えやすくなっている。見通しが持ちやすい。
3	・別冊のノートがついているため、児童が学習に取り組みやすい。
4	・道徳ノートの活用により、子ども達の気持ちの変容が見やすい。

その教科書が適切である理由	
3. 道徳の観点 ①道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる工夫や配慮がされているか。 ②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。 ③問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がされているか。	
1	・文字が大きく読みやすい。 ・話し合いのポイントが書かれていてわかりやすい。
2	・使い慣れているので、これまでの教材研究が活かされる。マンガ風で、児童が親しみやすい題材がある。
3	・学習の流れとして、「考えよう」→「つなげよう・生かそう」となっており、課題を自分事として捉えやすい。
4	・レイアウトのバランスが程よかった(文章とイラストが交互に現れているなど)。 ・児童の興味を引くような工夫が豊富で、授業に入りやすい印象を持った。
5	・資料の一つひとつに、内容項目に対するメインテーマが書かれていて分かりやすく、導入から展開、終末までの流れがはっきりとしているので、学習を進めやすい。 ・問題解決的な資料や、役割演技などの体験的な学習の取り組み方も丁寧に説明されていて、教科書を参考に多面的・多角的に考えたり、内省したりすることができるつくりになっている。
6	・発問がたくさんあり話しやすい。答えが1つではない課題を考えることができる工夫がされている。
7	・各学年の発達段階に合わせて、「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」が最初のページの方に掲載されており、年間を通して議論する視点を意識することができる。 ・考えよう・話し合おう・つなげようの流れが自己を見つめるきっかけとなっている。
8	・物事を多面的・多角的に考える学習になるよう、発問が丁寧に順序立てて出されている。
9	・内容が把握しやすく、考えを深めることができるから。 ・「話し合ってみよう」という発問が多く、多面的・多角的に考えられる。 ・単元の初めが必ず右のページから始まっていて見やすい。
10	・学びの足跡の記入欄が、振り返りを通して児童が授業の中でどのように気持ちが変わったかがわかりやすく、自己を見つめるという点で適している。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・児童が好きな絵本が題材となっており、親しみやすい。
2	・児童が親しみやすい教材が多い。
3	・わかりやすい文章や簡単な表記、児童の興味を引くイラストなどを豊富に取り入れている。
4	・実際の学校生活に近い場面設定がされている資料が多く、登場人物の行動や心情を分析的に考えたり、投影的・共感的に考えたりと多様な展開で学ぶことができるように工夫されている。そのため、児童の実態に合わせた活用ができると考える。
5	・イラストが多く、全体的に明るい色合いで扱いやすい。
6	・文字や絵が見やすい。 ・段階的に発問が設定されていて、見通しを持って学びやすい。

その教科書が適切である理由	
3. 道徳の観点	
①道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる工夫や配慮がされているか。	
②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。	
③問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がされているか。	
1	・イラストや写真が見やすく、内容が児童の身近な事柄や人物が取り上げられているので、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びを行うことができる。 ・振り返りを記入する欄も、全ての児童が取り組みやすくなっており、学習が進みやすいと感じる。
2	・単元内容が各学年に合っている。児童が自分に当てはめて考えやすい内容になっている。
3	・発問が簡潔で、考えやすく、深く考えることができる。
4	・各教材における主発問が、誘導的でなく適度に抽象性を持っているため、道徳的価値を授業者の扱い方によって、児童の多面的な考えを引き出す端緒となるよう編集されている。 ・授業の際、教科書表記の発問に幅が持たせられているため、児童の実態に合わせて展開していくことができる。
5	・イラストの色が濃い目、実在の人物を多く取り上げている。
6	・発問が工夫されていて、主体的で対話的な深い学びに繋がる。 ・深めよう心のパスポートなど、多面的、多角的に考えられるようにしてある。
7	・発問がシンプルで、児童に様々な場面を想起させることができる。
8	・①教材に関わる内容項目が文字ではなくイラストで示されているため、自由な議論に繋がりがやすい ・②物事を多面的・多角的に捉えることが出来る教材が取り入れられている。 ・③実際のデータや情報に掲載されているため、授業で学んで終わりではなく、児童が主体的に考えることに繋がりがやすい。
4. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連	
1	・本校では、関わり合い、話し合うことを校内研究のテーマとしているので、本教科書では、考えを深める手立てが記載されているので、良いと思う。また、タブレットも使用することが多いので、タブレットの使い方も取り上げられているので、学習が取り組みやすいと感じる。
2	・本校の学校生活につながる内容が多く、児童が自分のこととして考えやすい。
3	・児童が親しみやすい教材が多い。
4	・自分の思いや考えを素直に表現できる児童が多いため、各教材における、適度に抽象性を持っている発問が、児童の多面的な考えを引き出すと想定される。
5	・絵がたくさんあって良い。
6	・考える部分がしぼられているため、いろいろな児童にとってわかりやすい。
7	・物語だけでなく、実在する人物や実際の出来事が多く掲載されているため、自分事として考えることができる。